

宇陀市子育て支援に関する ニーズ調査報告書

全体版

平成26年3月

宇陀市 子ども支援課

※速報版から追加したページには **【追加ページ】** と記載している。

I 調査概要

(1) 調査の方法

① 調査対象

0歳から小学校に入学されるまでの就学前の子ども1,175人より

② 調査方法

幼稚園、保育所を通じての保護者及び郵送

③ 調査期間

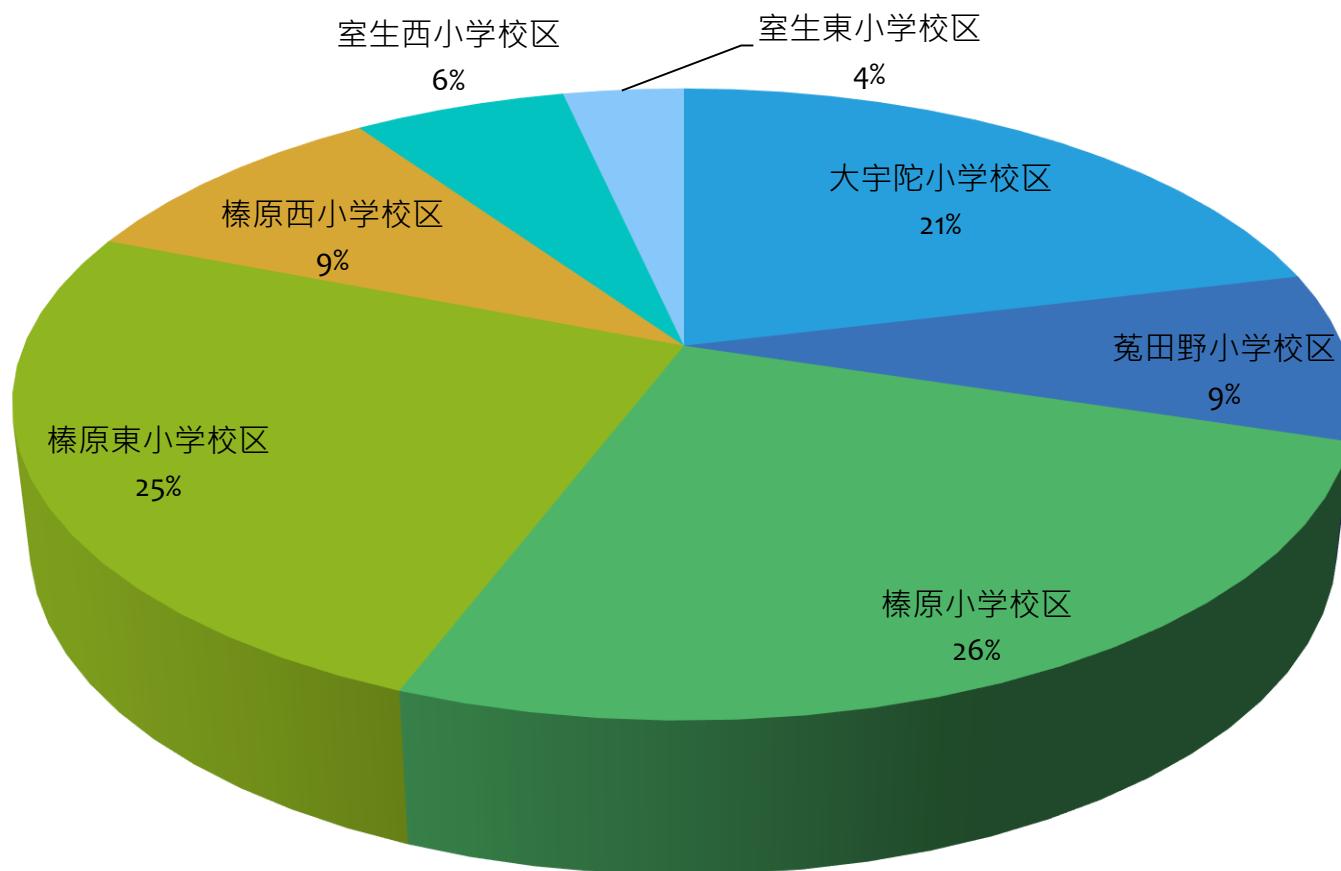
平成25年10月18日(金)～11月1日(金)(回答締切)

(2) 回収結果

	配布数	有効回収数	回収率
就学前	853	611	71.6%

小学校区別の内訳は次のとおりです。

問1 居住地区(単数回答)



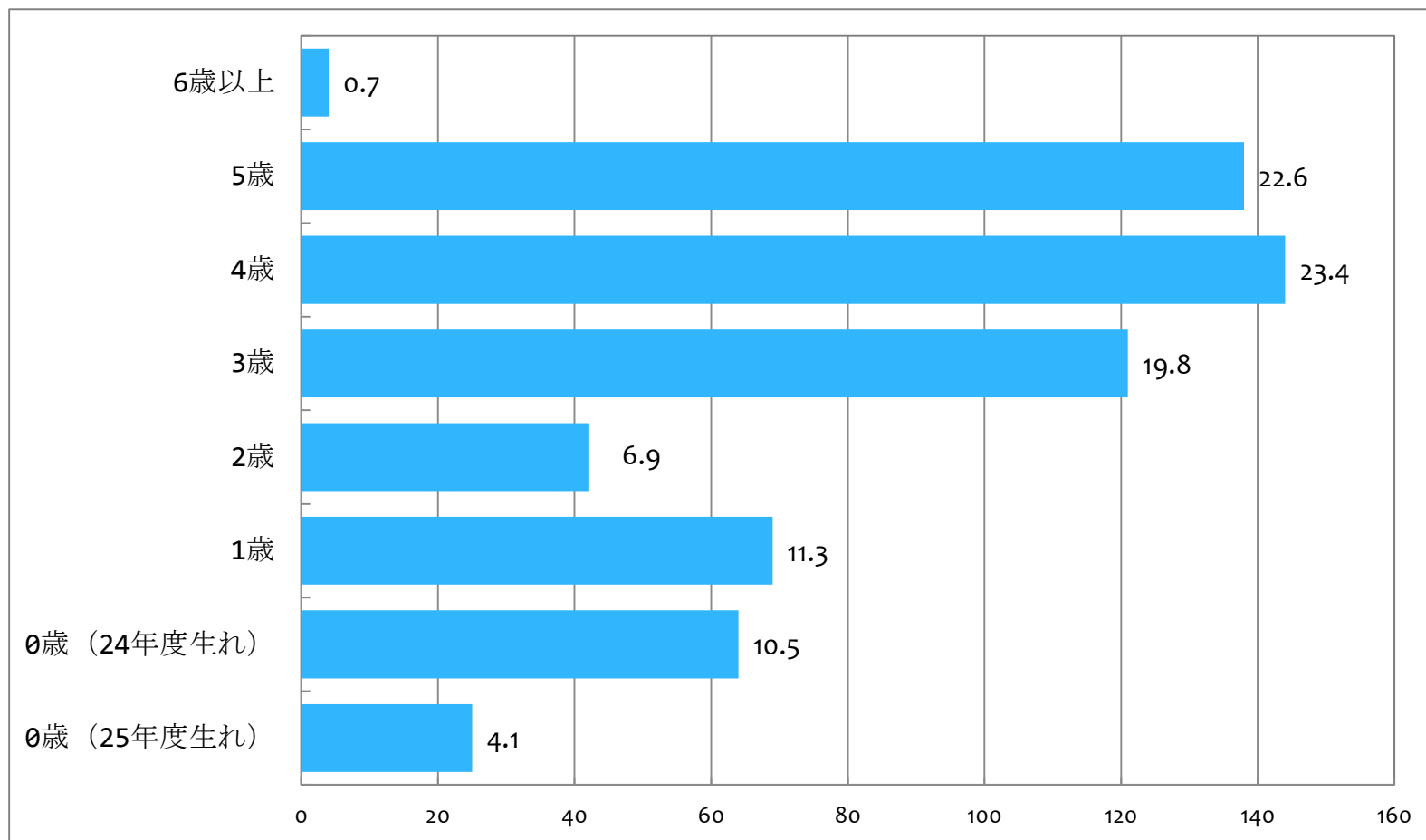
II 調査結果

1 回答者の属性

問 2-① 子どもの年齢(単数回答)

(n=611)

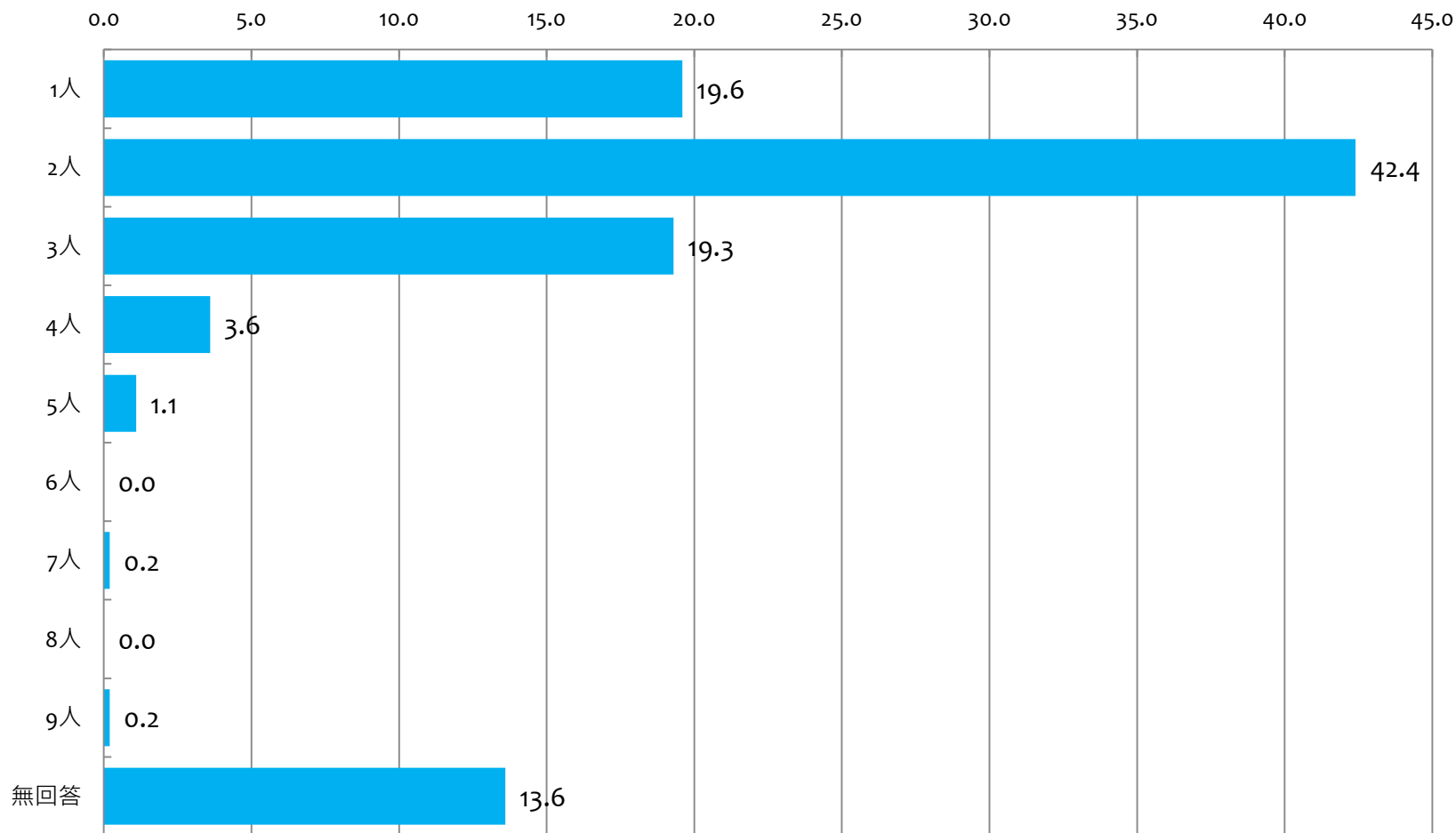
3～5歳児が多い結果でした。



問 3-① 子どもの人数(単数回答)

(n=611)

2人が42.4%と最も多い結果でした。



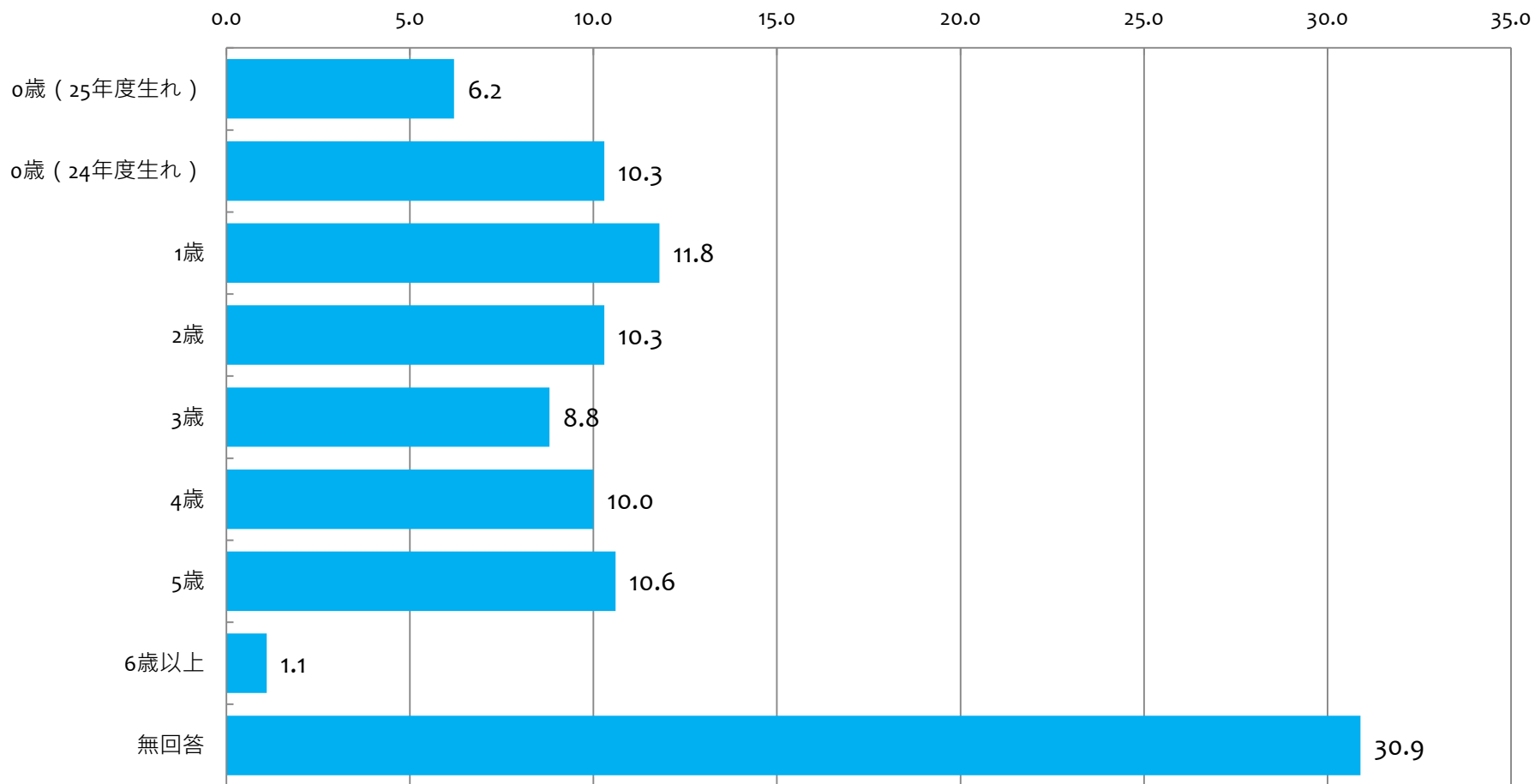
II 調査結果

1 回答者の属性

問 3-② 子どもの末子の年齢(単数回答)

(n=611)

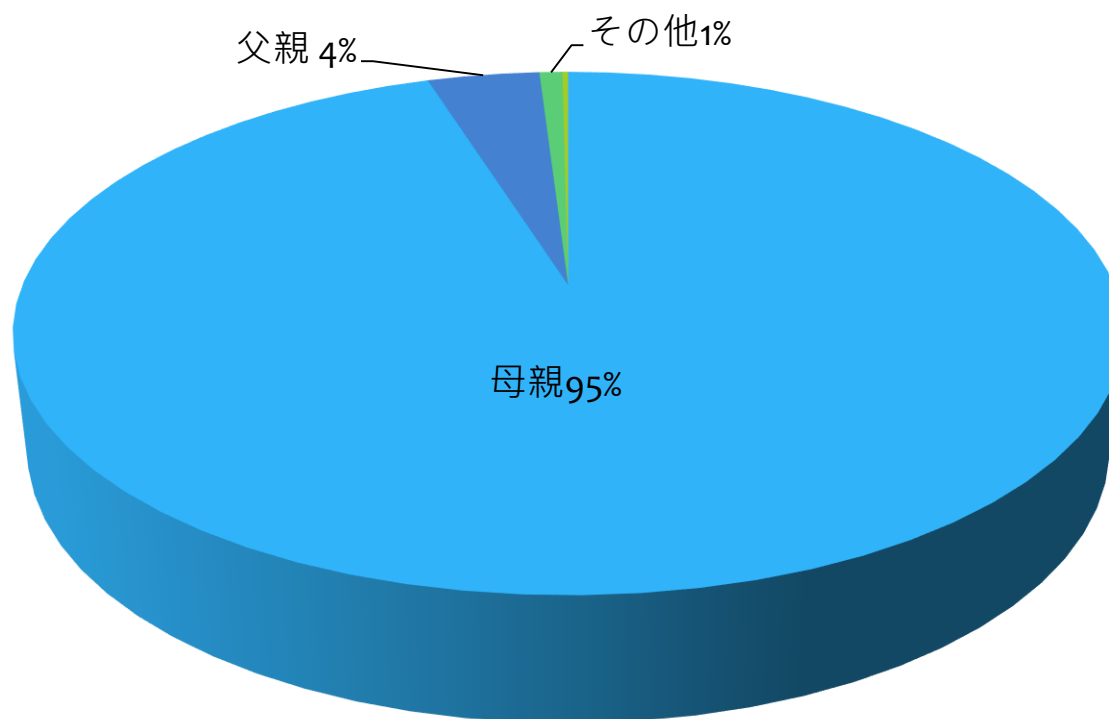
無回答を除くと1歳がやや多い結果でした。



問 4 調査票の記入者(単数回答)

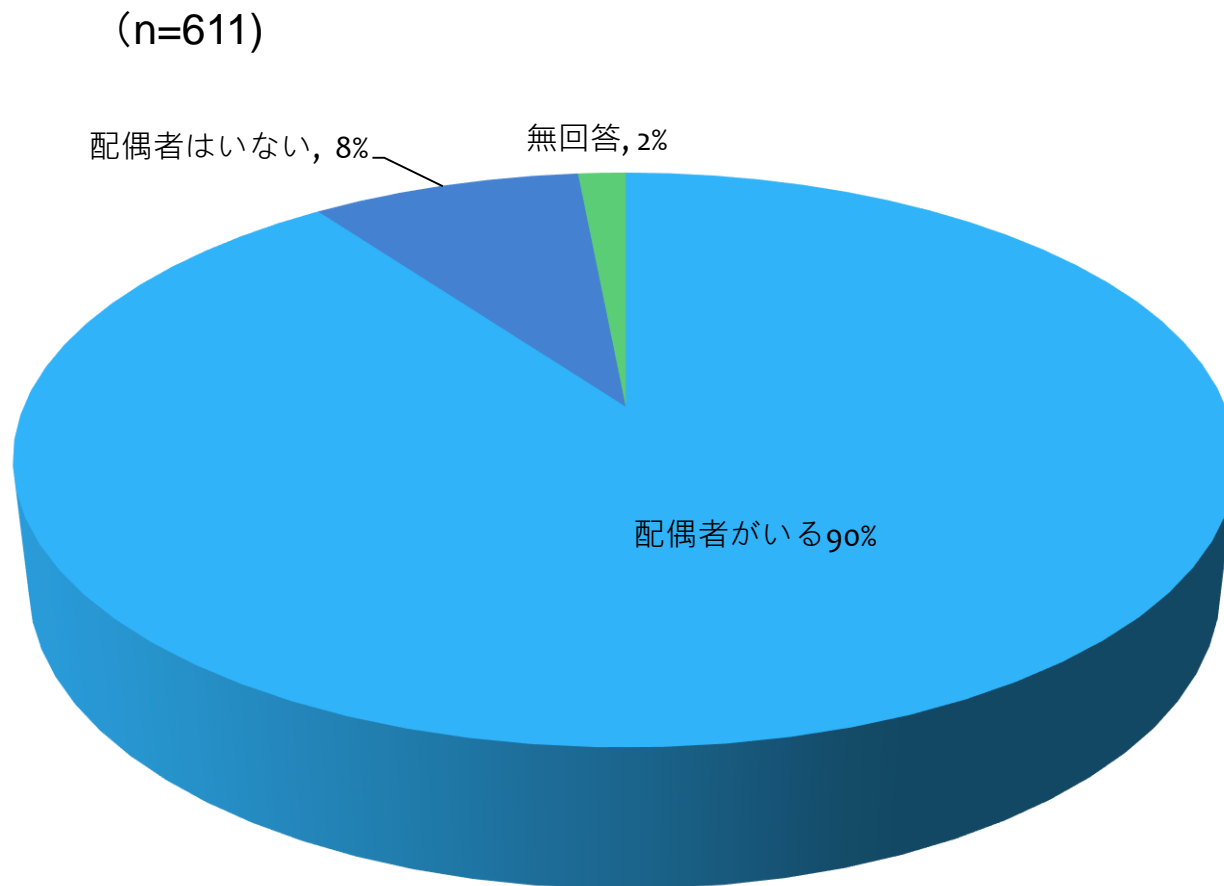
母親がほとんどという結果でした。

(n=611)



問5 配偶者の有無(単数回答)

「配偶者がいる」が90%の結果でした



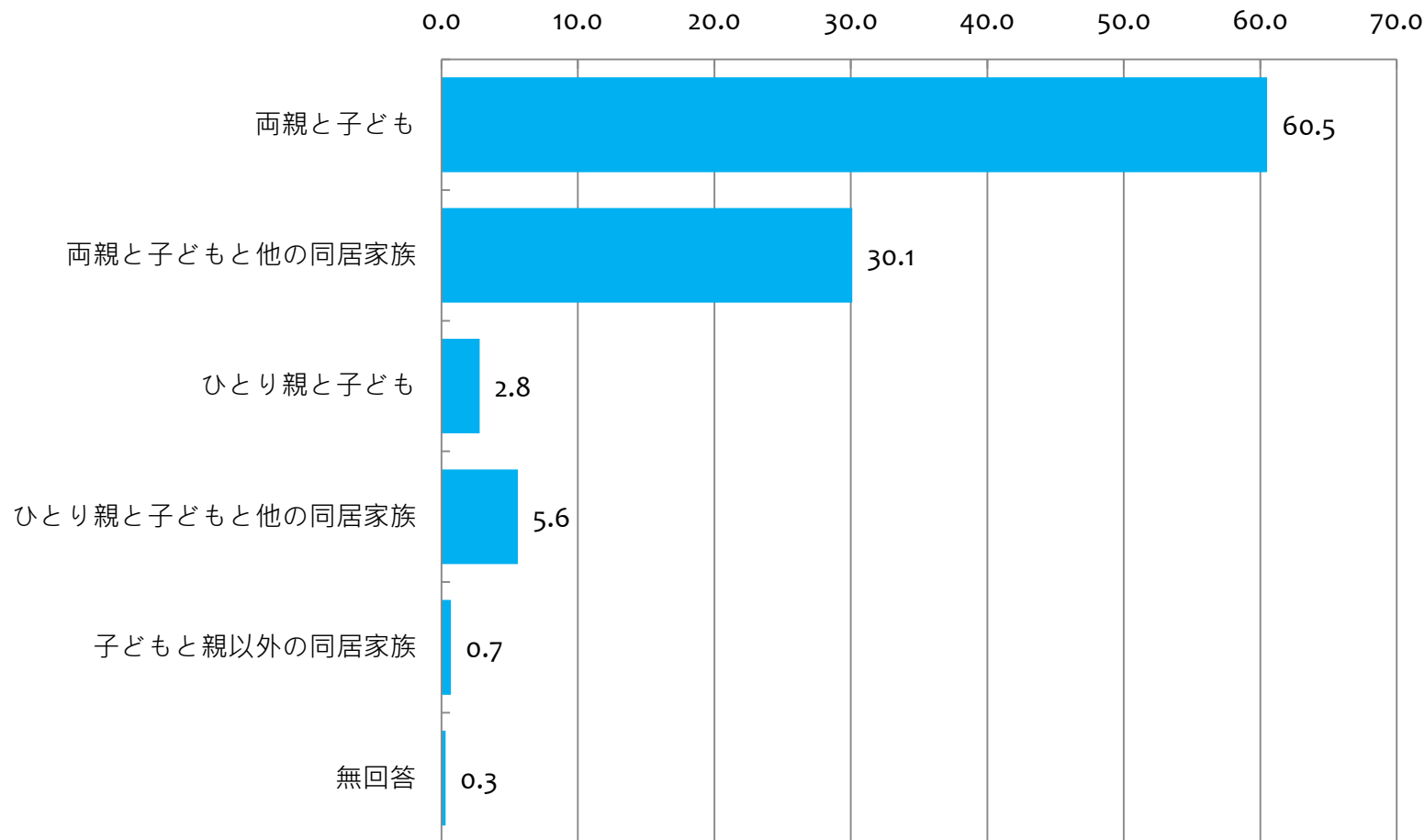
II 調査結果

1 回答者の属性

問5-1 家族構成(単数回答)

(n=611)

「両親と子ども」の核家族が多く、次いで「両親と子どもと他の同居家族」の結果でした。



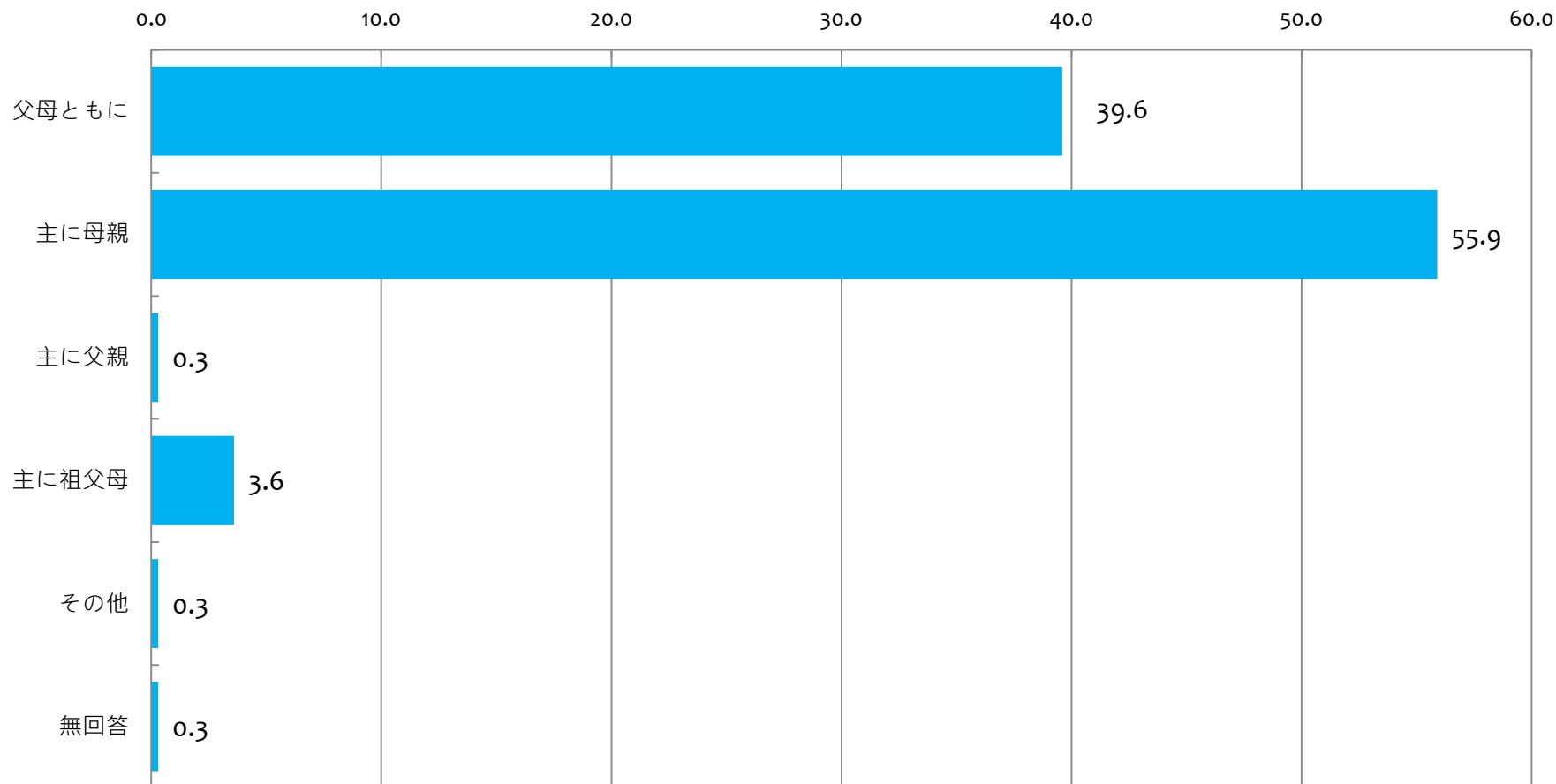
II 調査結果

1 回答者の属性

問6 子どもの子育てを主にする人(単数回答)

(n=611)

「主に母親」が最も多く、次いで「父母ともに」の順でした。



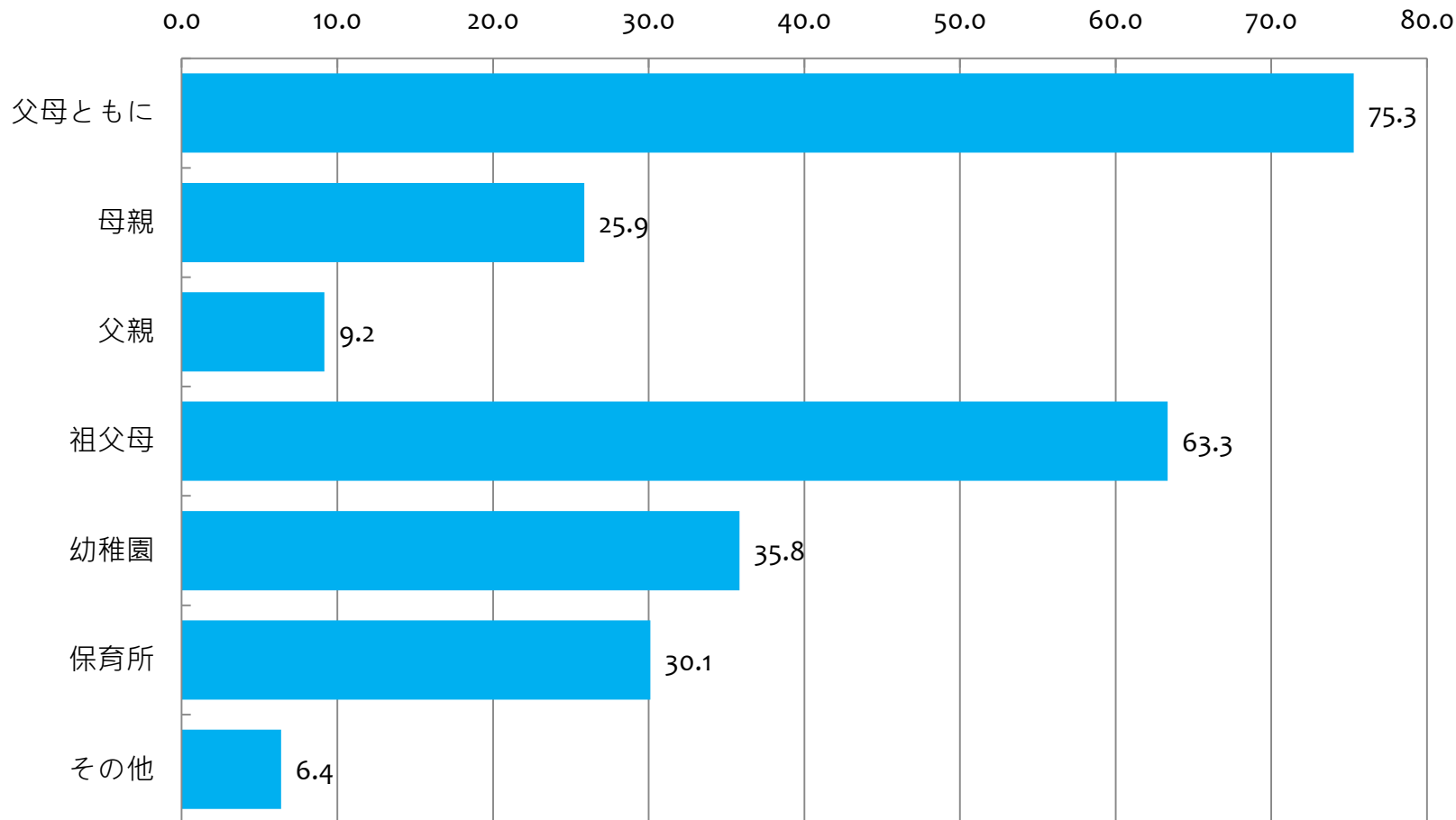
II 調査結果

1 回答者の属性

問7 子育てに日常かかわる人(複数回答)

(n=611)

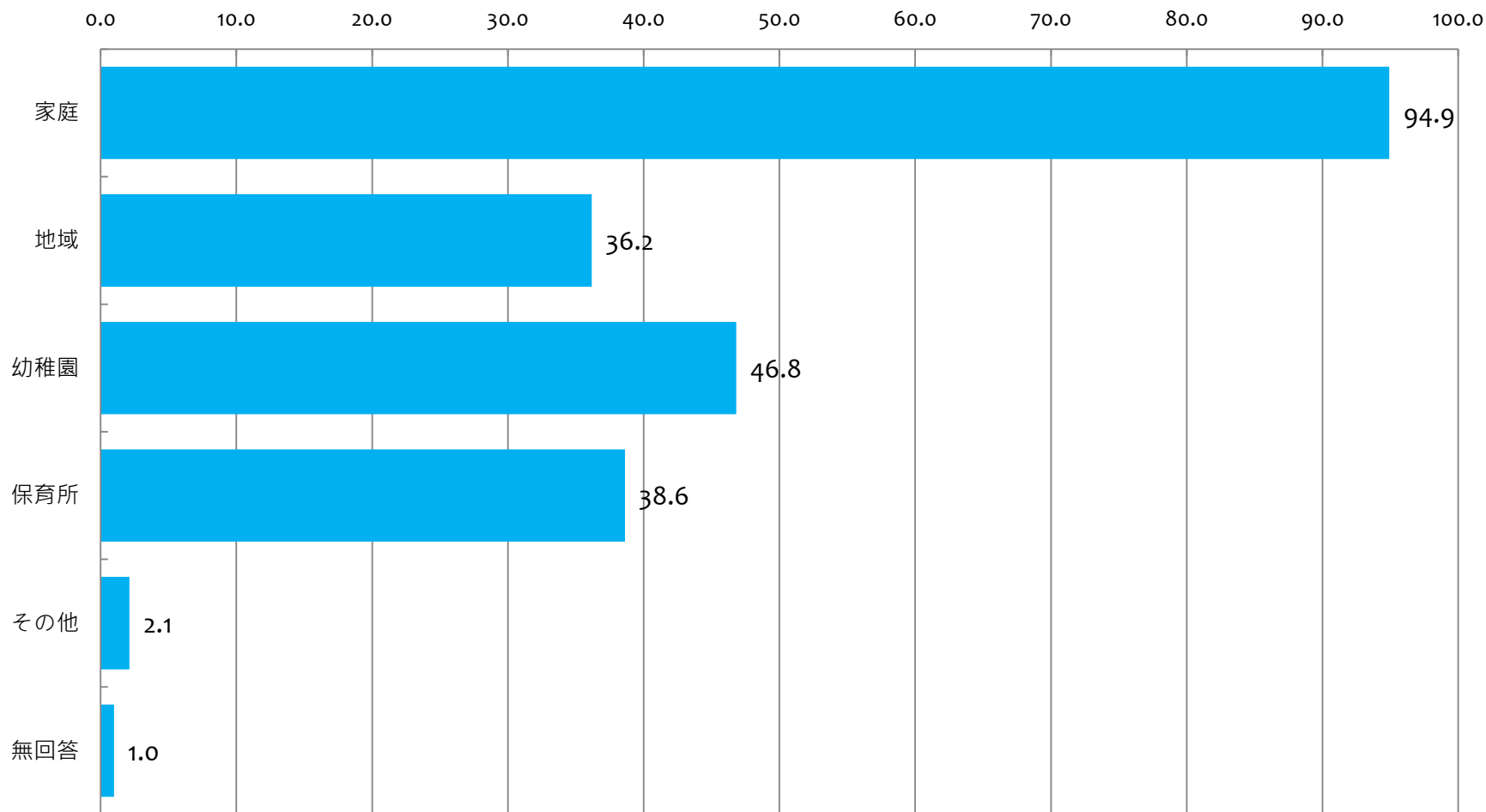
「父母ともに」が最も多く、次いで「祖父母」の順でした。



問8 子育てに影響が大きいと思う環境。(複数回答)

(n=611)

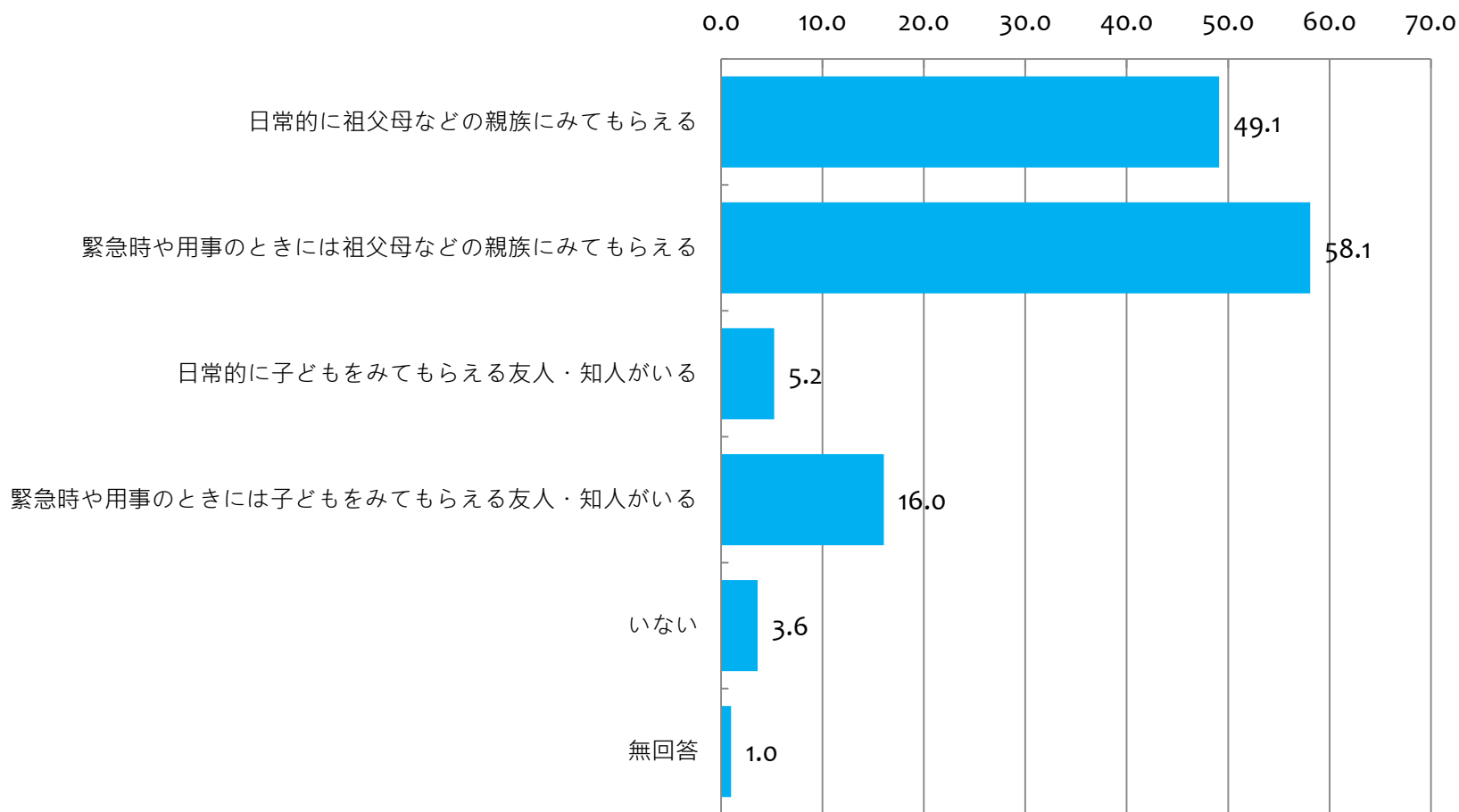
「家庭」が最も多く、次いで「幼稚園」の順でした。



問9 子どもを預かってもらえる人の有無(複数回答)

(n=611)

「緊急時や幼児の時には祖父母」が最も多く、次いで「日常的に祖父母」の順でした。



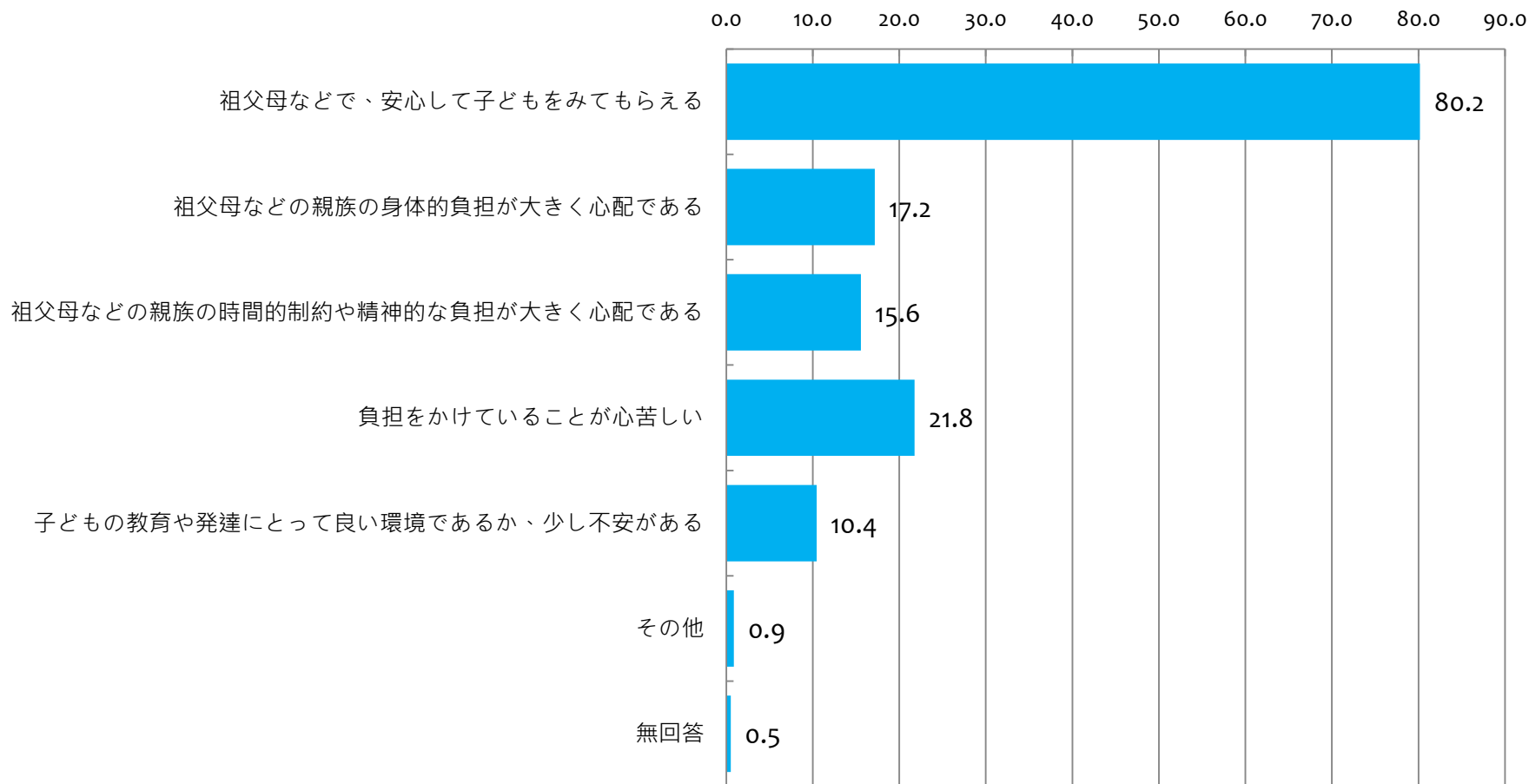
II 調査結果

1 回答者の属性

問9-1 祖父母に預かってもらう問題点(複数回答)

(n=565)

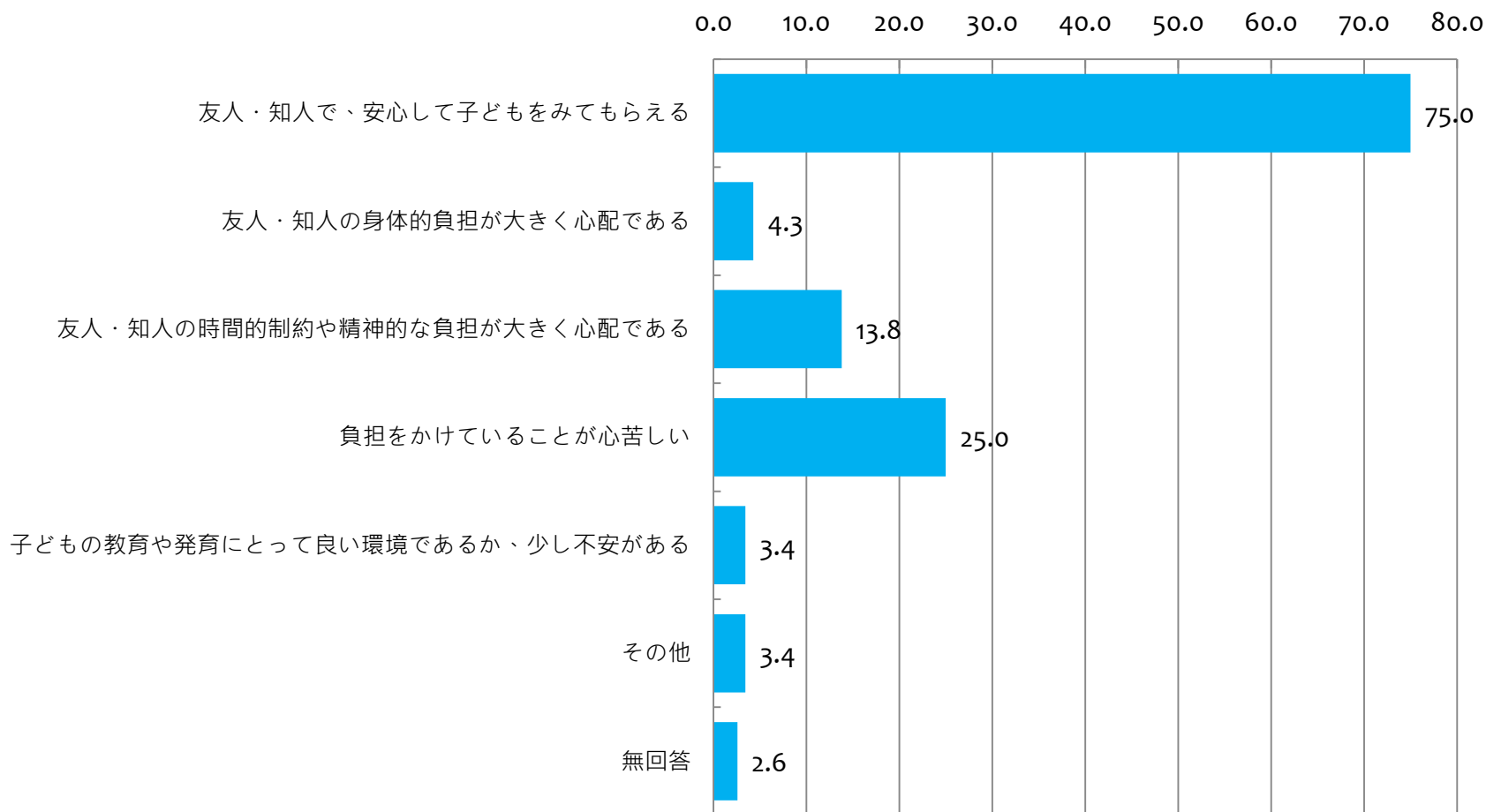
「祖父母なので安心」が最も多く、次いで「負担をかけて心苦しい」の順でした。



問9-2 知人に預かってもらう問題点(複数回答)

(n=495)

「友人、知人なので安心」が最も多く、次いで「負担をかけて心苦しい」の順でした。

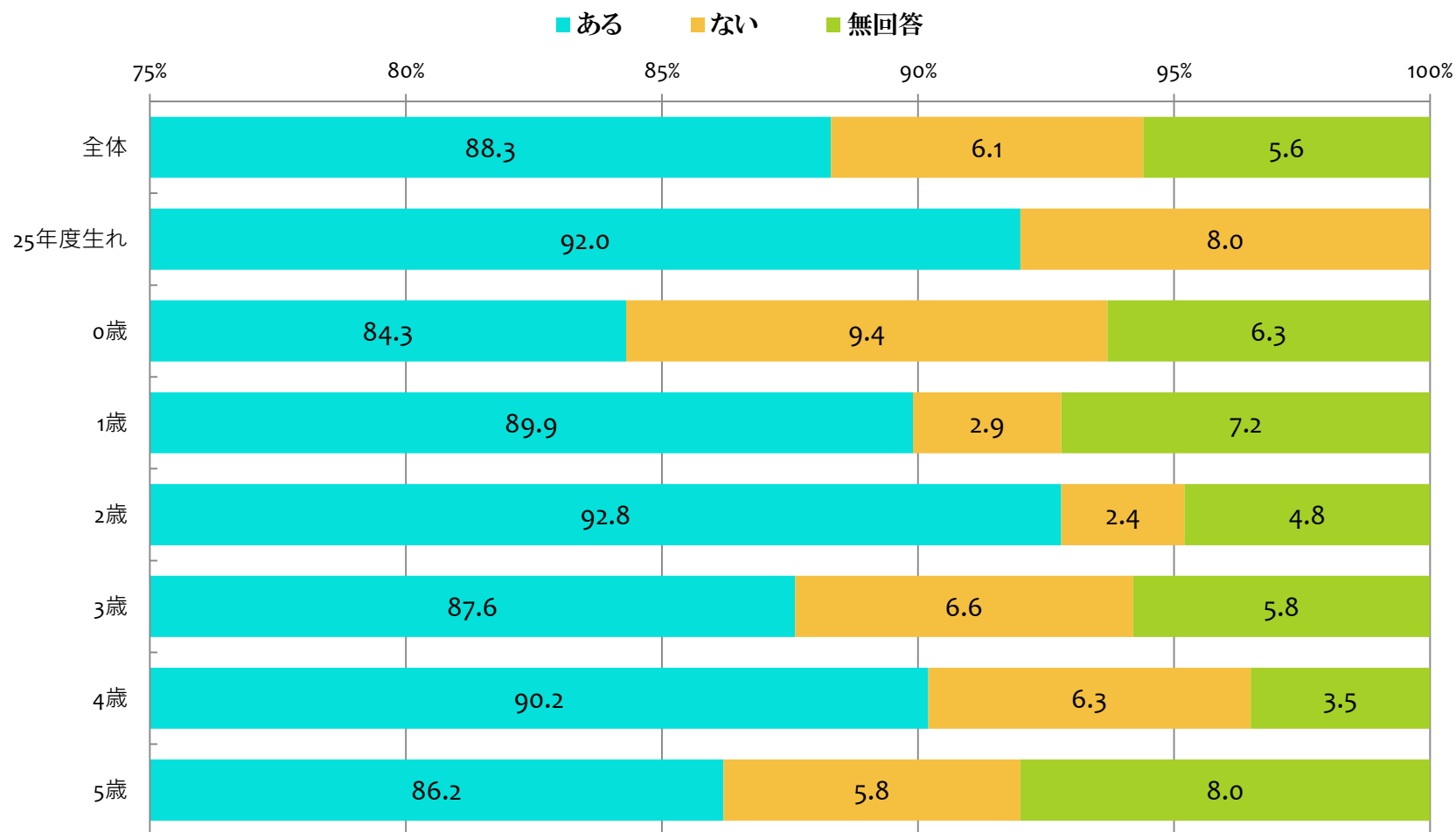


II 調査結果

2相談先

問10 相談先の有無(単数回答) (n=611)

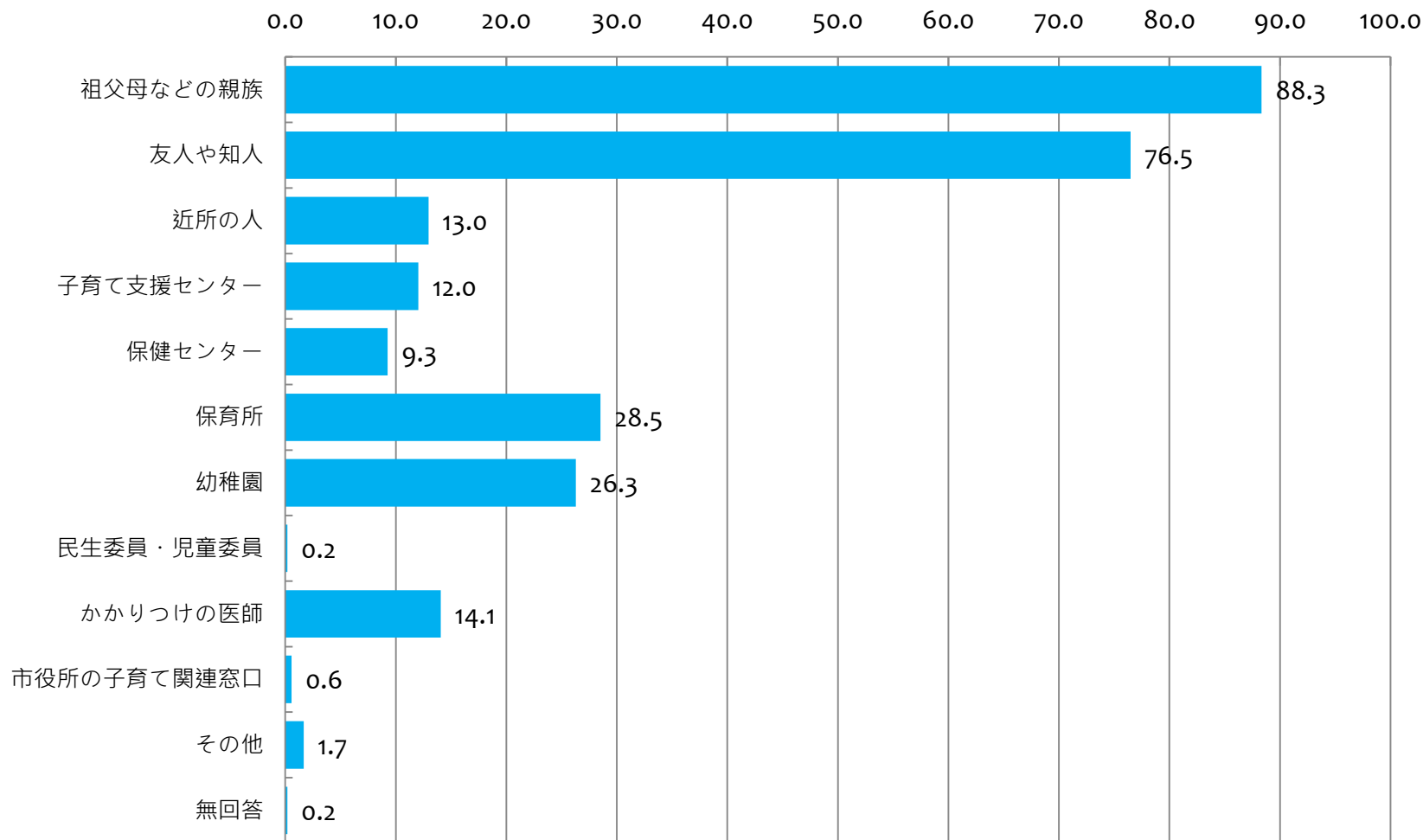
ほとんどが相談先があると回答しているものの、25年生まれと0歳で「いない」の比率がやや高い。



問10-1 相談先(複数回答)

(n=540)

「祖父母などの親族」が最も多く、次いで「友人や知人」の順でした。



II 調査結果

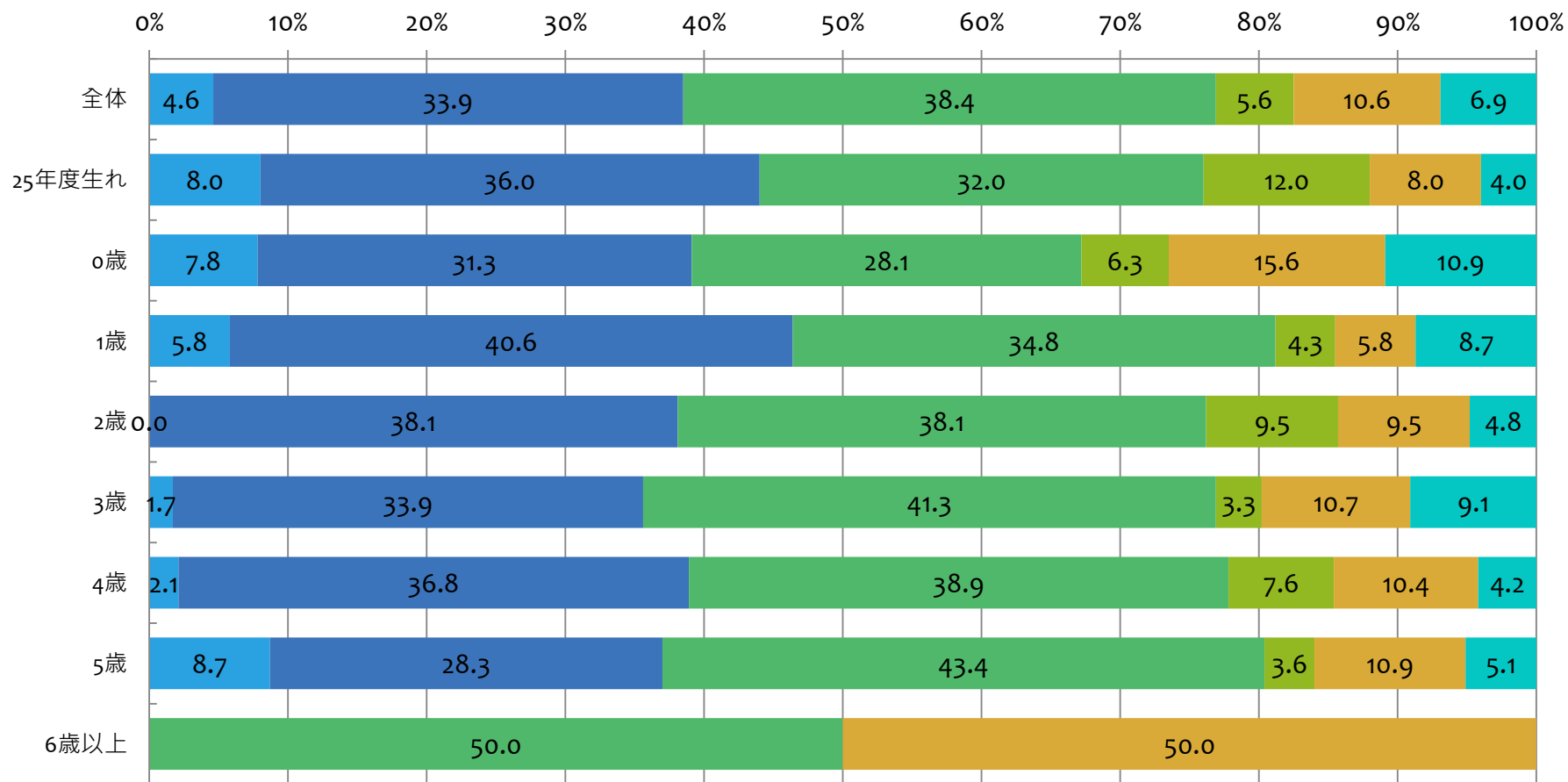
3子育て環境

問10-2 子育ての不安や負担(複数回答)

(n=611)

「非常に不安を感じる」と「何となく不安を感じる」は25年生まれと0歳、1歳が高く、一方で6歳以上では不安はない。

■非常に不安や負担を感じる ■何となく不安や負担を感じる ■あまり不安や負担を感じない ■まったく感じない ■なんとも言えない ■無回答



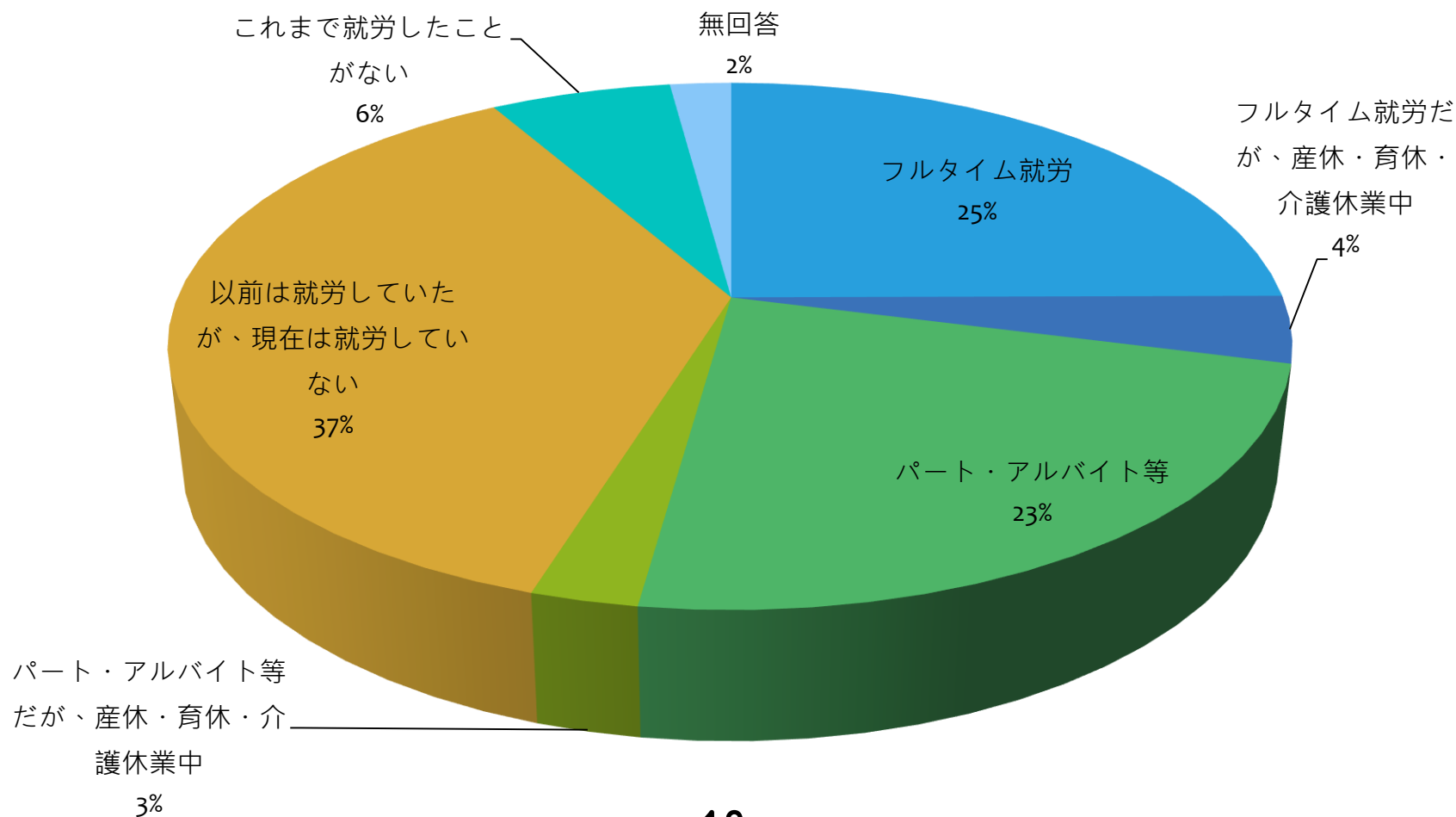
II 調査結果

4保護者の就労

問11-(1) 母・就労形態(単数回答)

(n=611)

「以前は就労していたが、現在はしていない」が最も多く、次いで「フルタイム就労」の順でした。



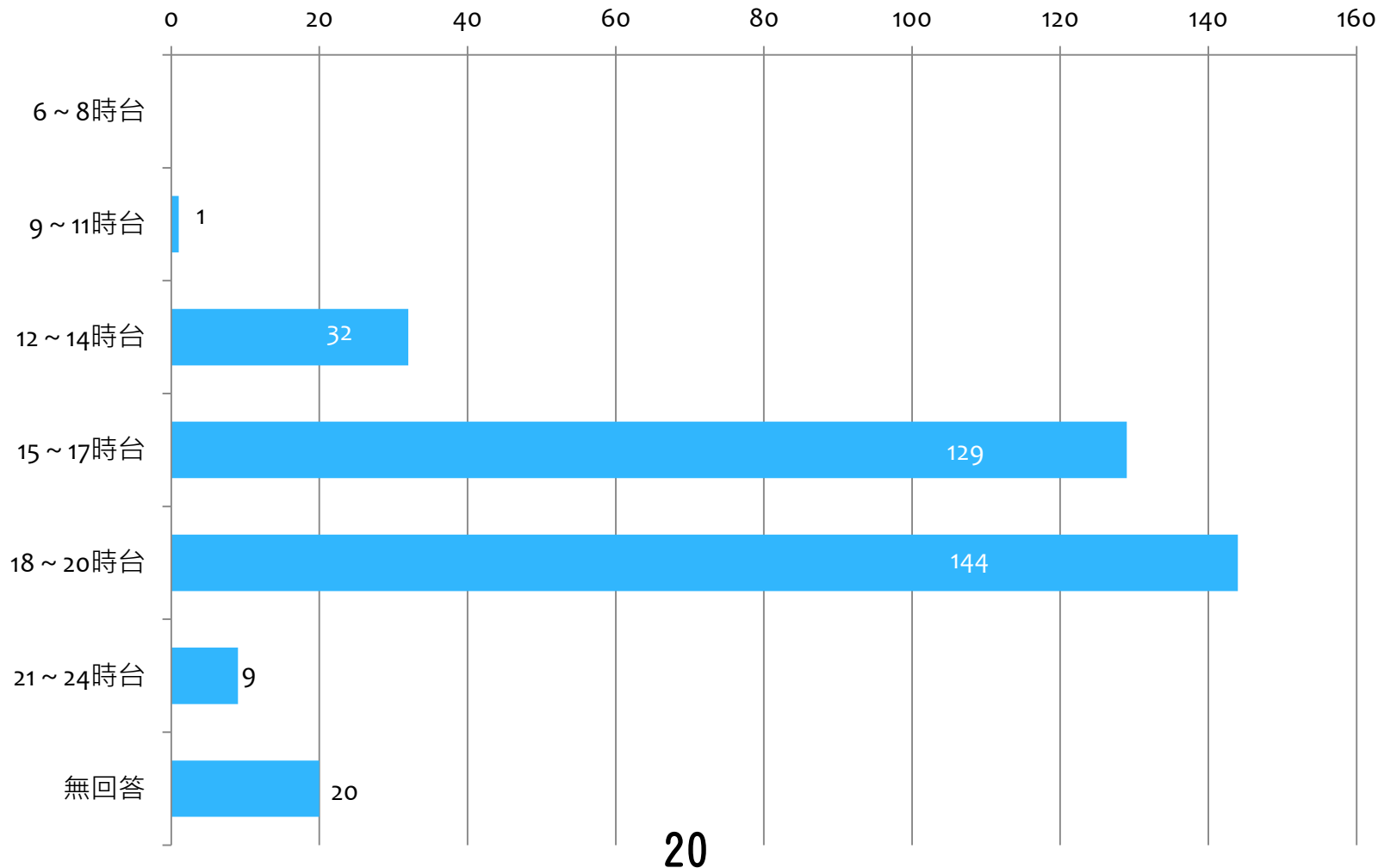
II 調査結果

4保護者の就労

問11-(1)① 母・就労形態【帰宅時間】(単数回答)

(n=335)

母親の帰宅時間については「18～20時台」が最も多く、ついで「15～17時台」の順でした。

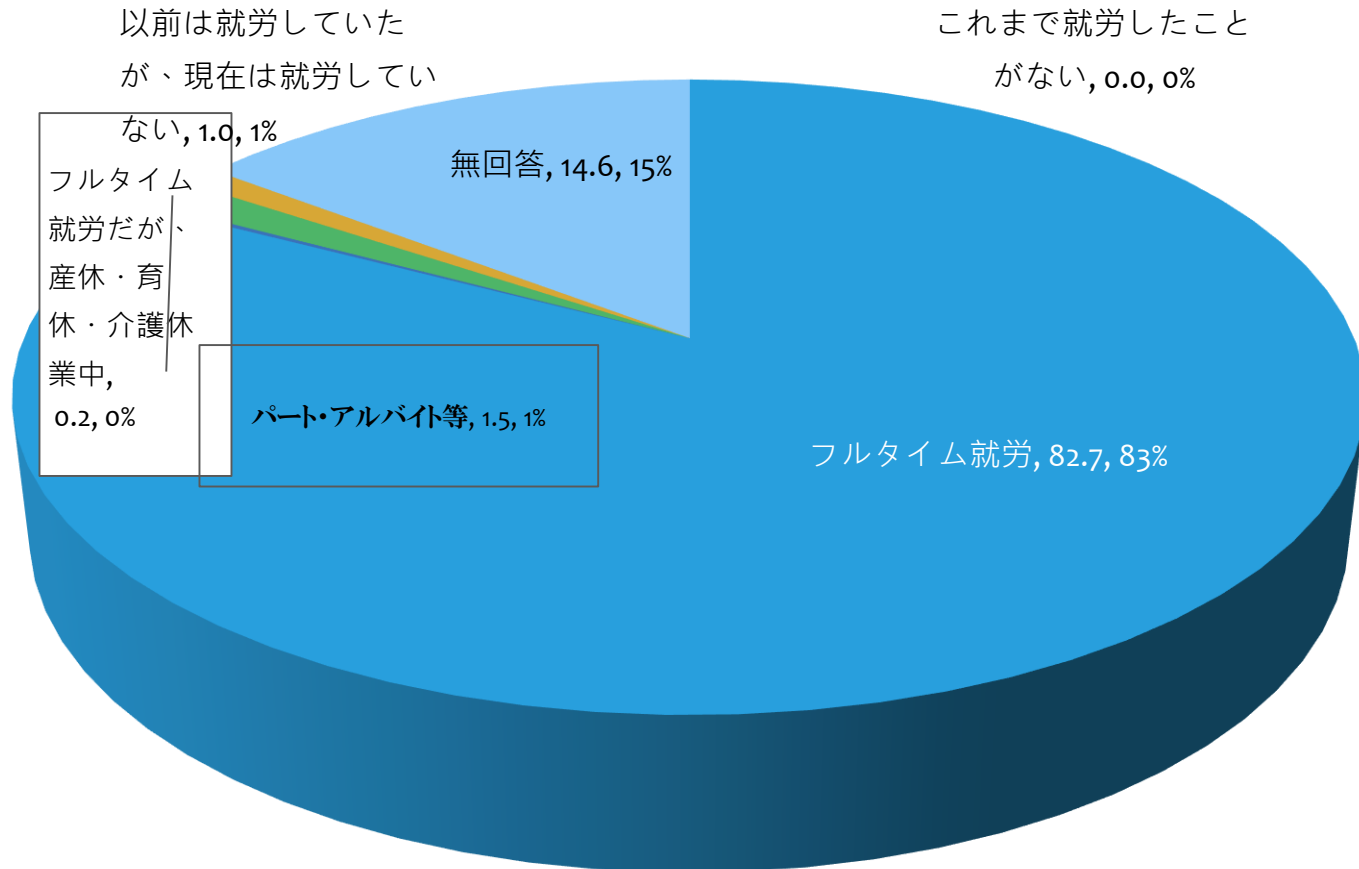


II 調査結果

4保護者の就労

問11-(2) 父・就労形態(単数回答)

「フルタイム就労」が最も多い結果でした。

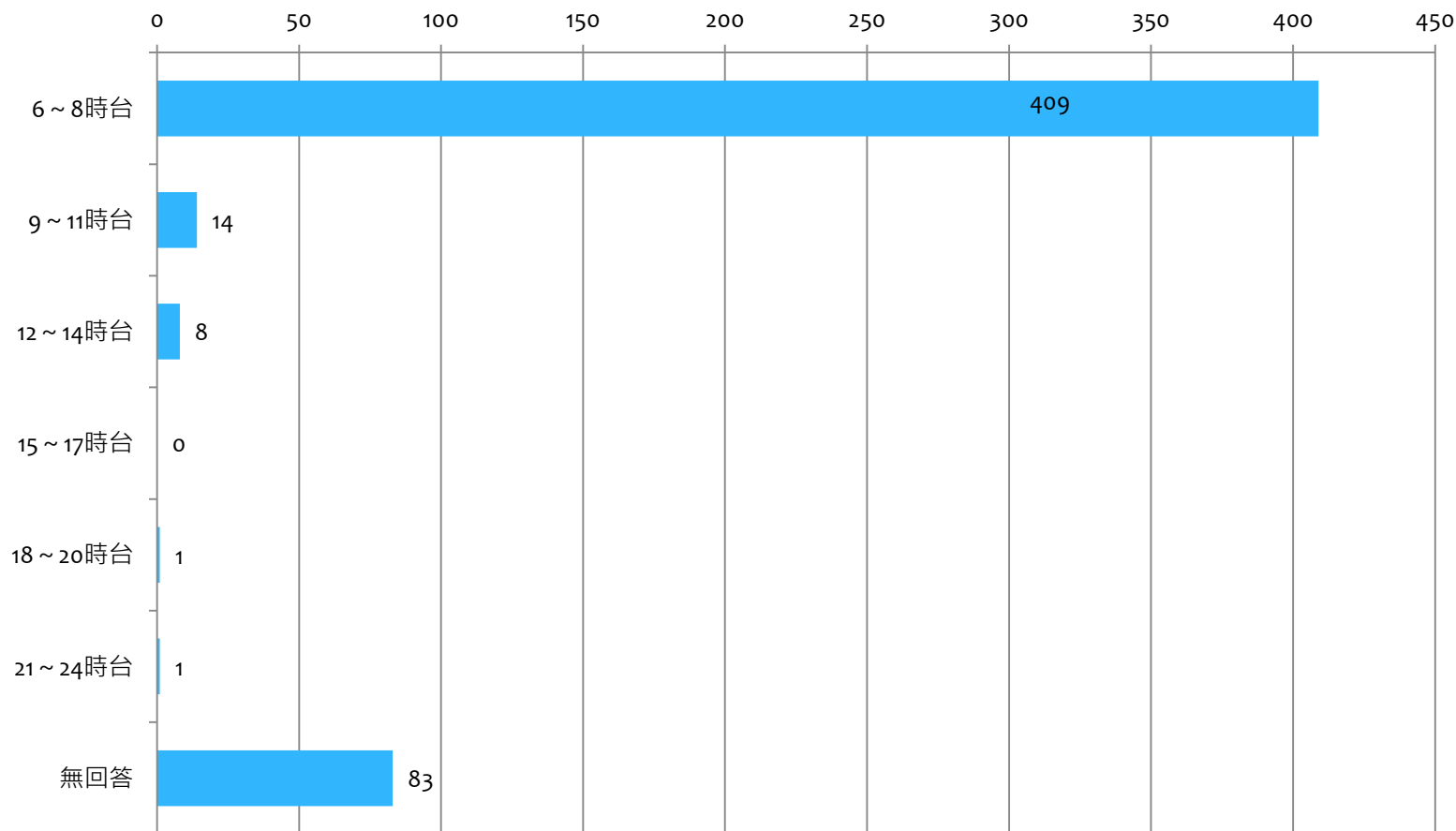


II 調査結果

4保護者の就労

問11-(2) 父・就労【外出時刻】(単数回答)

「6～8時台」が最も多く、次いで、無回答を除くと9～11時台」の順でした。



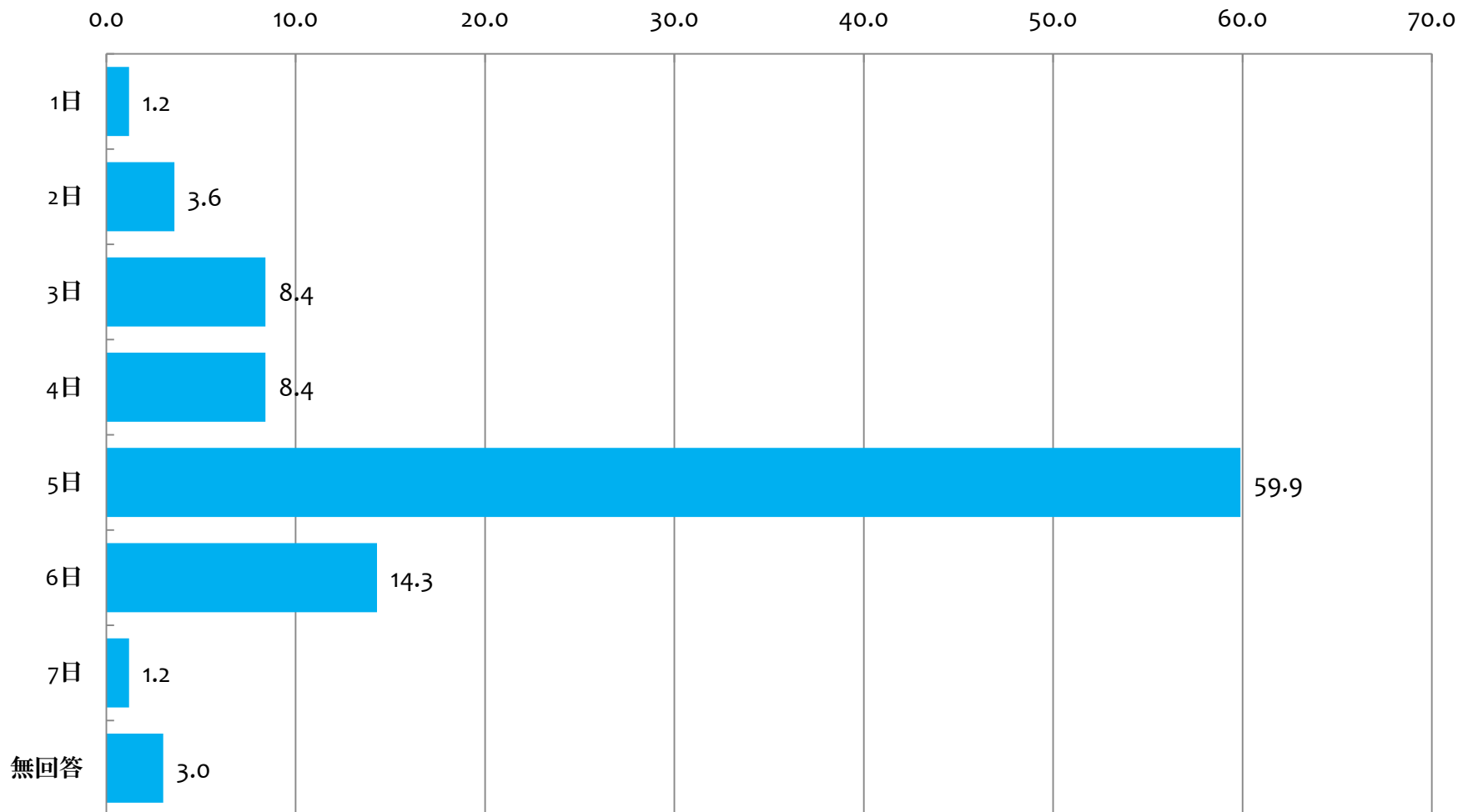
II 調査結果

4保護者の就労

問11-1(1)① 母・就労時間【週の日数】(単数回答)

母親 (n=335)

「週に5日」が最も多かった。



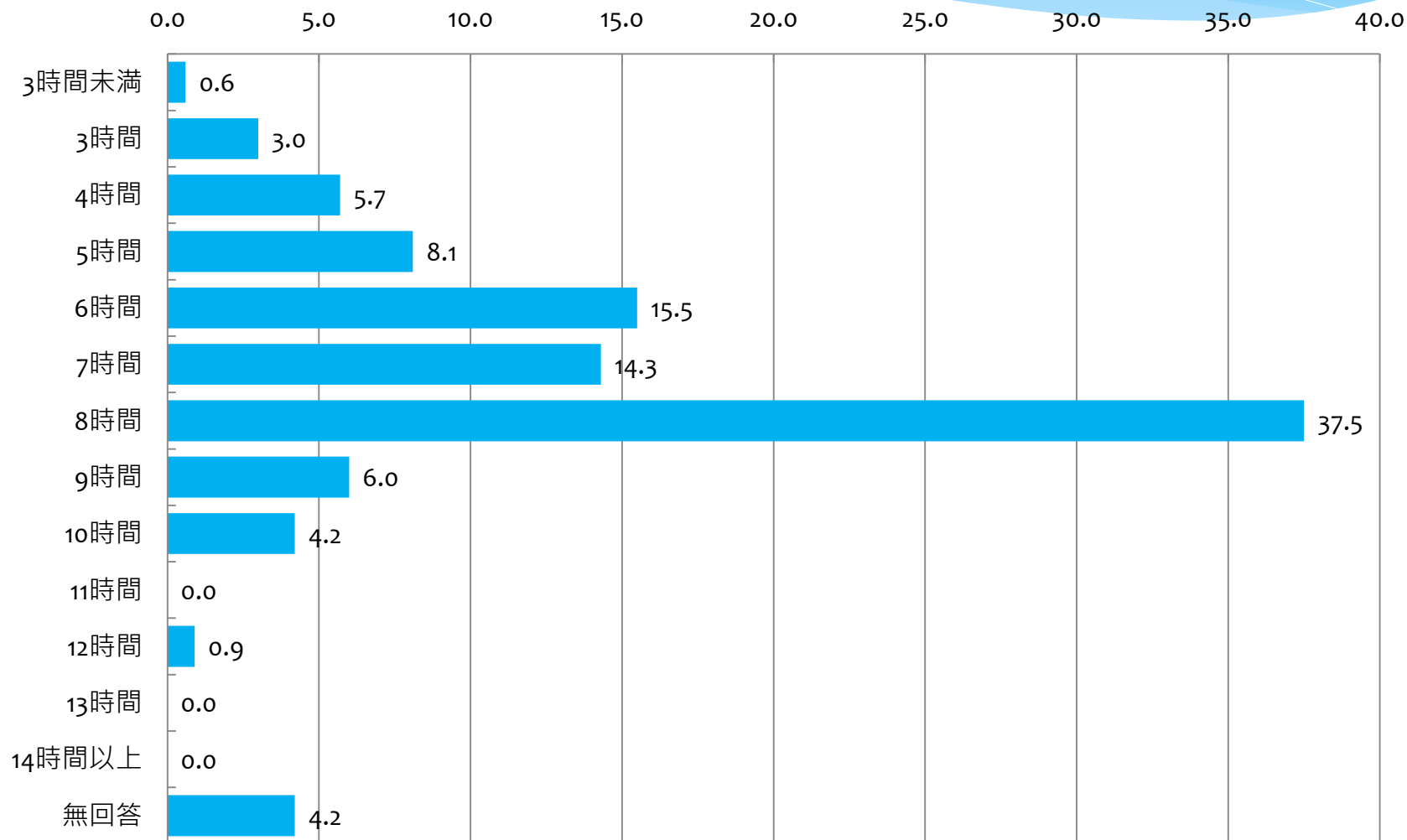
II 調査結果

3 保護者の就労

問11-1(1)② 母・就労時間【1日の時間】(単数回答)

母親(n=335)

「一日8時間が」が最も多かった。



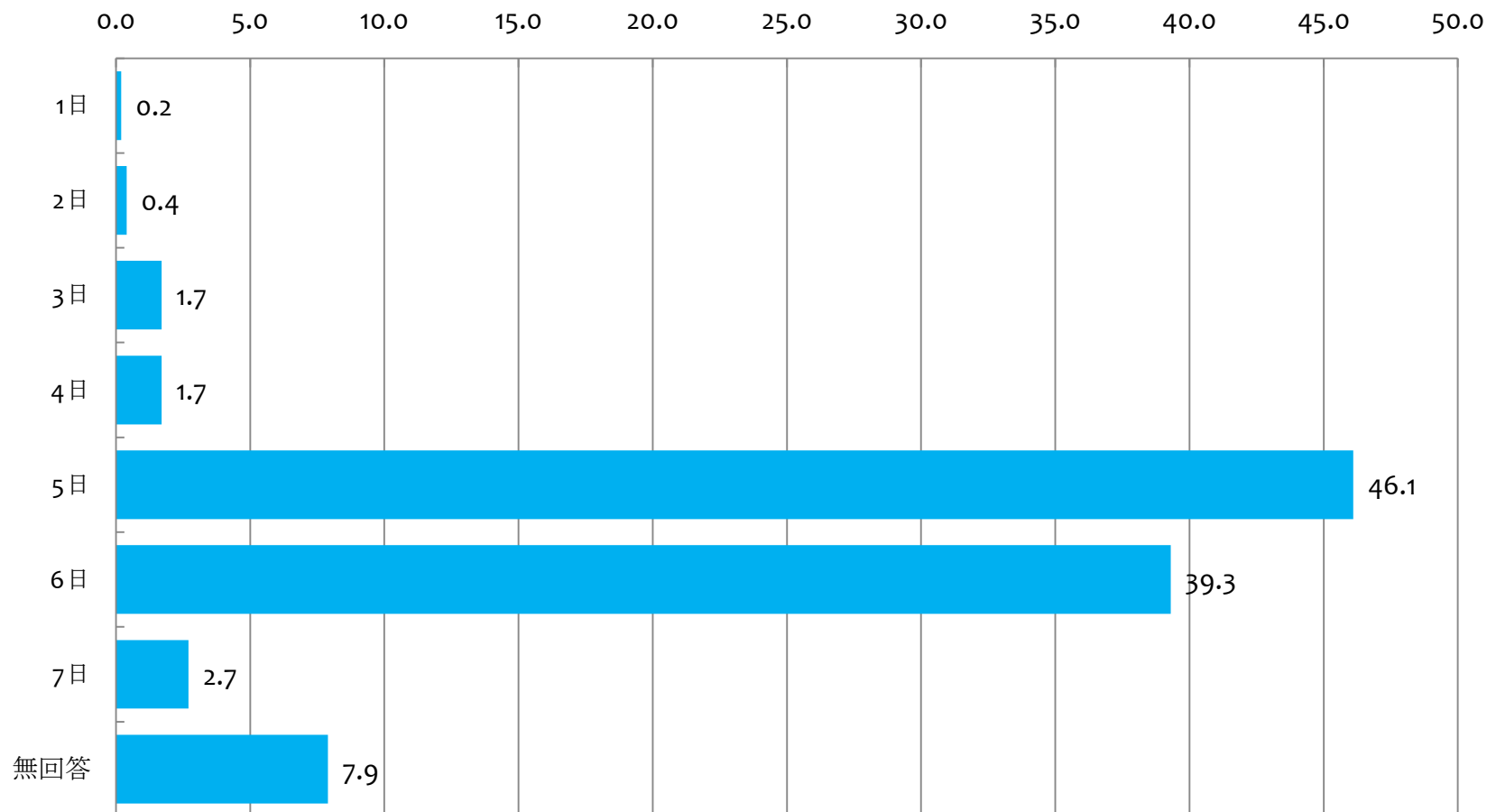
II 調査結果

4保護者の就労

問11-1(2)① 父・就労時間【週の日数】(単数回答)

父親(n=516)

「週に5日」が最も多く、次いで「6日」の結果でした。



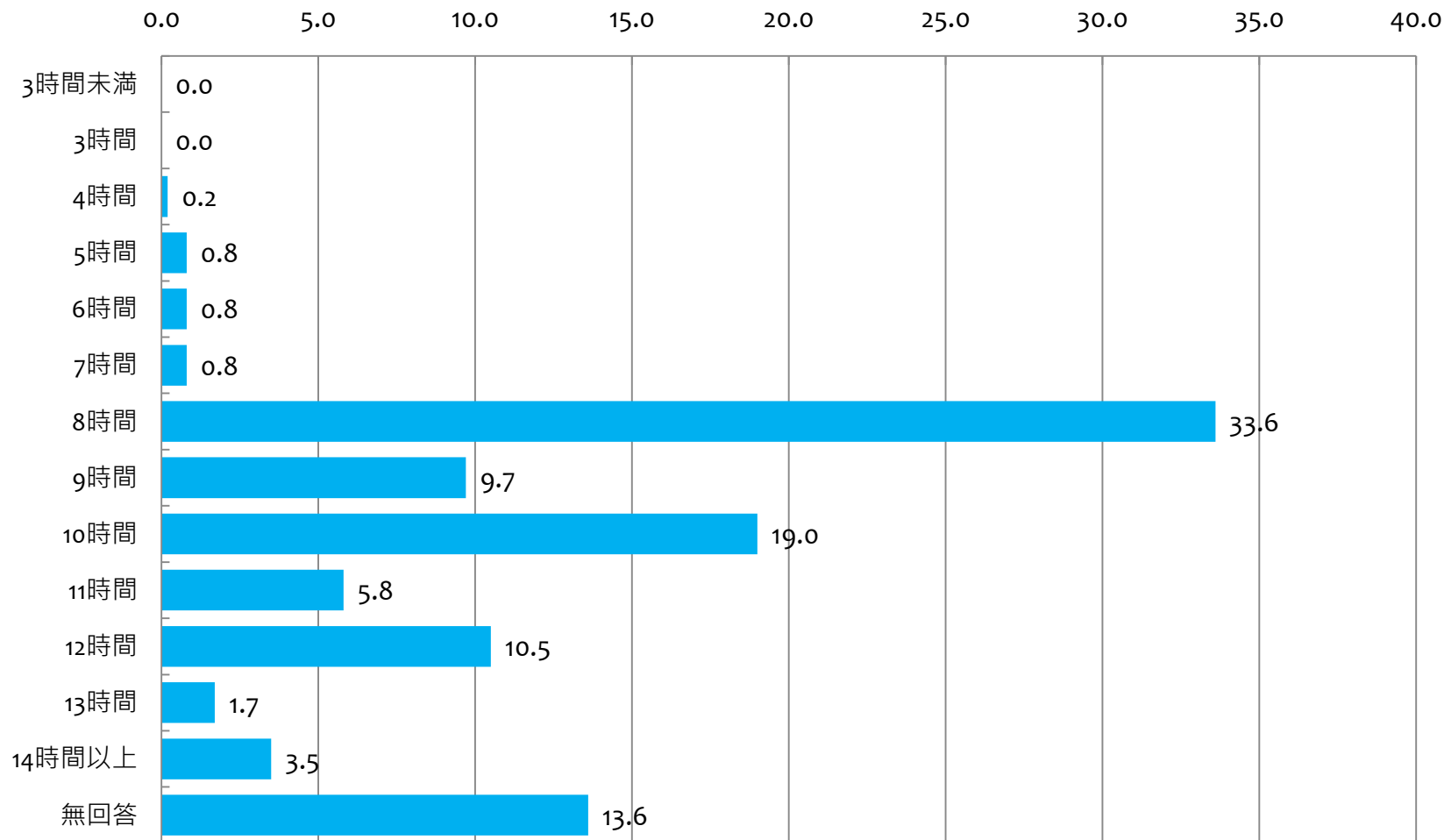
II 調査結果

4保護者の就労

問11-1(2)② 父・就労時間【1日の時間】...(単数回答)

父親(n=516)

「一日8時間」が最も多い結果でした。



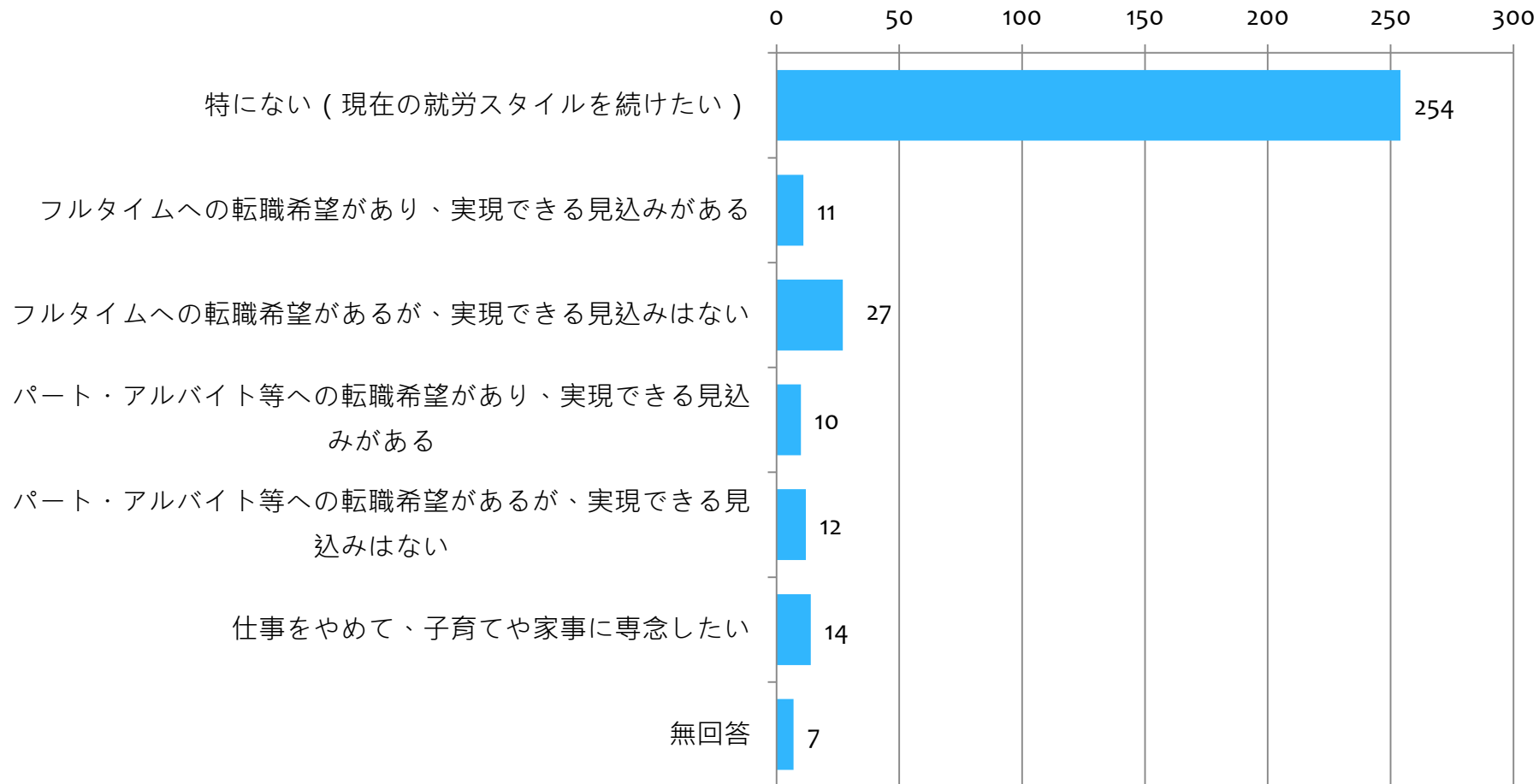
II 調査結果

4保護者の就労

問12(1)母・転職や退職の希望(単数回答)

母親(n=335)

「特にない(現在の就労スタイルを続けたい)」が最も多かった。



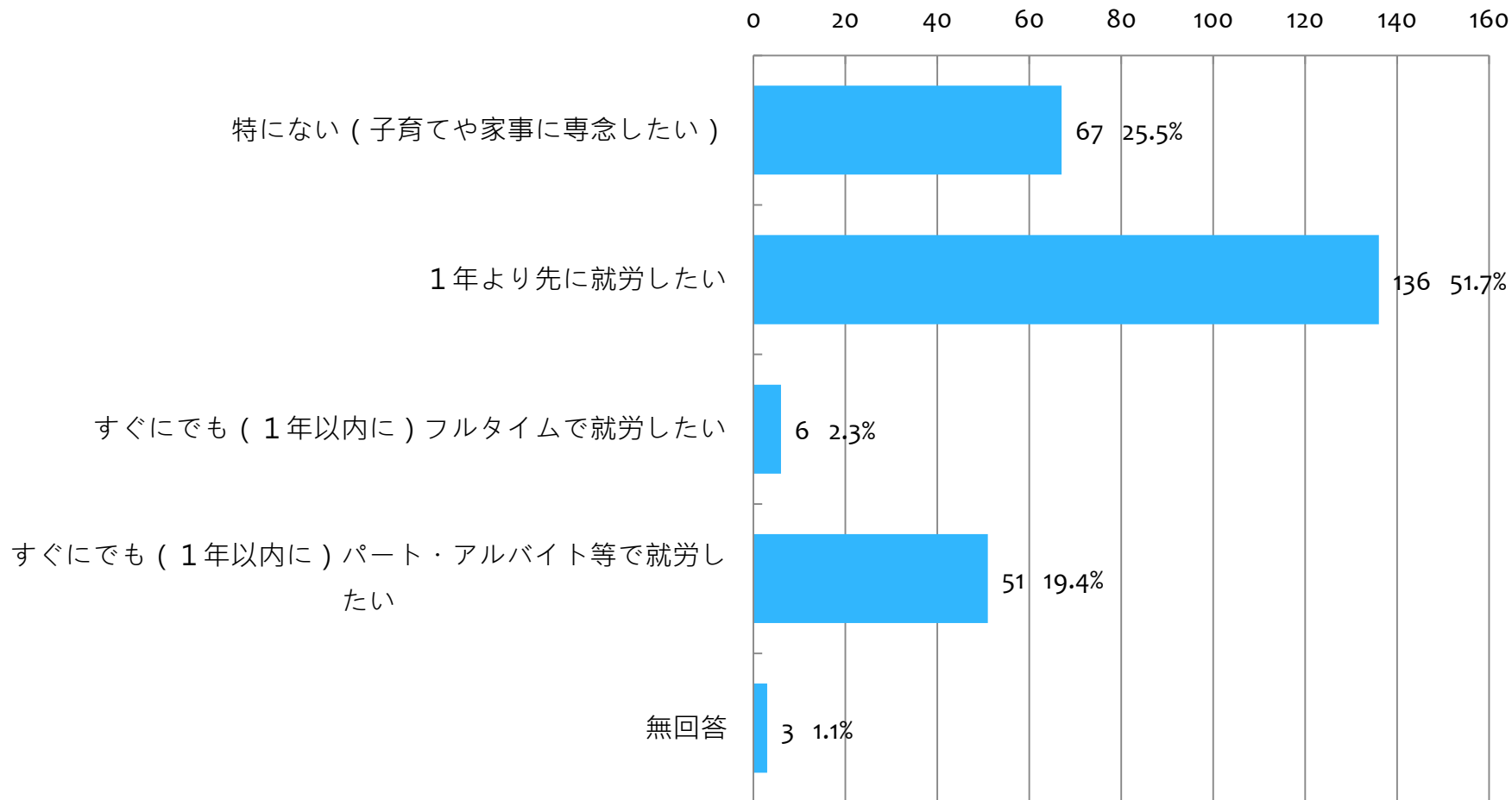
II 調査結果

4保護者の就労

問13(1) 母(無職)・就労希望(単数回答)

母親(n=51)

「1年より先に就労したい」が最も多かった。



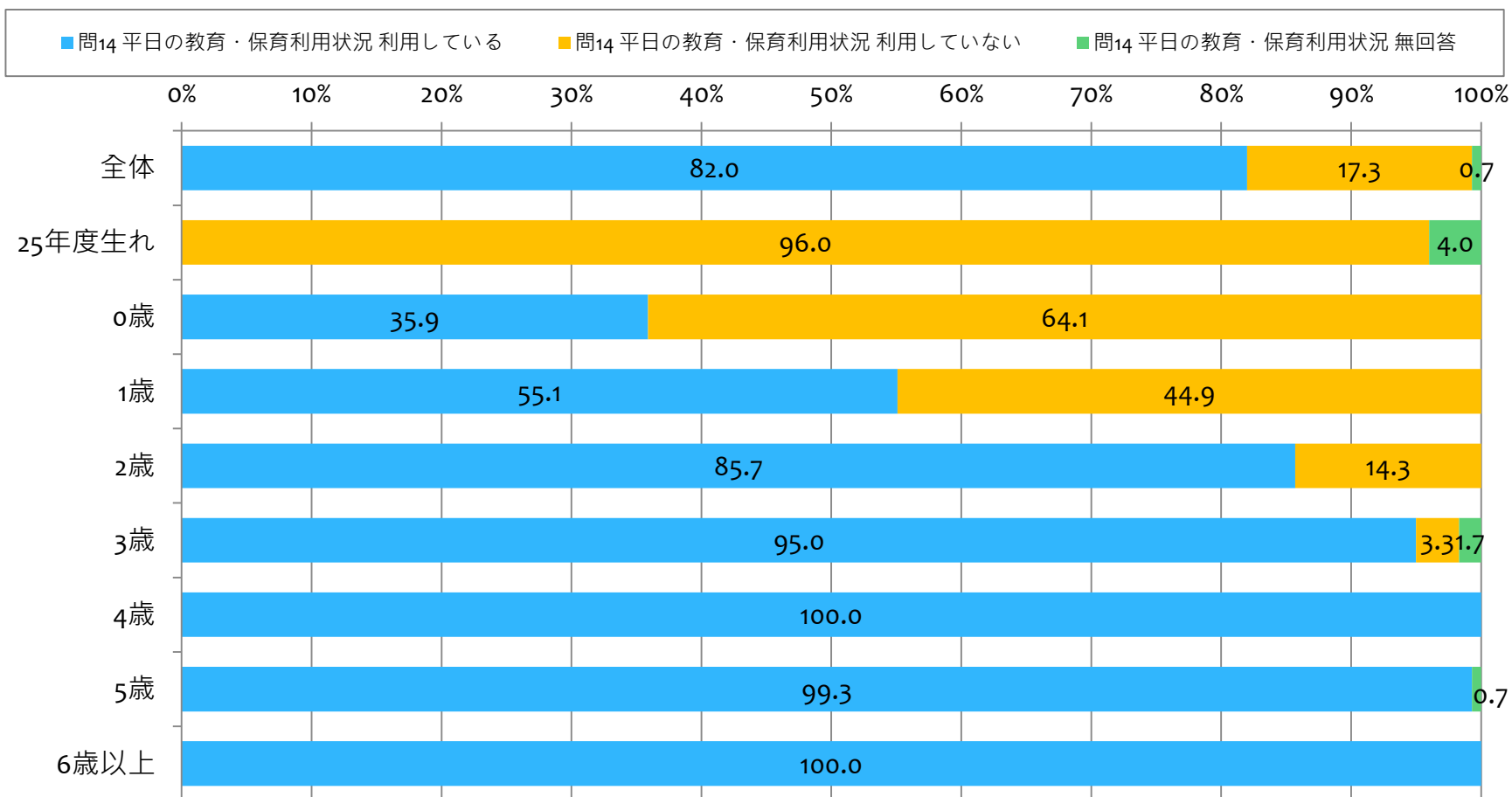
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問14 平日の教育・保育利用の状況(単数回答)

(n=611)

平成25年生まれは「利用していない」が96%で、最も多く、次いで、0歳で64.1%でした。



II 調査結果

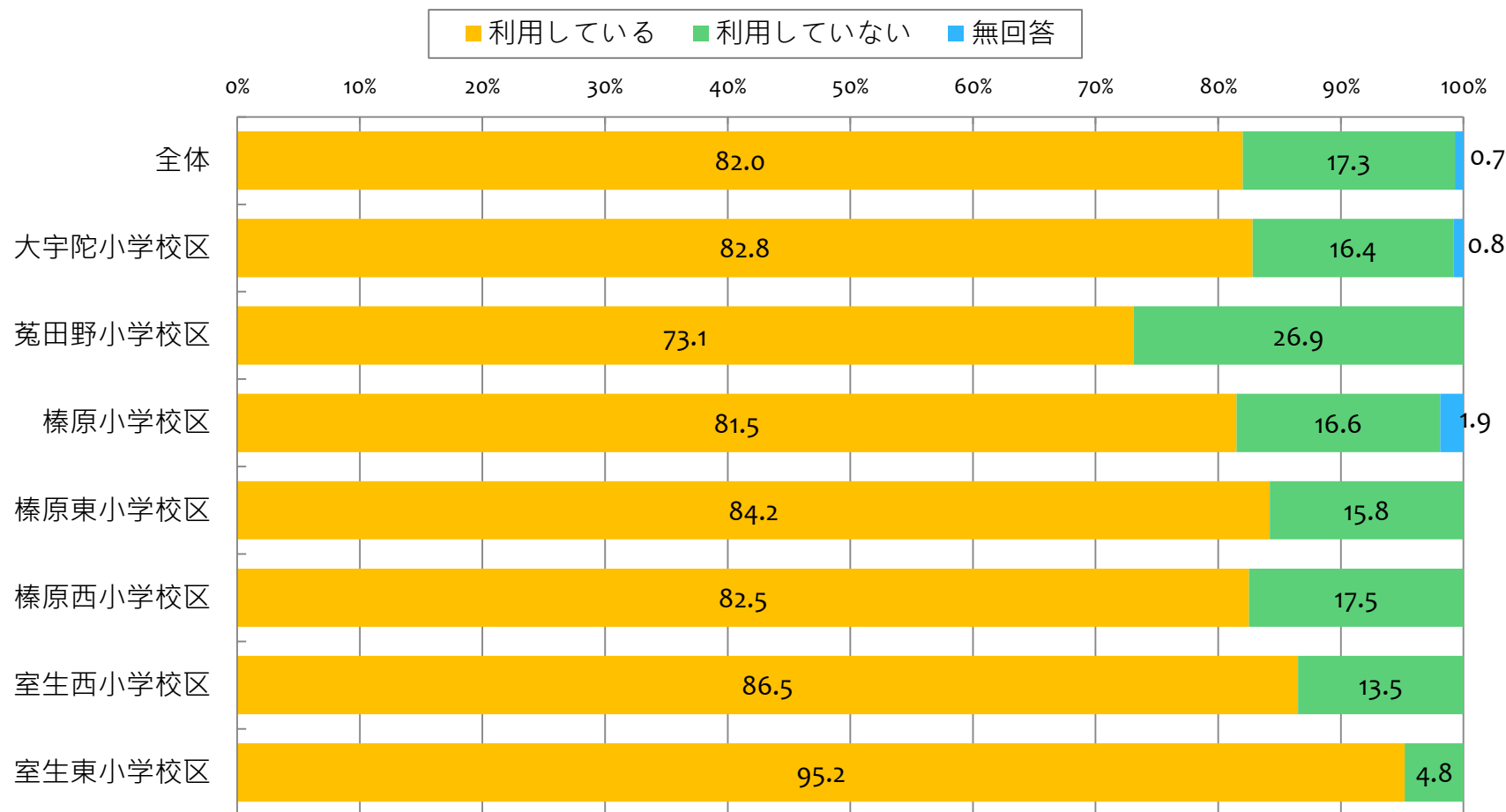
追加ページ

5平日の教育・保育利用状況

問14 平日の教育・保育利用の状況【小学校区別】(単数回答)

(n=611)

全体では「利用している」が82.0%で、最も多く、小学校区では「室生東」が最も多い結果でした。



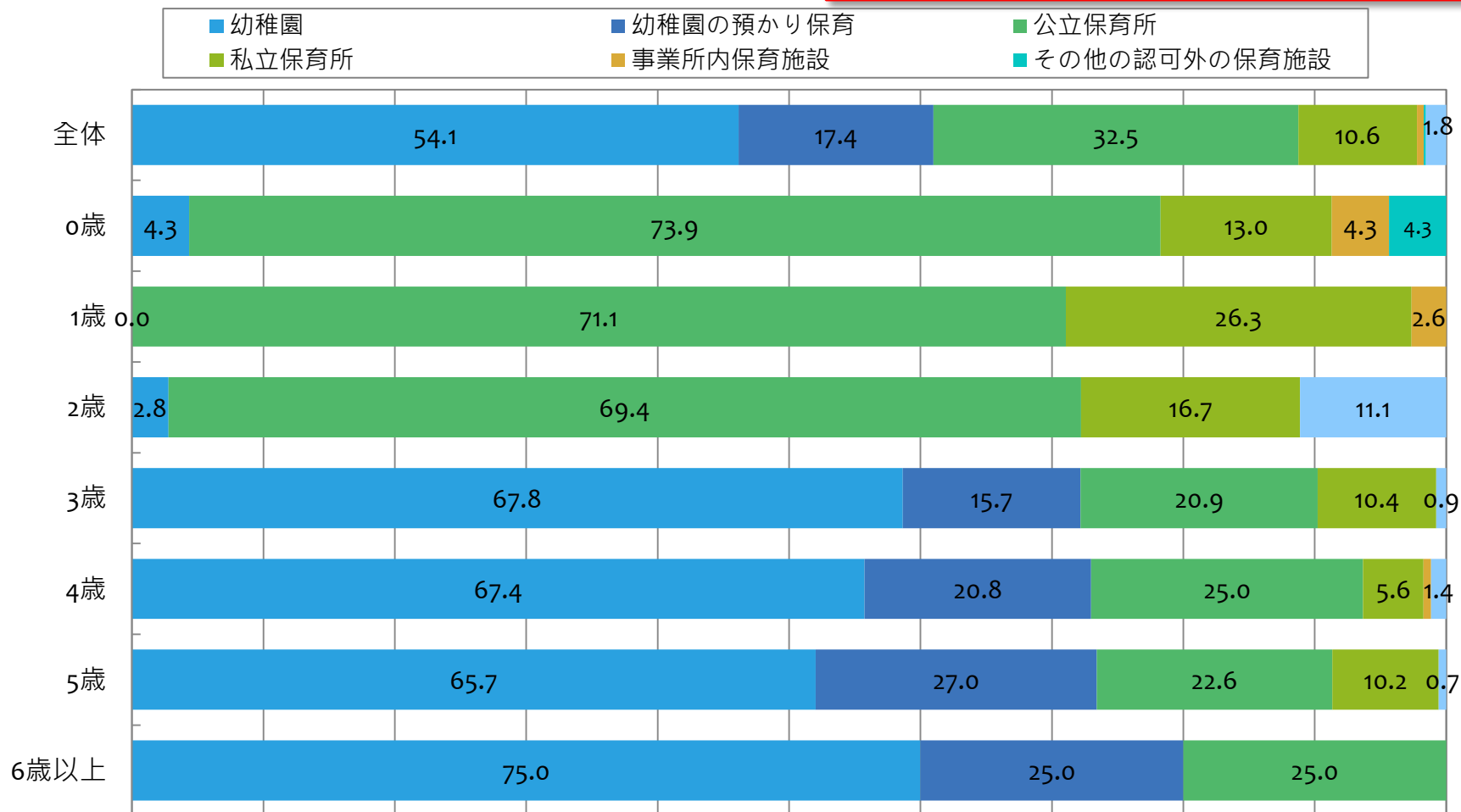
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問14-1 平日・利用事業の種類(複数回答)

(n=501)

全体では「幼稚園(通常就園時間)」が54.1%で最も多く、次いで「公立保育所(一時預かり除く)」が32.5%の順でしたが、0~2歳では「公立保育所(一時預かり除く)」が最も多い結果でした。



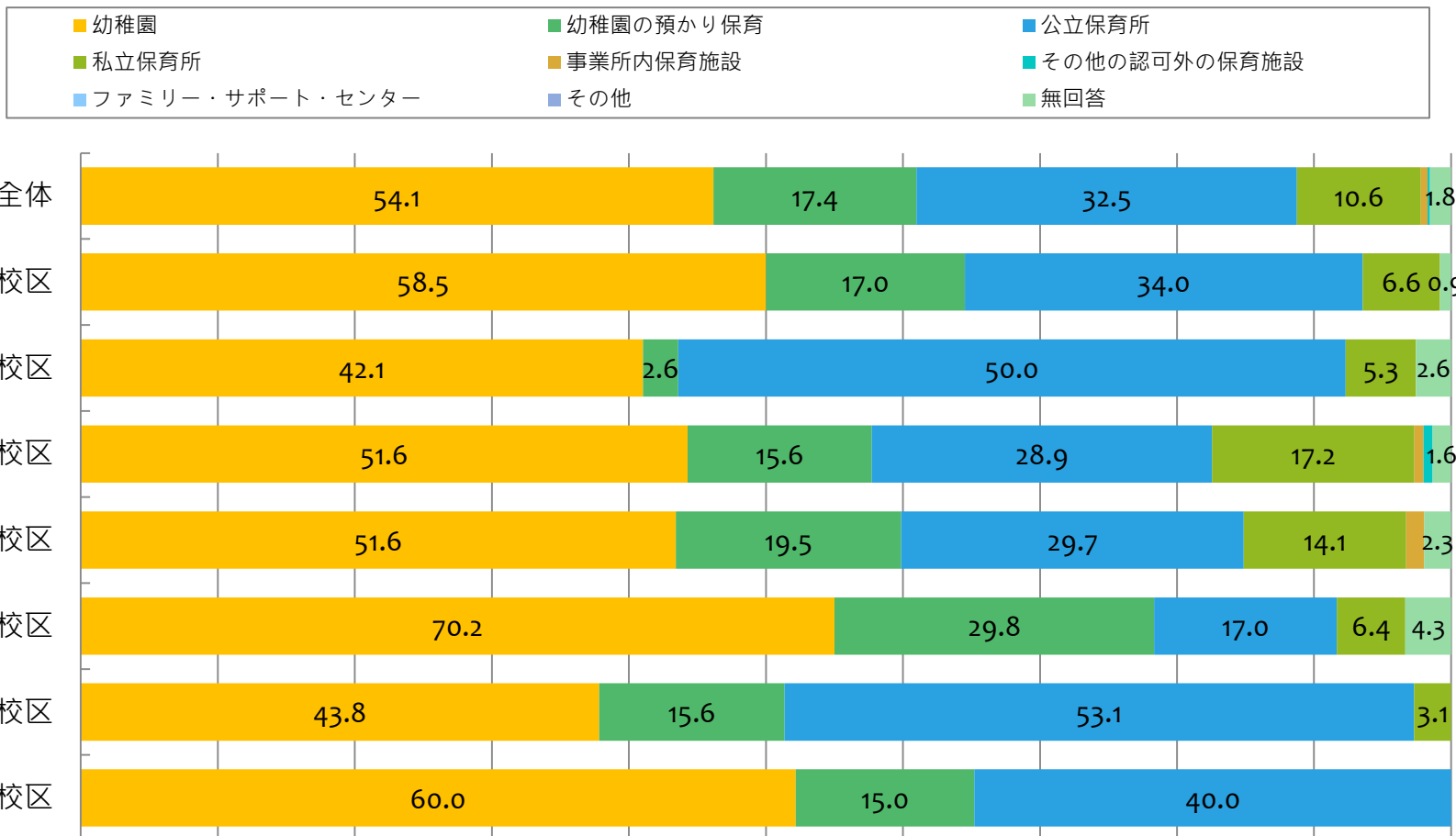
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問14-1 平日・利用事業の種類【小学校区別】

(複数回答) (n=501)

全体では「幼稚園」が54.1%で最も多く、小学校区別で「幼稚園」は「榛原西」が最も多い結果でした。



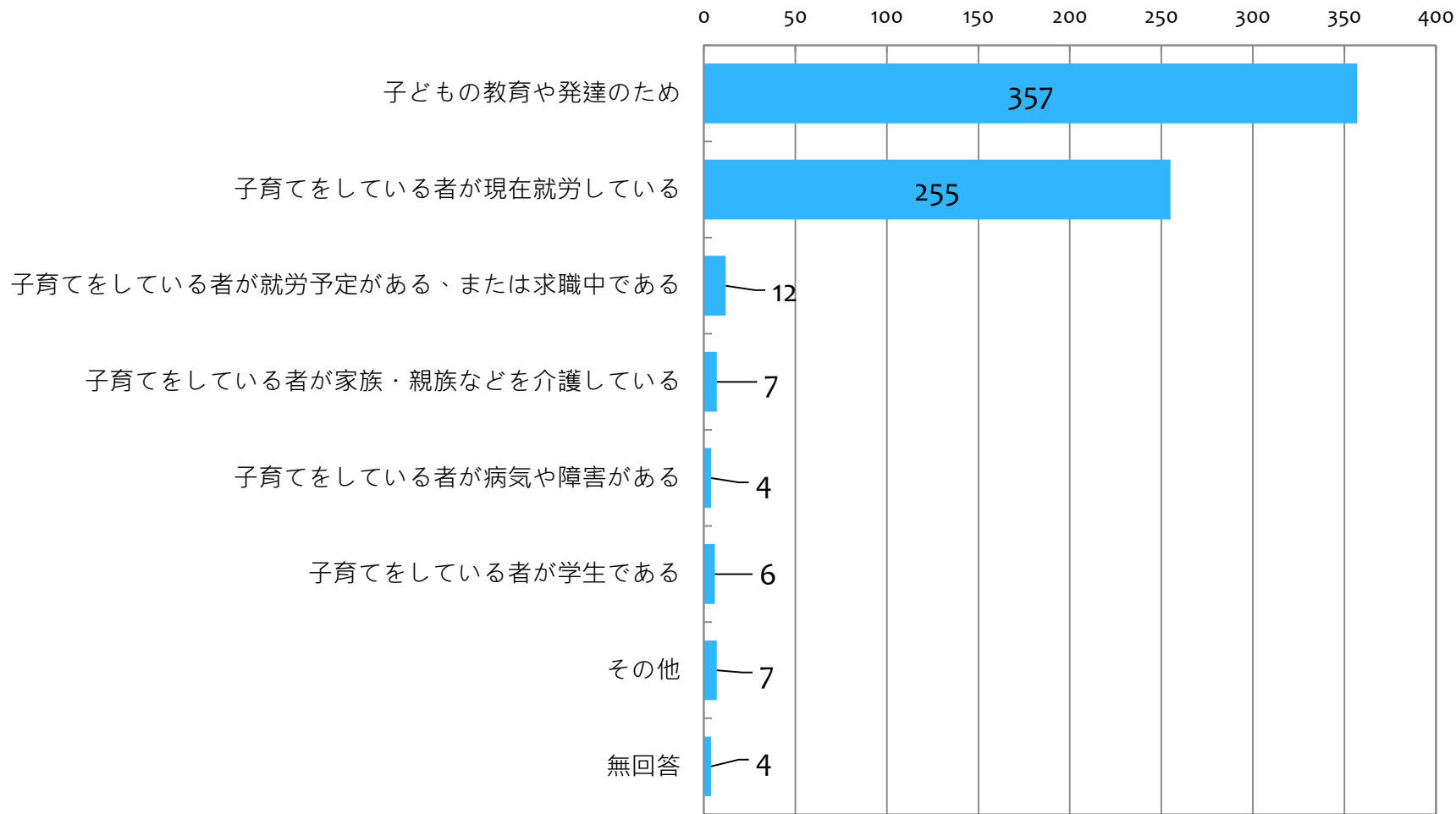
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問14-4 平日・利用している理由(複数回答)

(n=501)

「子どもの教育や発達のため」が最も多く、71.3%、次いで「子育てをしている者が現在就労している」が50.9%の順でした。



II 調査結果

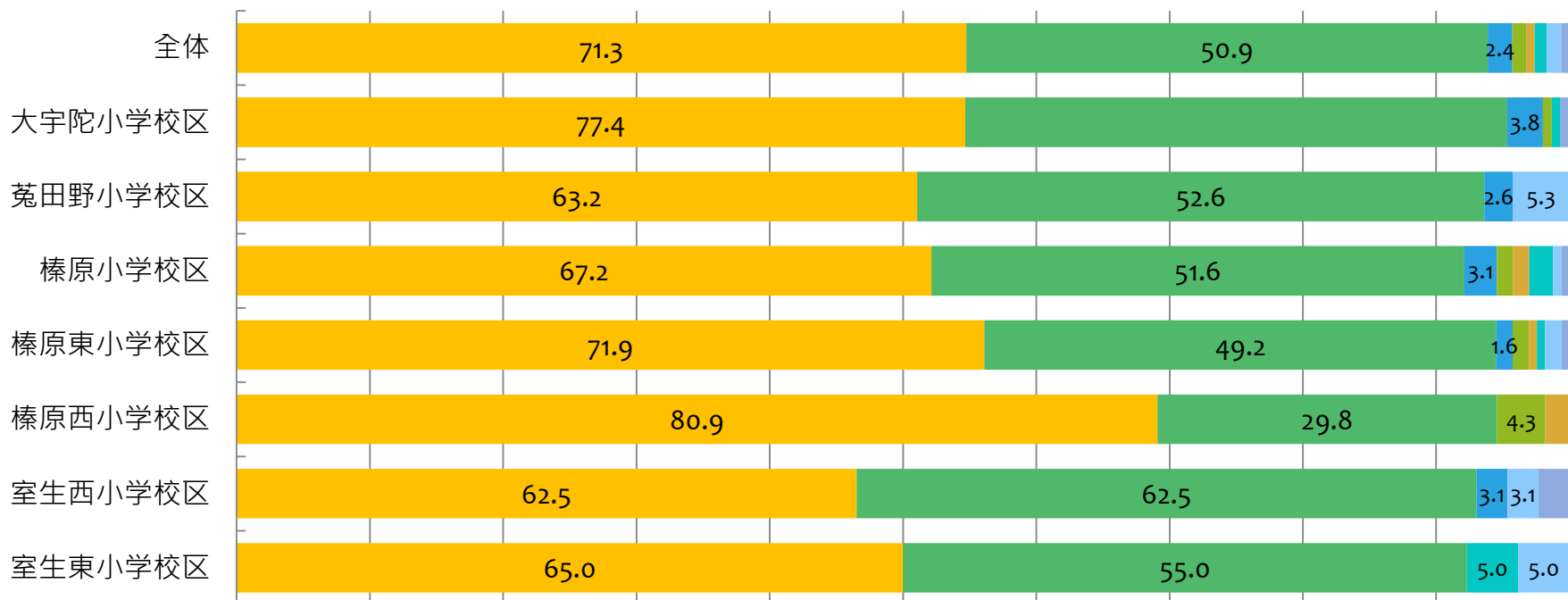
5平日の教育・保育利用状況

問14-4 平日・利用している理由【小学校区別】(複数回答)

(n=501)

「子どもの教育や発達のため」が最も多く、71.3%、小学校区別では「榛原西」が80.9%と最も多い結果でした。

- 子どもの教育や発達のため
- 子育てをしている者が現在就労している
- 子育てをしている者が就労予定がある、または求職中である
- 子育てをしている者が家族・親族などを介護している
- 子育てをしている者が病気や障害がある
- 子育てをしている者が学生である
- その他
- 無回答



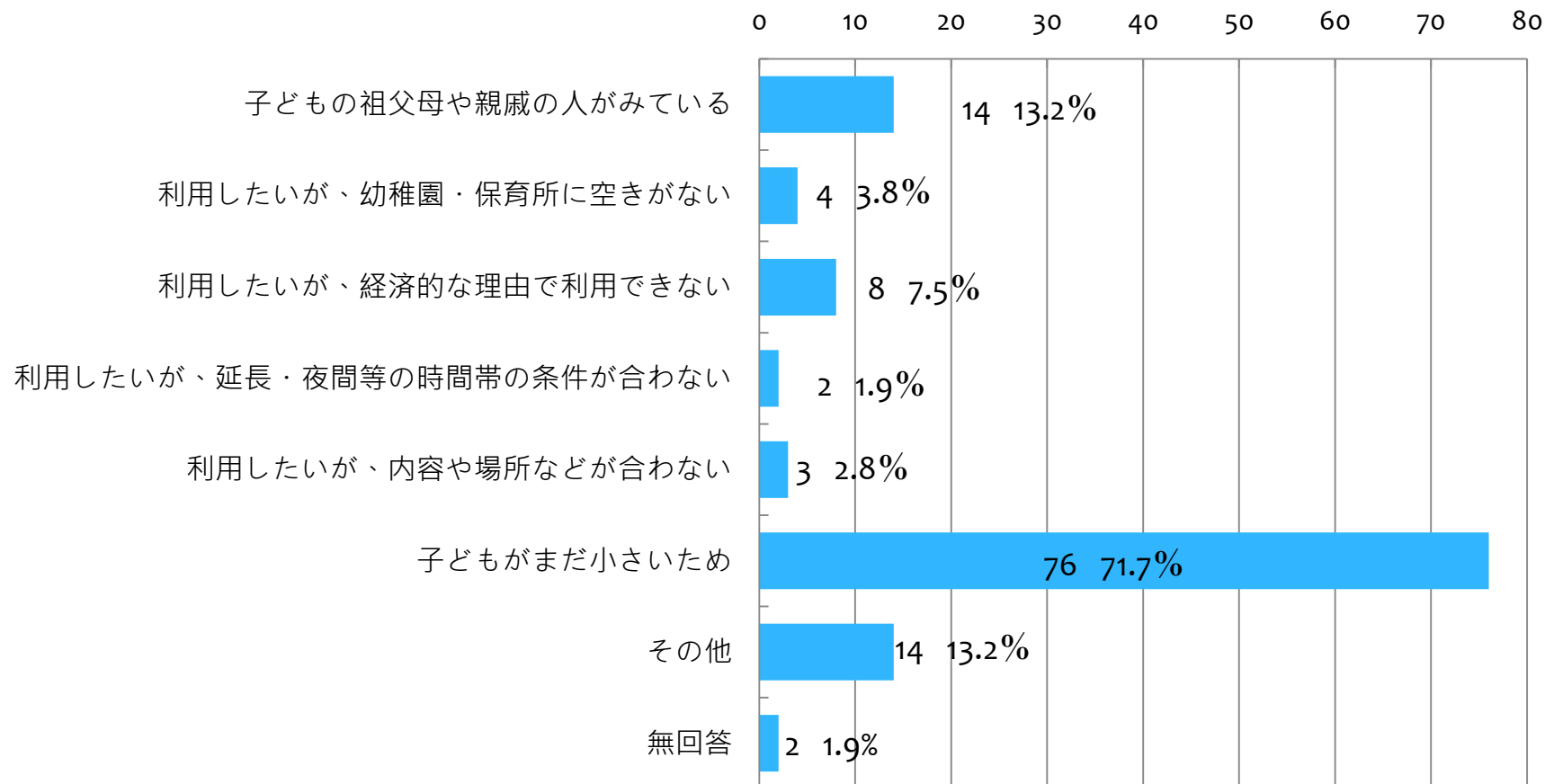
II 調査結果

5 平日の教育・保育利用状況

問14-5 平日・利用していない理由(複数回答)

就学前(n=106)

「子どもがまだ小さいため」が最も多く71.7%、次いで子どもの祖父母や親戚の人がみている」が15.2%の順でした。



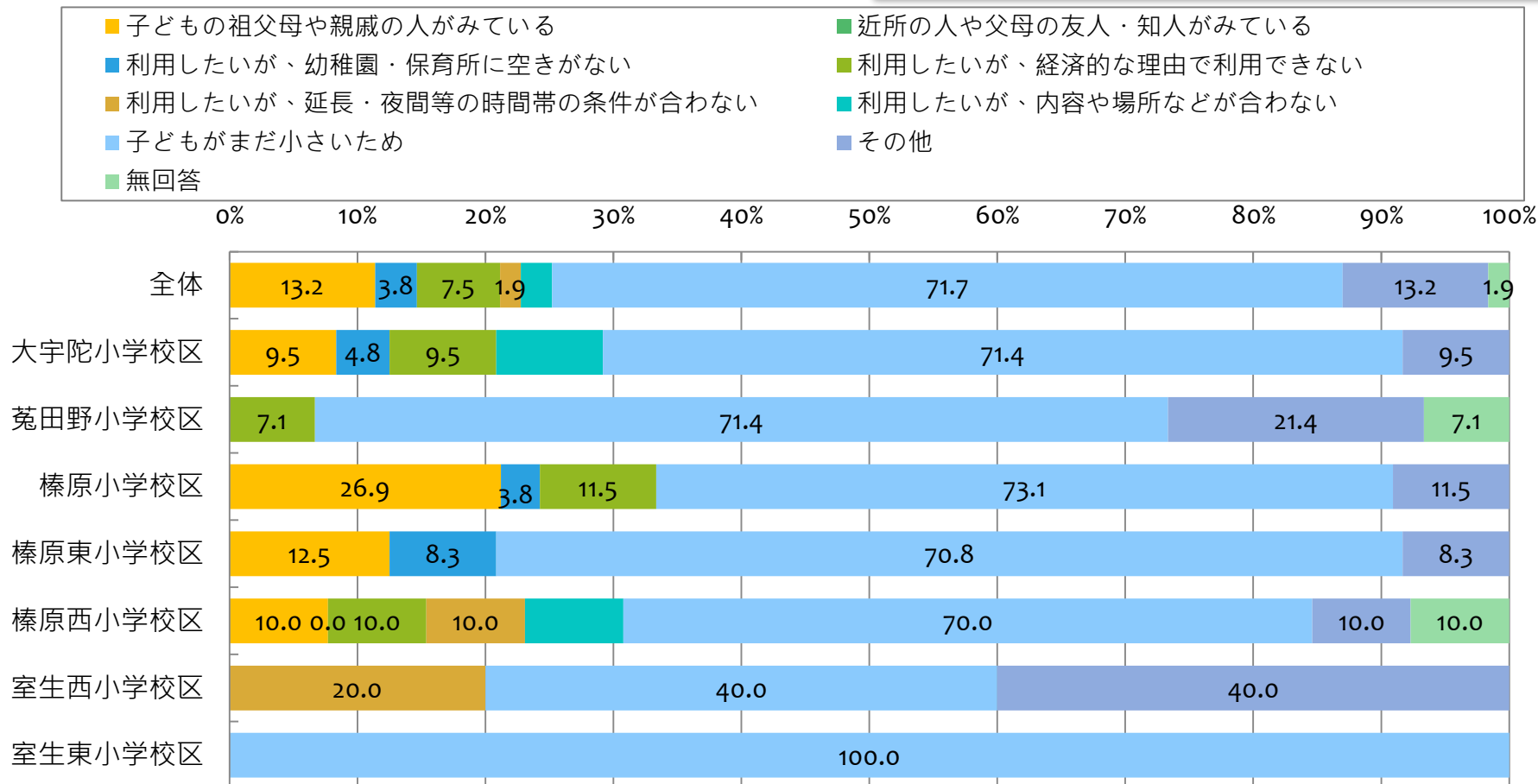
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問14-5 平日・利用していない理由【小学校区別】(複数回答)

(n=106)

「子どもがまだ小さいため」が最も多く71.7%、小学校区では、「室生東」が最も多い結果でした。



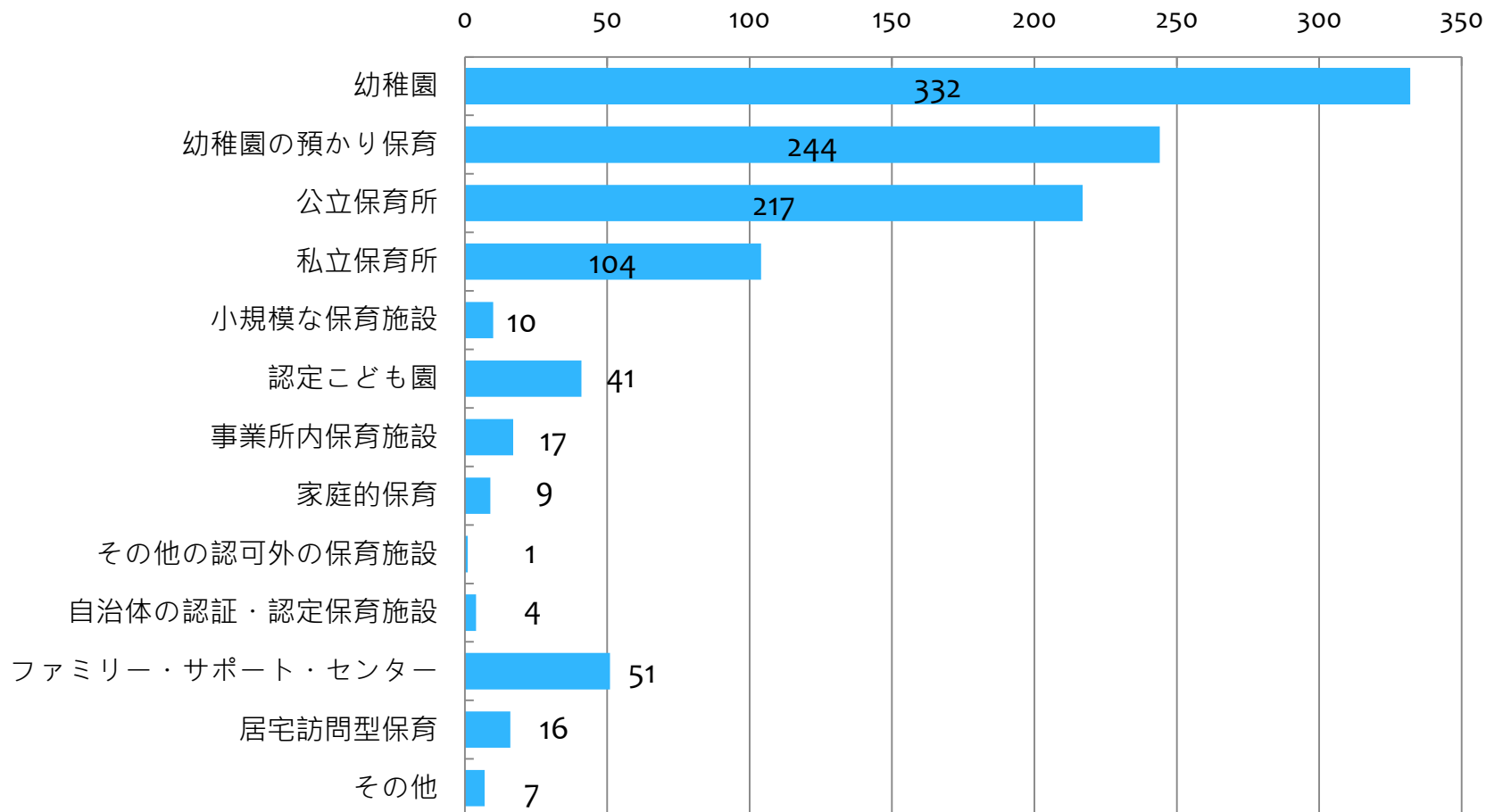
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問15 今後利用したい教育・保育事業(複数回答)

(n=611)

「幼稚園」が最も多く、54.3%、ついで「幼稚園の預かり保育」が39.9%、「公立保育所」35.5%の順になっています。



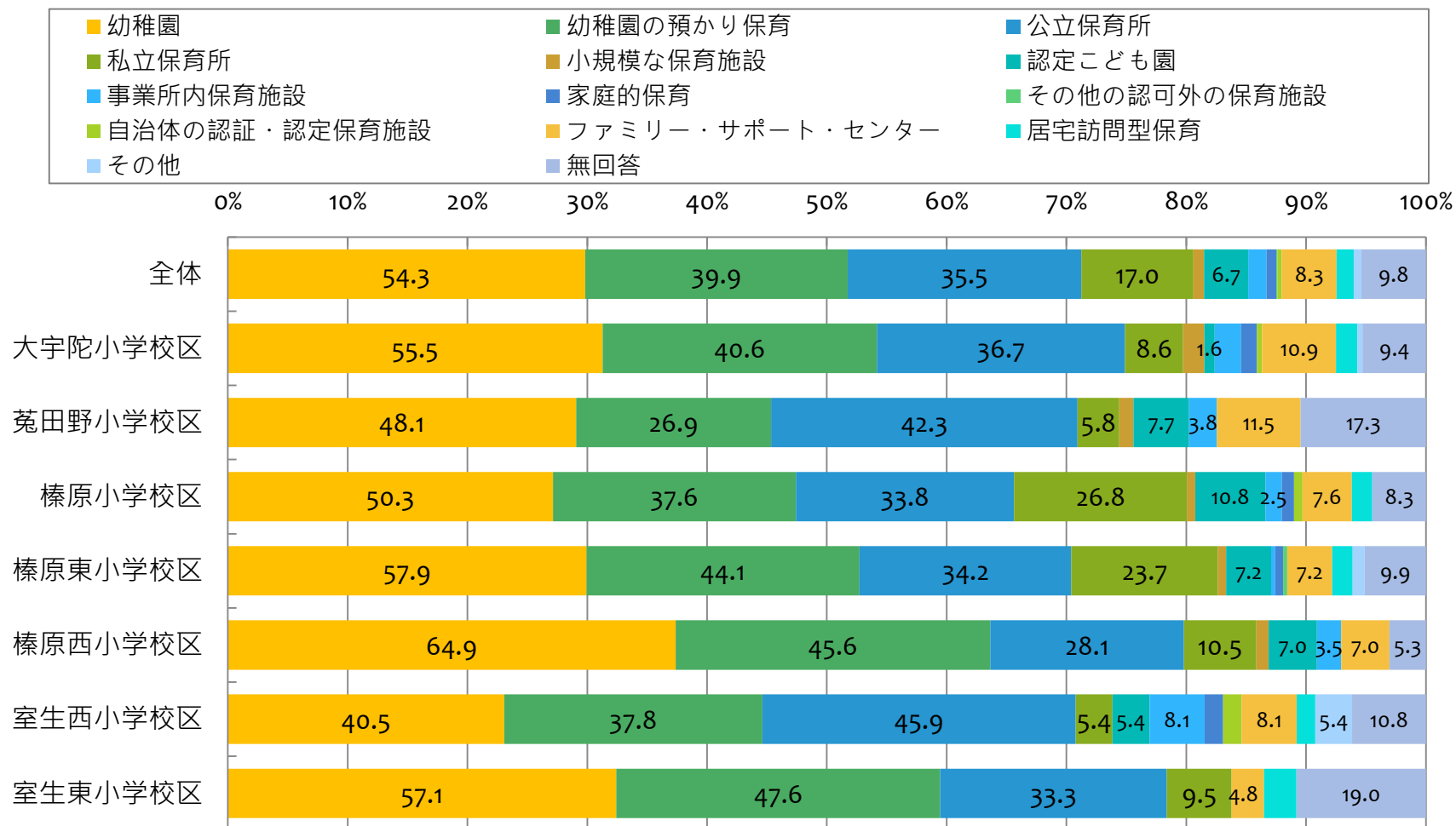
II 調査結果

5平日の教育・保育利用状況

問15 今後利用したい教育・保育事業【小学校区別】(複数回答)

(n=611)

小学校区別では「榛原西」で「幼稚園」が全体よりやや多い結果でした。



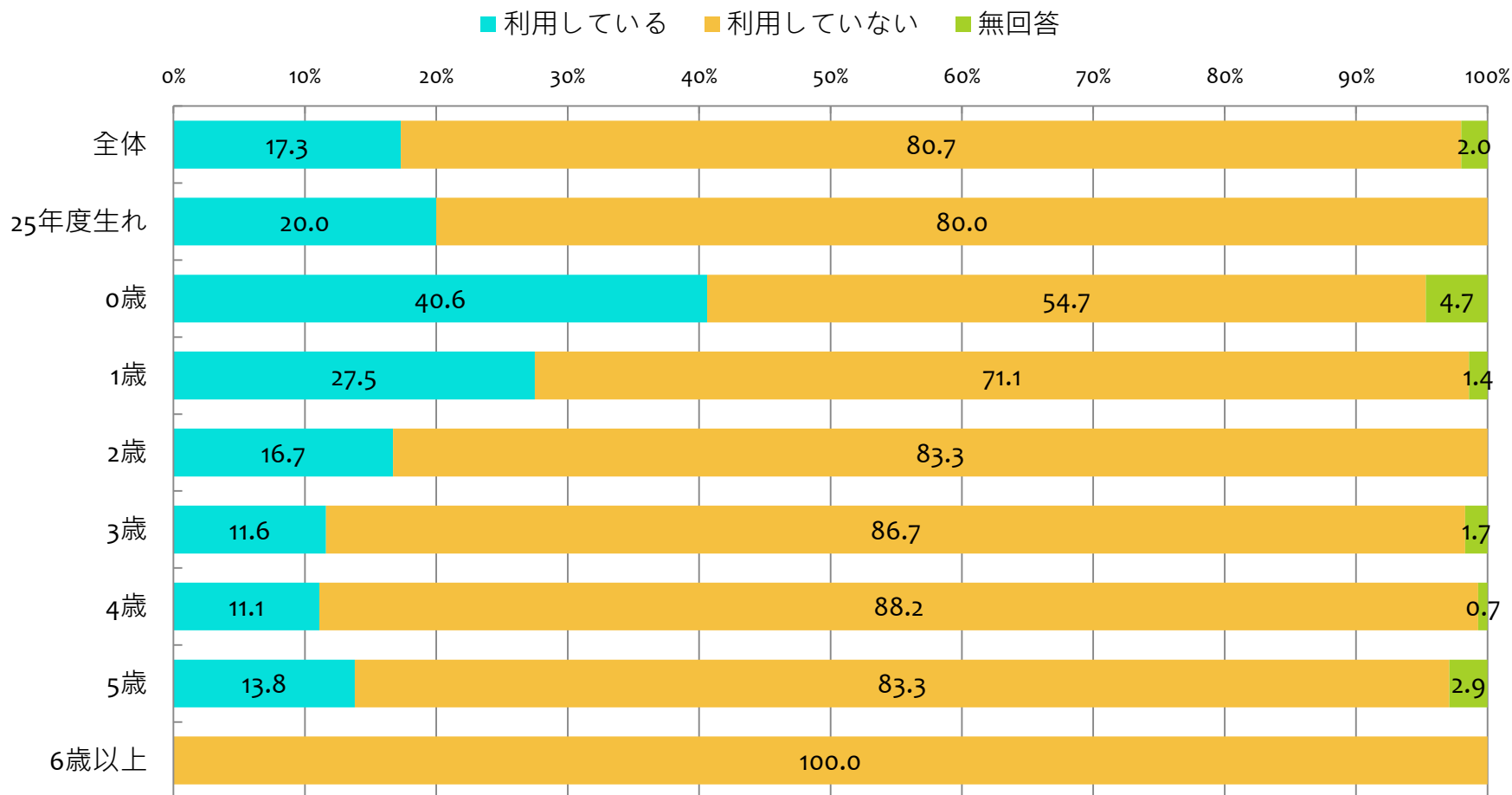
II 調査結果

6地域子育て支援

問16 子育て支援センターの利用状況(単数回答)

就学前(n=611)

全体では「利用していないが」80.7%をしめており、「利用している」では0歳で40.6%と最も高く、ついで1歳で27.5%の状況です。



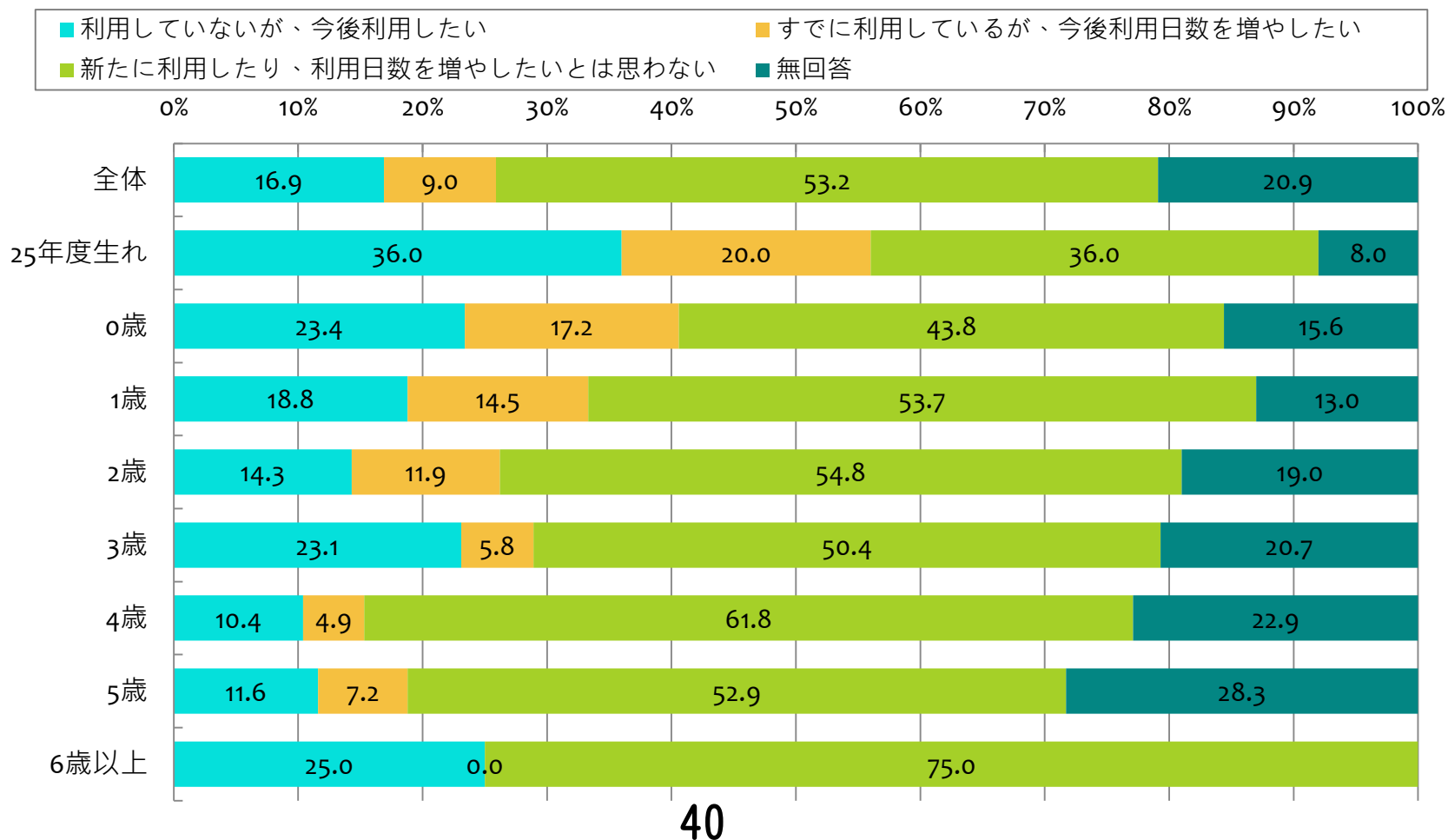
II 調査結果

6地域子育て支援

問17 拠点事業の今後の利用希望(単数回答)

(n=611)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が、53.1%と最も多く、年齢別では「25年生まれ」、「0歳」で「利用していないが、今後利用したい」が多い傾向でした。



II 調査結果

6地域子育て支援

問18 各事業の認知度(単数回答)

(n=611)

相談事業等が認知度が低くなっている

■ 知っている ■ しらない ■ 無回答



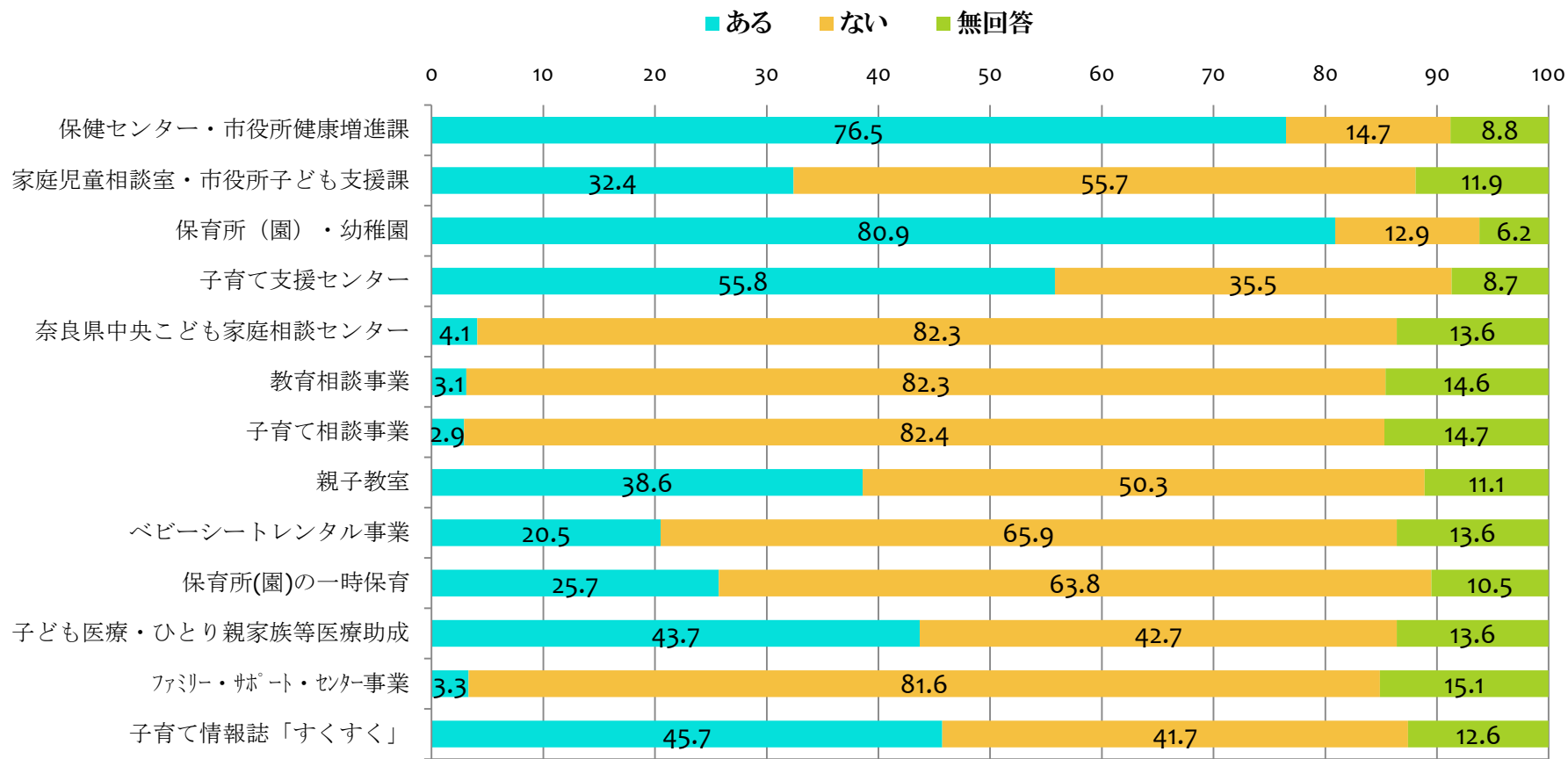
II 調査結果

6地域子育て支援

問18 各事業利用の有無(単数回答)

(n=611)

相談事業やファミリーサポートセンターの利用が少ない



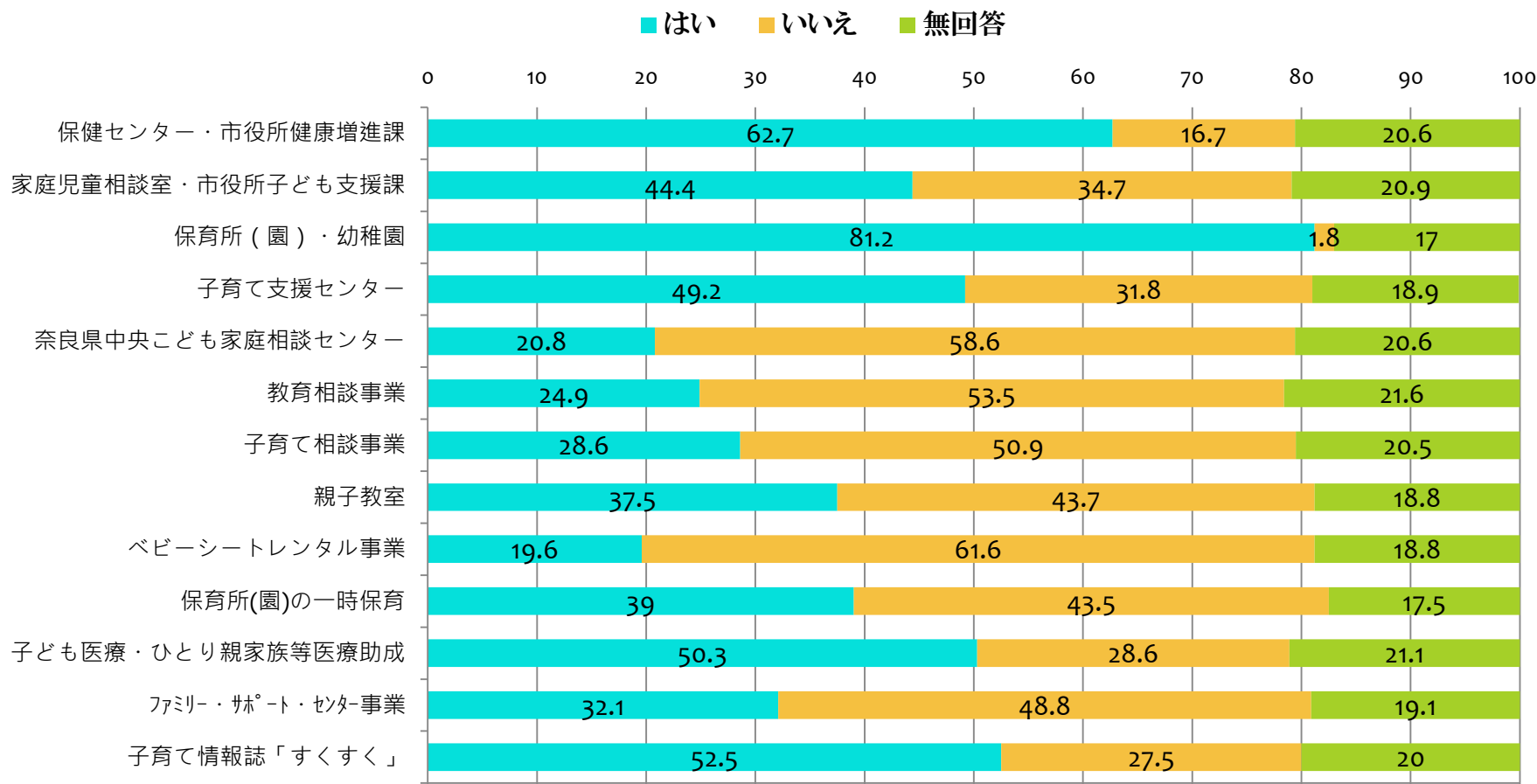
II 調査結果

6地域子育て支援

問18 各事業利用今後の利用希望(単数回答)

(n=611)

利用していなかった事業についても、利用希望が増えている



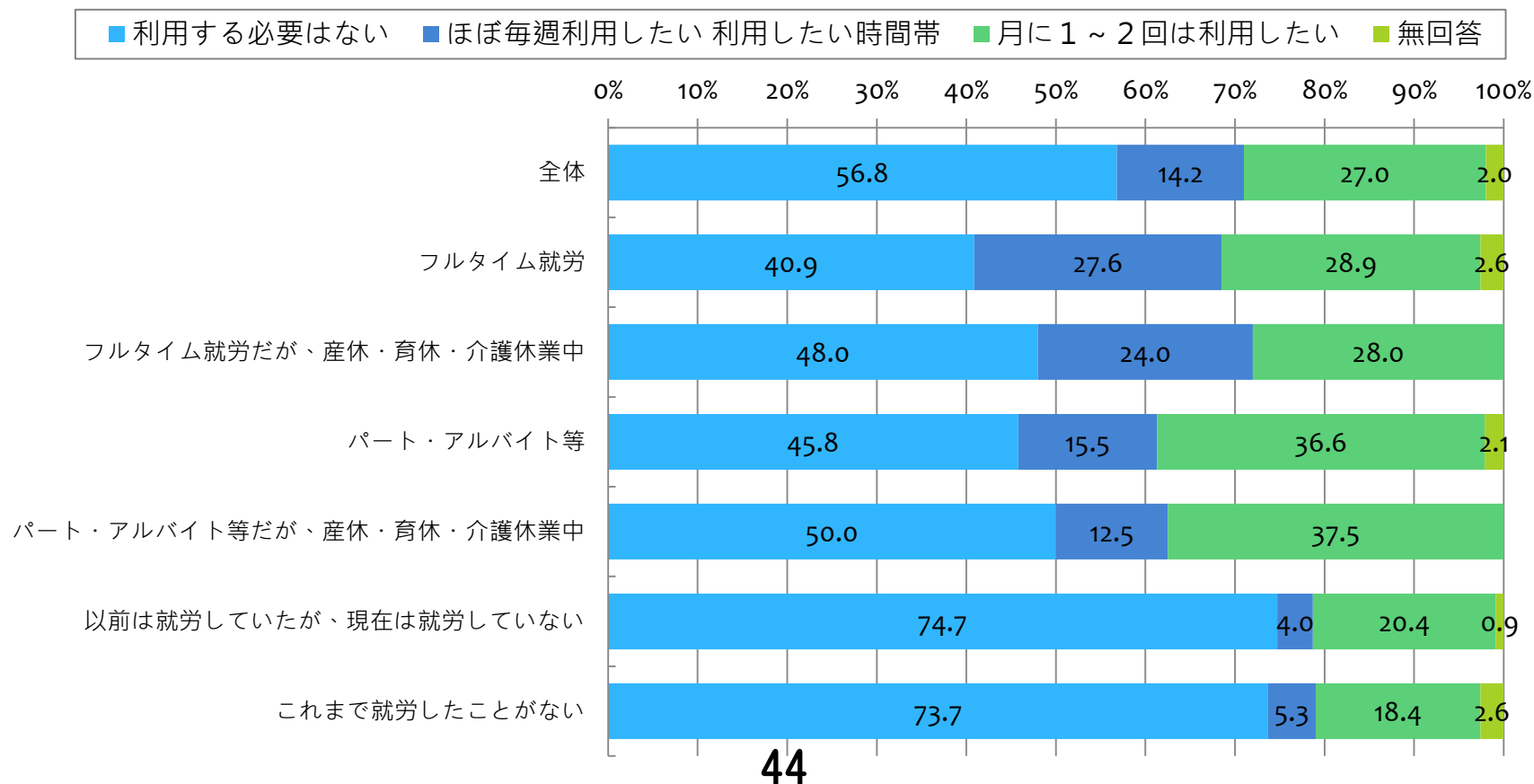
II 調査結果

7休日の教育・保育利用状況

問19(1) 土曜日の利用希望(単数回答)

就学前(n=611)

全体では「利用する必要はない」が最も多く、56.8%を占めています。一方「フルタイム就労」及び「フルタイムで産休、育休中」の母では、「毎週」「月に1~2度」の希望がやや多い状況でした。



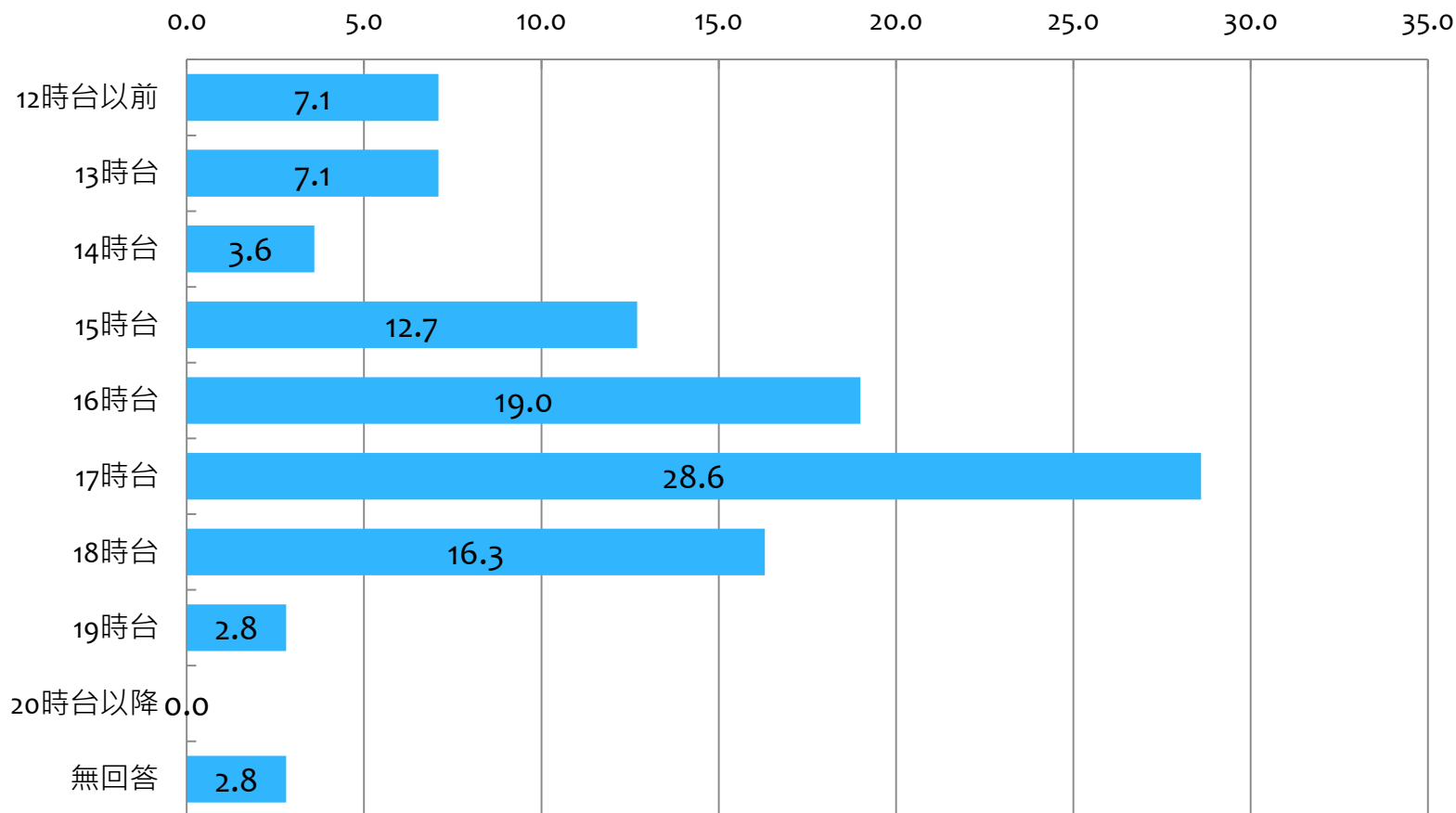
II 調査結果

7休日の教育・保育利用状況

問19(1) 土曜日の利用希望【終了時間】(単数回答)

就学前(n=611)

全体では「17時台」が最も多く、次いで14時台の結果でした。



II 調査結果

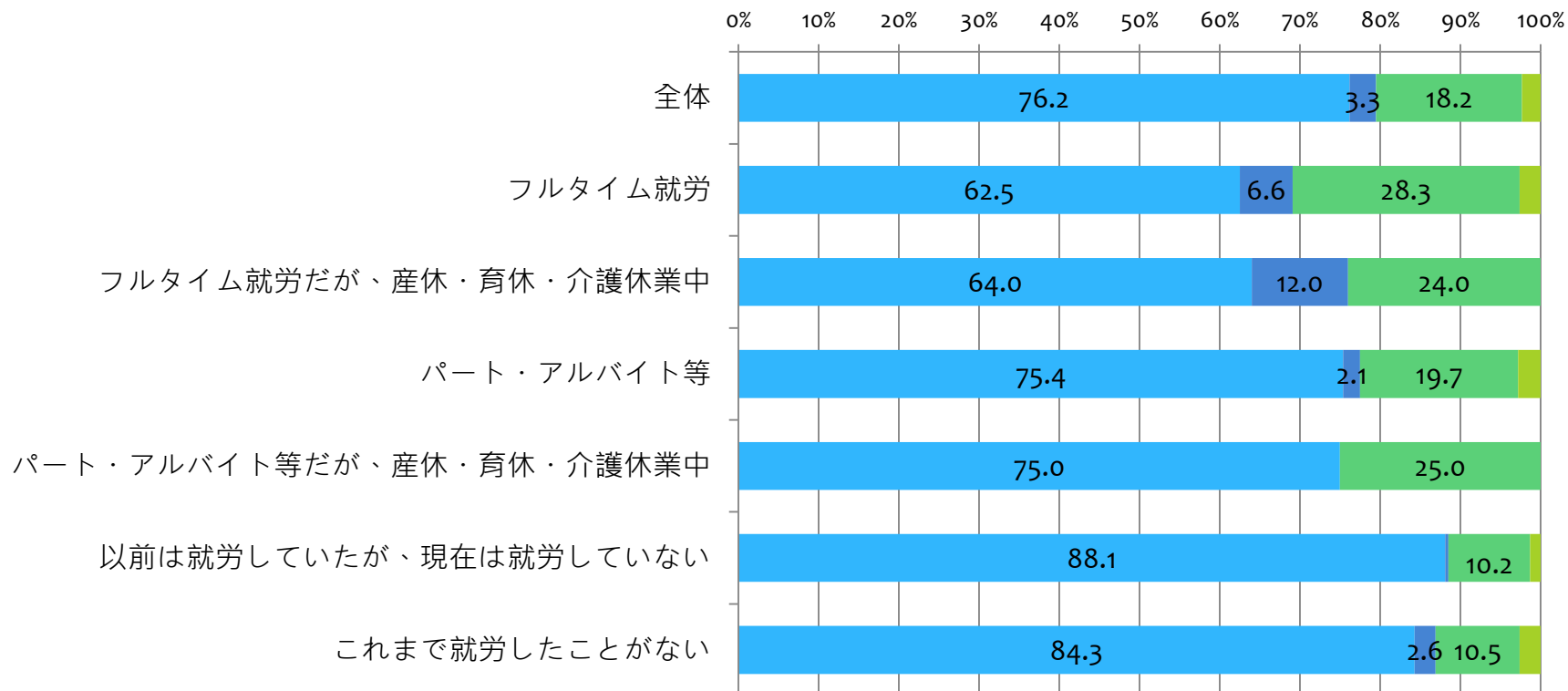
7休日の教育・保育利用希望

問19(2) 日・祝の利用希望(単数回答)

就学前(n=611)

全体では「利用する必要はない」が最も多く、76.2%を占めています。また、「フルタイム就労」及び「フルタイムで産休、育休中」、「パート、アルバイトで産休中」の母で「月に1~2度」の希望がやや多い状況でした。

■ 利用する必要はない ■ ほぼ毎週利用したい 利用したい ■ 月に1~2回は利用したい ■ 無回答



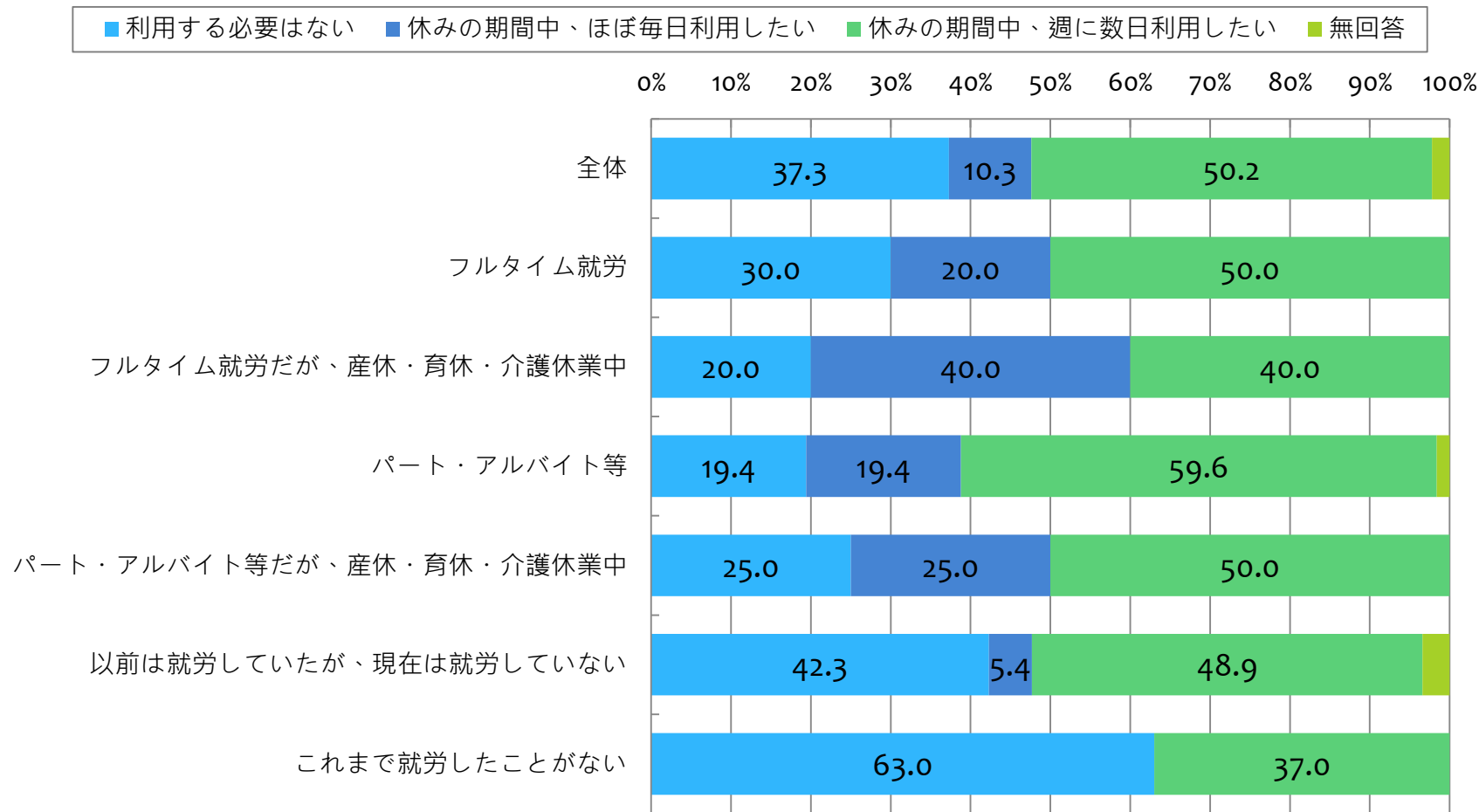
II 調査結果

7休日の教育・保育利用希望

問20 (幼稚園利用者)長期休暇の 利用希望(単数回答)

就学前(n=271)

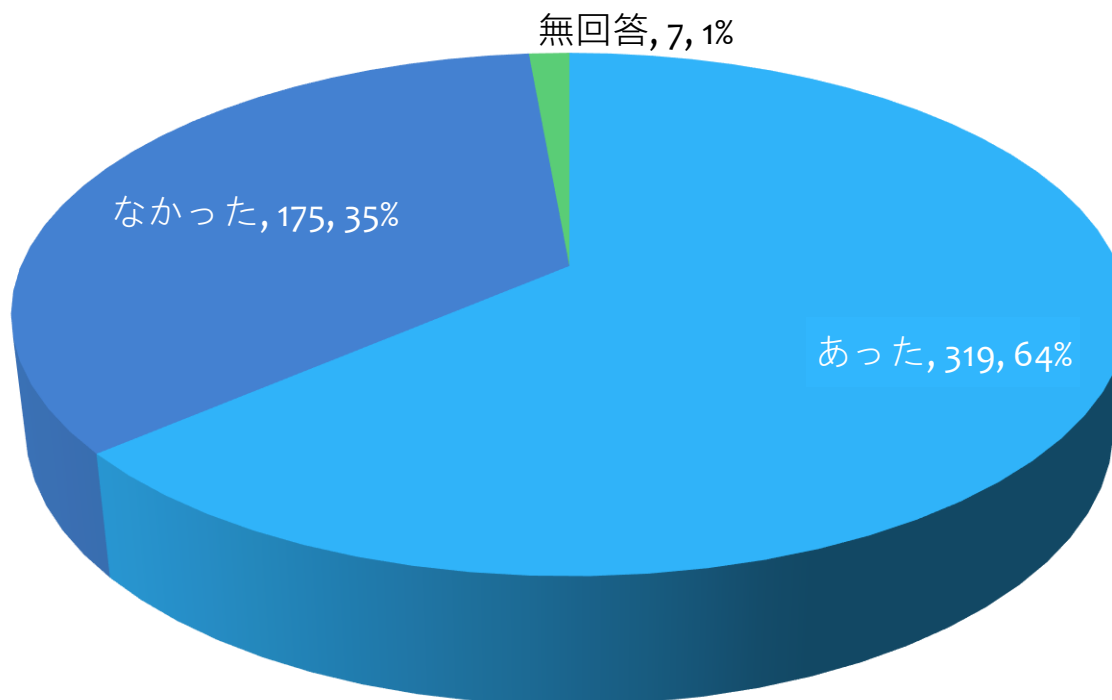
全体では「休みの期間中、週に数日利用したい」が50.2%と多数を占め、「パートアルバイトで産休中」が59.6%と最も高い結果でした。また、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」では「フルタイム就労だが、産休」が40.0%と最も高い結果でした。



問21 病気で保育・教育利用できなかった経験(過去1年)(単数回答)

就学前(n=501)

「あった」が64%と最も高く、「なかった」は35%の結果でした。



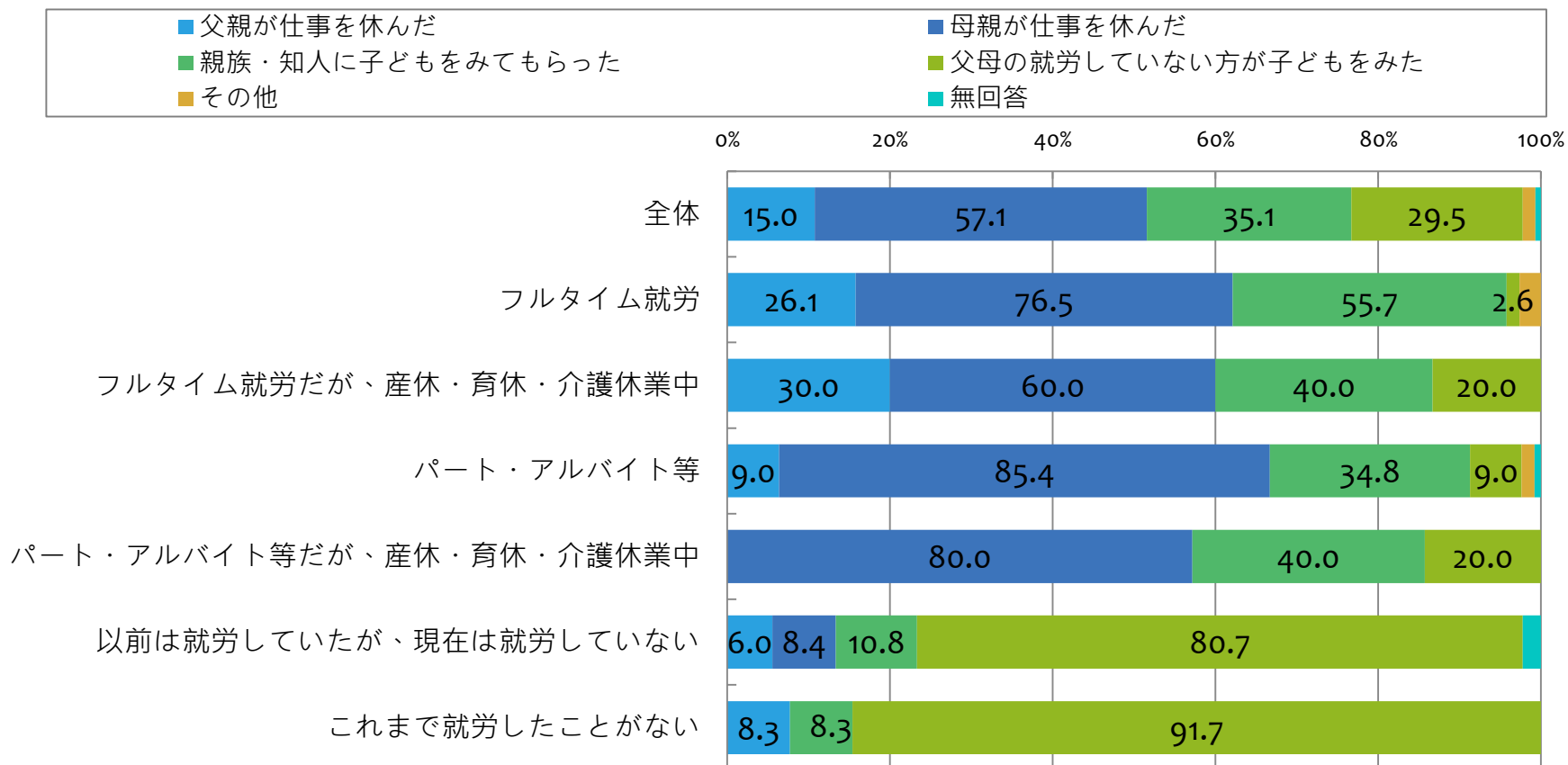
II 調査結果

8病時の対応

問21-1 (病児・定期利用不可) 対処方法(複数回答)

就学前(n=319)

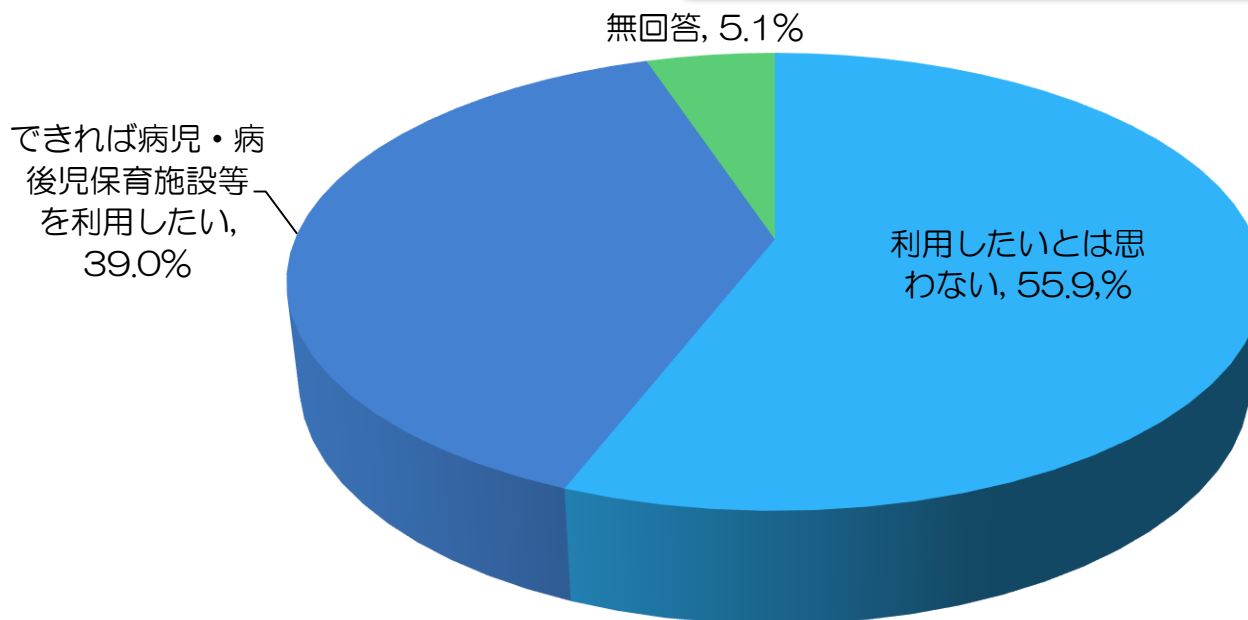
全体では「母親が仕事を休んだ」が最も多く57.1%、ついで「親族・知人に子どもをみてもらった」35.1%でしたが、「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」では「父母の就労していない方が子どもをみた」が過半数を占めました。



問21-2 (休んだ人) 病児・病後児保育の希望 (単数回答)

(n=195)

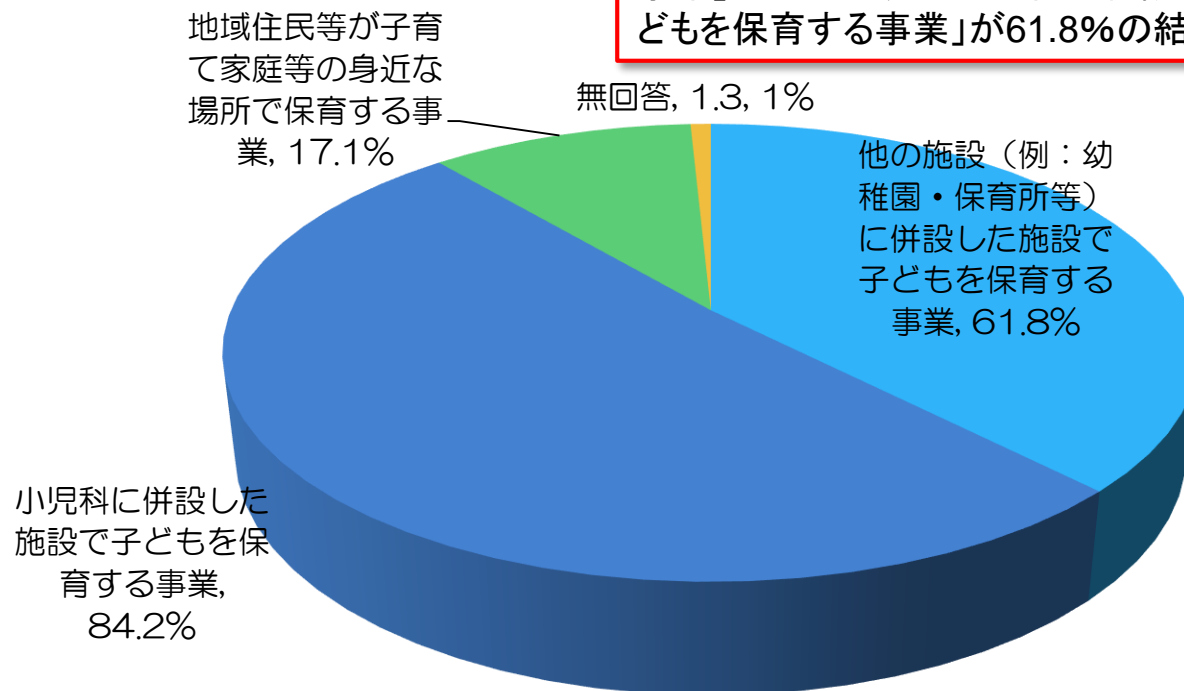
全体では「利用したいとは思わない」が55.9%、次いで「できれば病児・病後氏保育施設等を利用したい」が39.0%の結果でした。



問21-3 (病児保育希望者) 事業形態の希望 (単数回答)

(n=76)

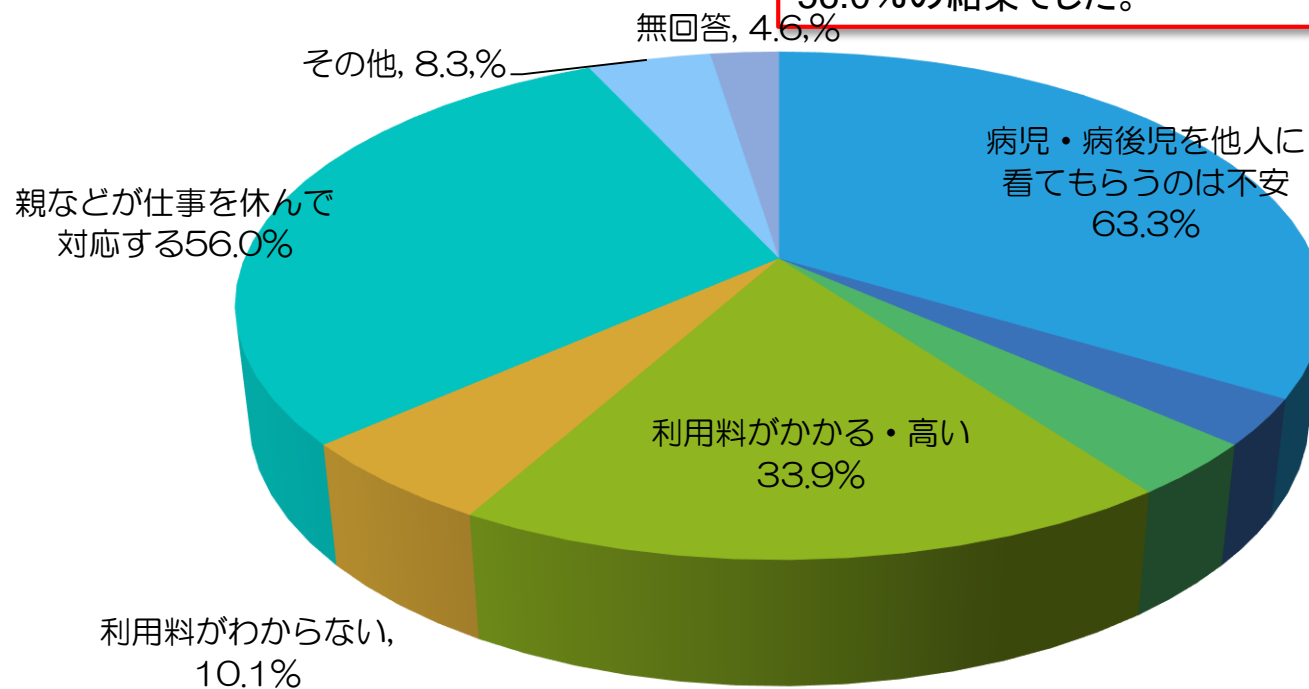
全体では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が84.2%、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が61.8%の結果でした。



問21-4 (病児保育希望しない人) 希望しない理由(単数回答)

(n=109)

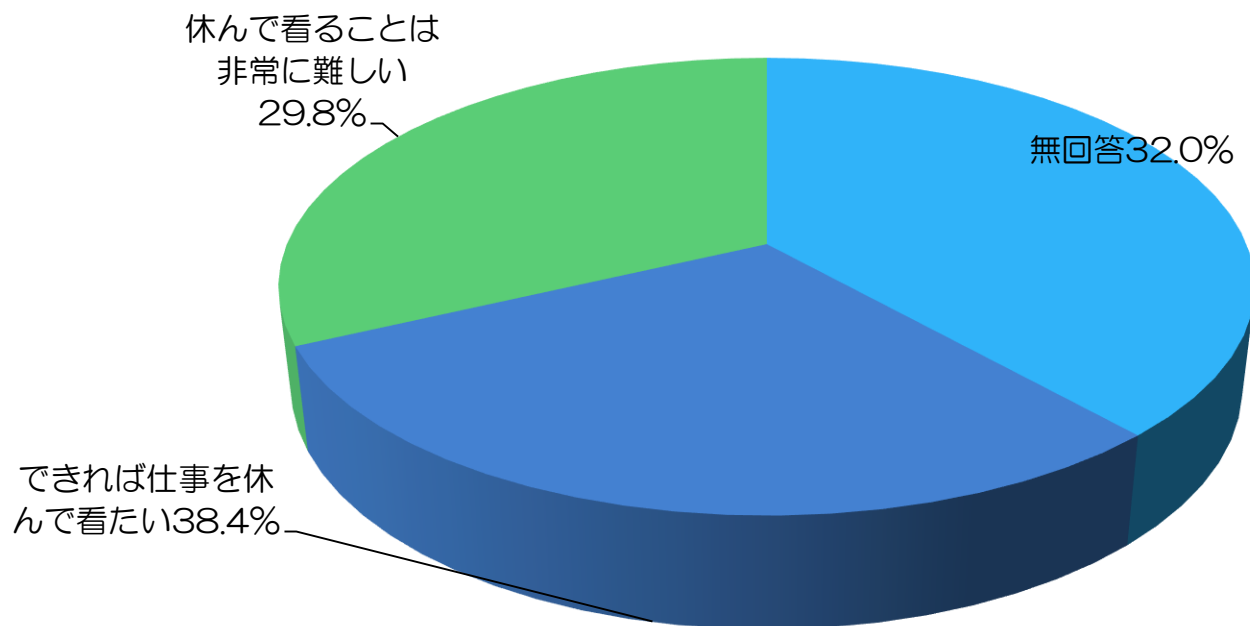
全体では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が63.3%、次いで「親などが仕事を休んで対応する」が56.0%の結果でした。



問21-5 父母が休みたかったかどうか(単数回答)

(n=203)

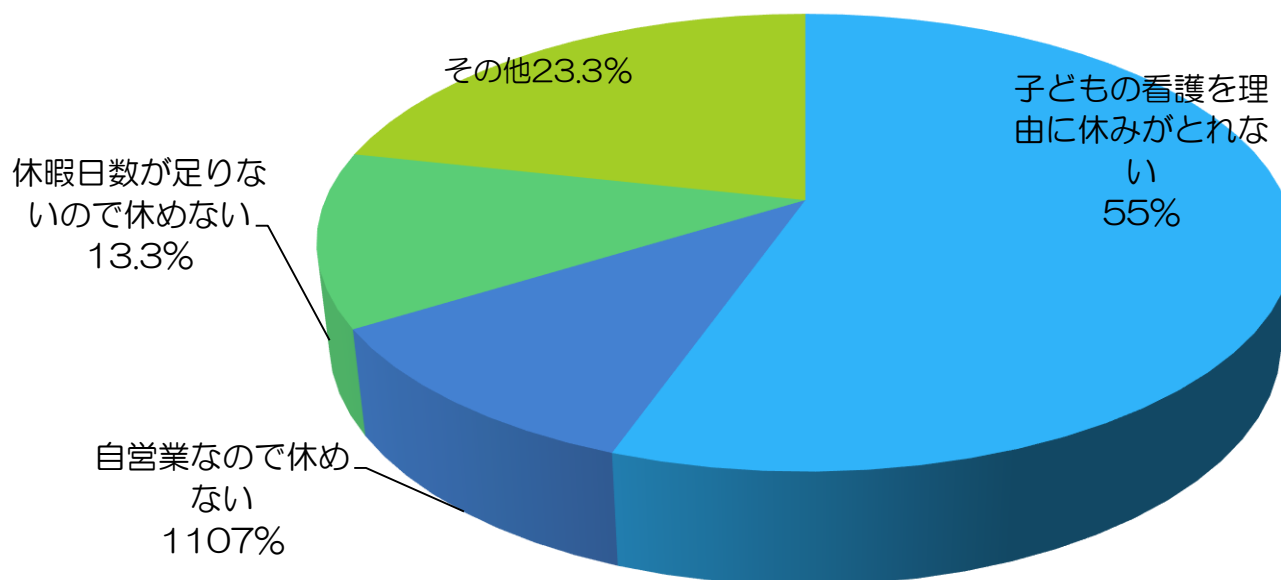
全体では「できれば仕事を休んで看たい」が38.4%が最も多い結果でしたが、「休んで看することは非常に難しい」も29.8%の結果でした。



問21-6 休んで看るのが難しい理由(複数回答)

(n=60)

全体では「子どもの看護を理由に休みがとれない」が55.0%が最も多い結果でした。



II 調査結果

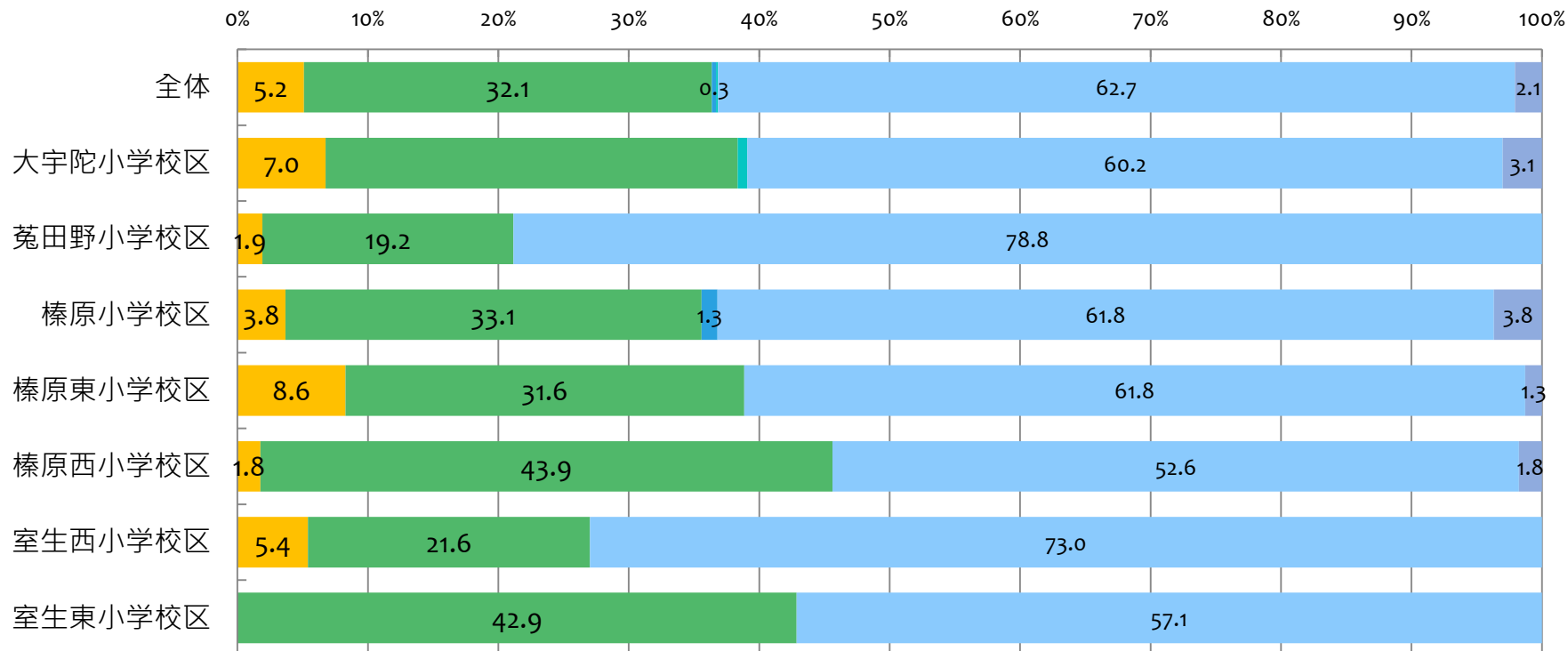
9 不定期の事業利用

問22 不定期に利用している事業

【小学校区別】(複数回答) (n=611)

小学校区別では「榛原西」、「室生東」で「幼稚園の預かり保育」やや高い結果でした。

- 一時保育
- ファミリー・サポート・センター
- ベビーシッター
- 利用していない
- 幼稚園の預かり保育
- 夜間養護等事業：トワイライトステイ
- その他
- 無回答

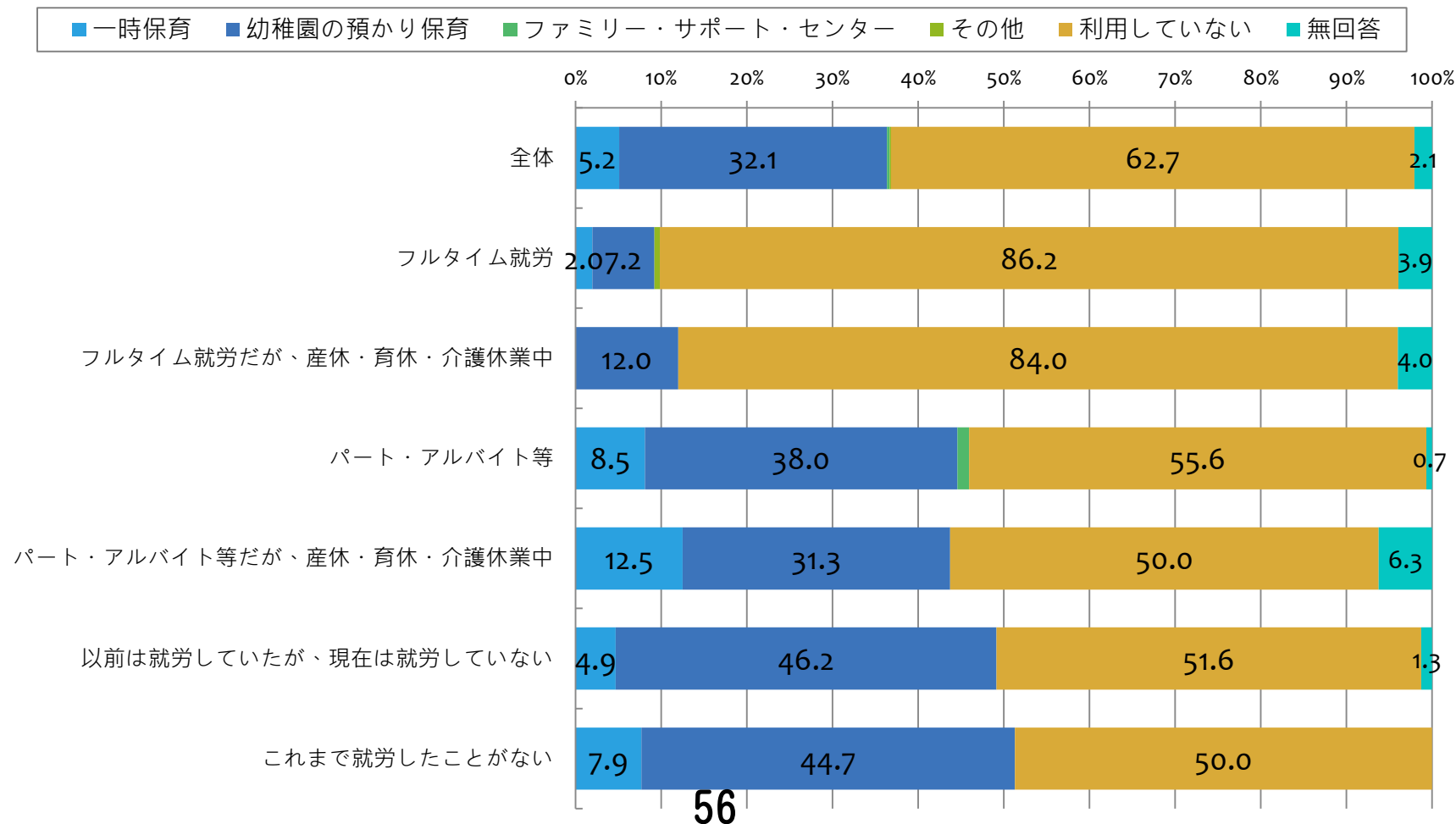


II 調査結果

9 不定期の事業利用

問22 不定期に利用している事業(単数回答) 就学前(n=611)

全体では「利用していない」が最も多く、62.7%をしめしましたが、「フルタイム就労」及び「フルタイム就労だが、産休」については、それぞれ80%以上を占めました。



II 調査結果

9 不定期の事業利用

問22-1 (未利用者)利用していない理由(複数回答) (n=383)

「特に利用する必要がない」が最も多く、78.6%をしめました。

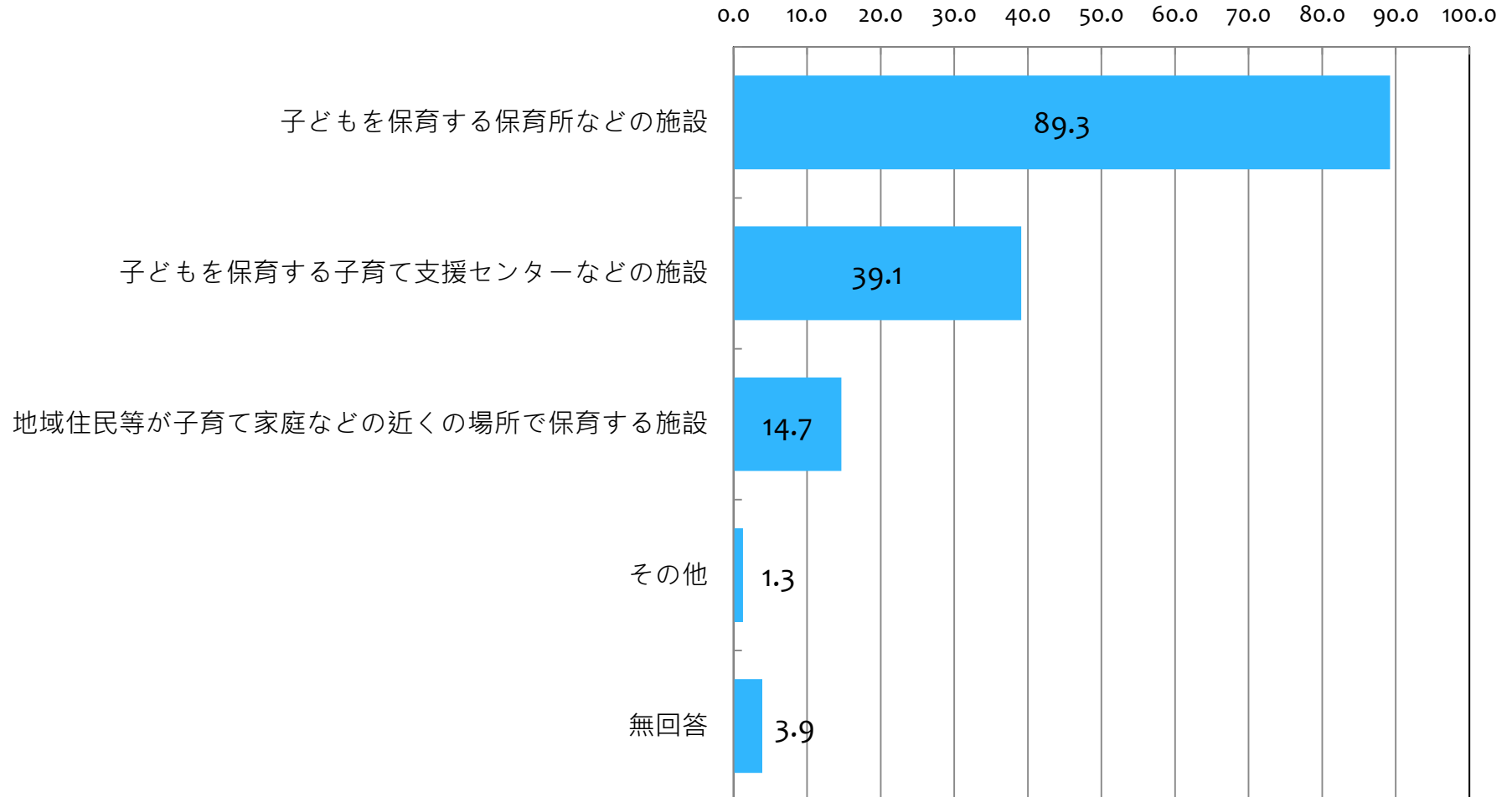


II 調査結果

9 不定期の事業利用

問23-1(利用希望者)事業形態
の希望(複数回答) (n=307)

「子どもを保育する保育所などの施設」が最も高く、89.3%を占めました。



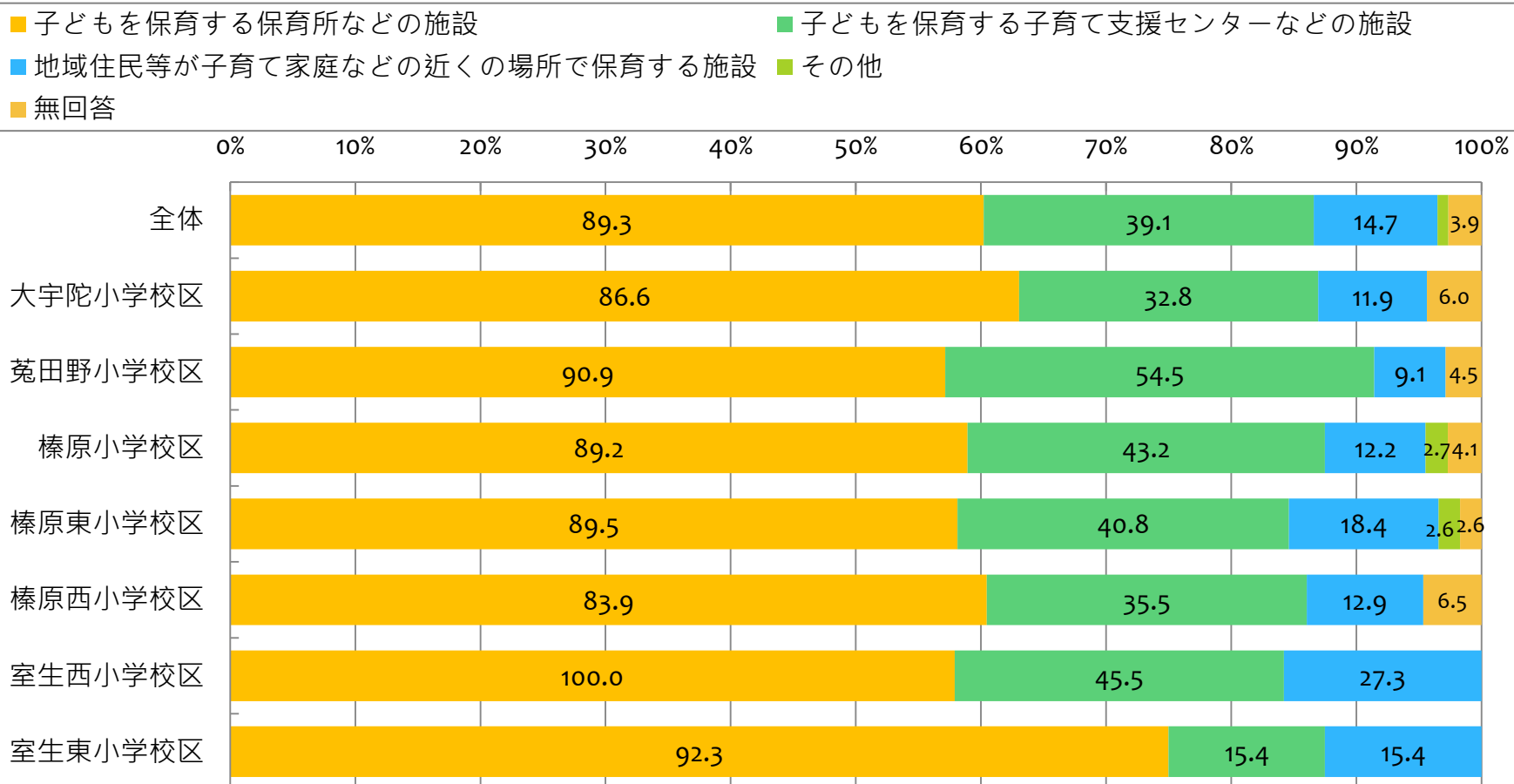
II 調査結果

9 不定期の事業利用

問23-1 (利用希望者) 事業形態の希望

【小学校区別】(複数回答) (n=307)

「室生東」で「子どもを保育する保育所」が最も高く、92.3%を占めました。



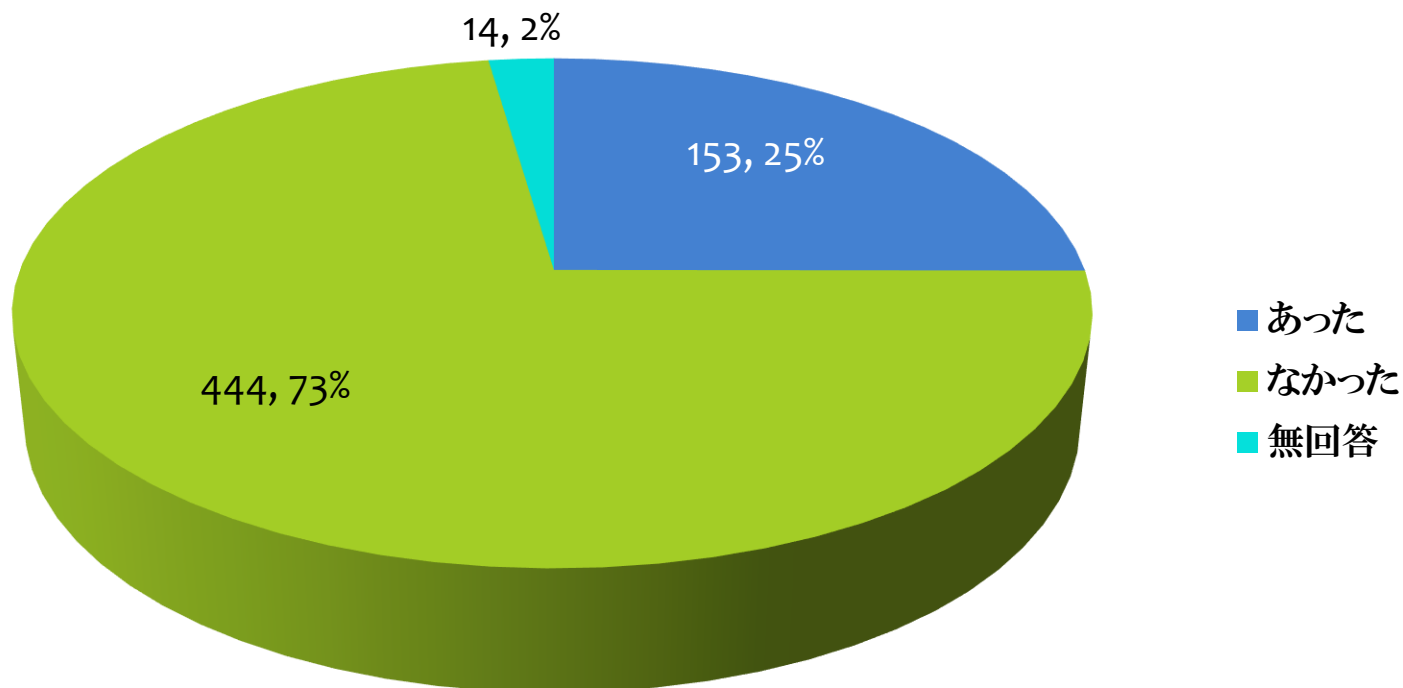
II 調査結果

9 不定期の事業利用

問24泊まりで預けなければ
ならない事があったか(単数回答)

(n=611)

約7割の方がなかったであったが、25%方は経験があった。



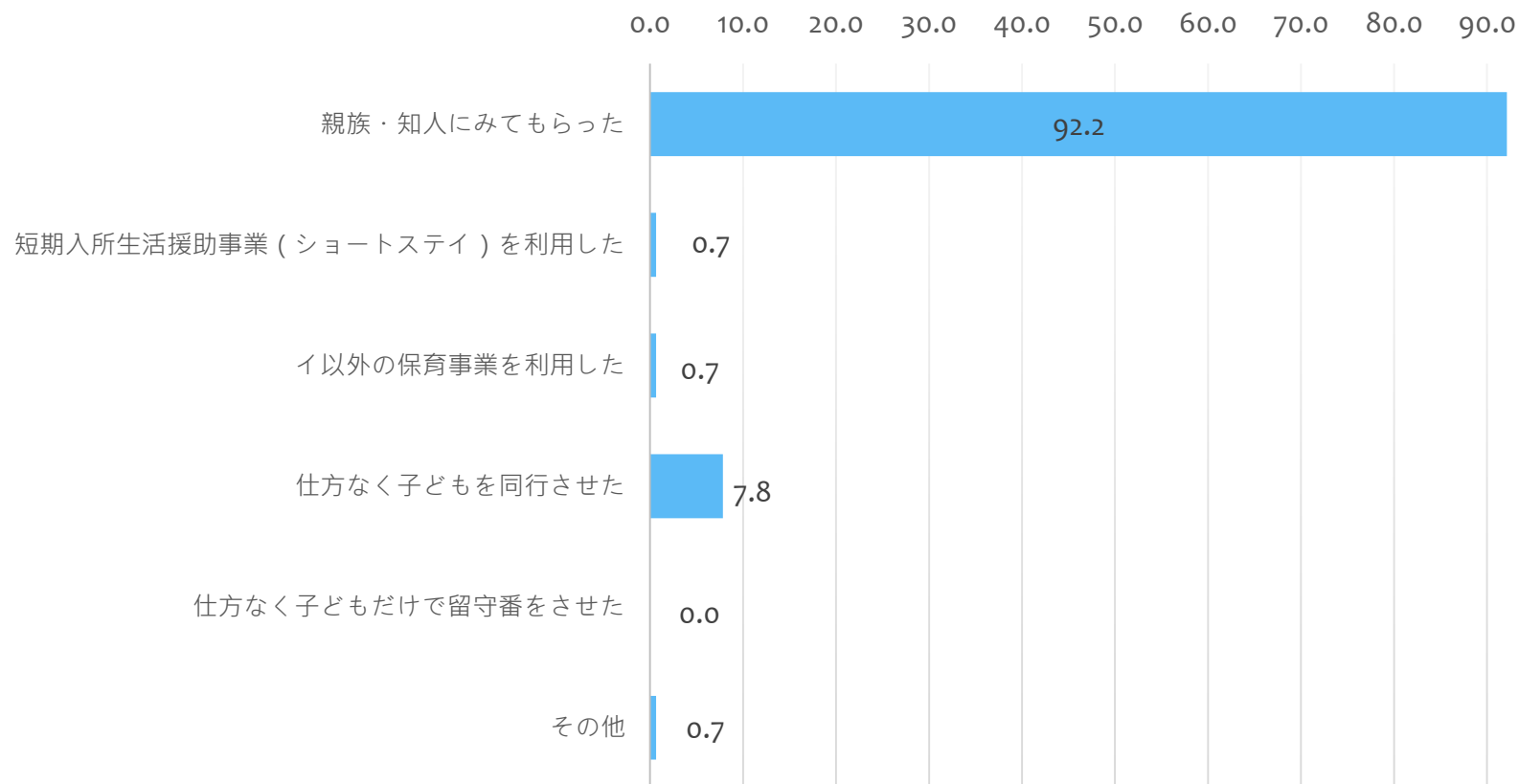
II 調査結果

9 不定期の事業利用

問24泊まりで預けなければ
ならなかった場合対処方法(単数回答)

ほとんどが、親族・知人に預けている

(n=153)



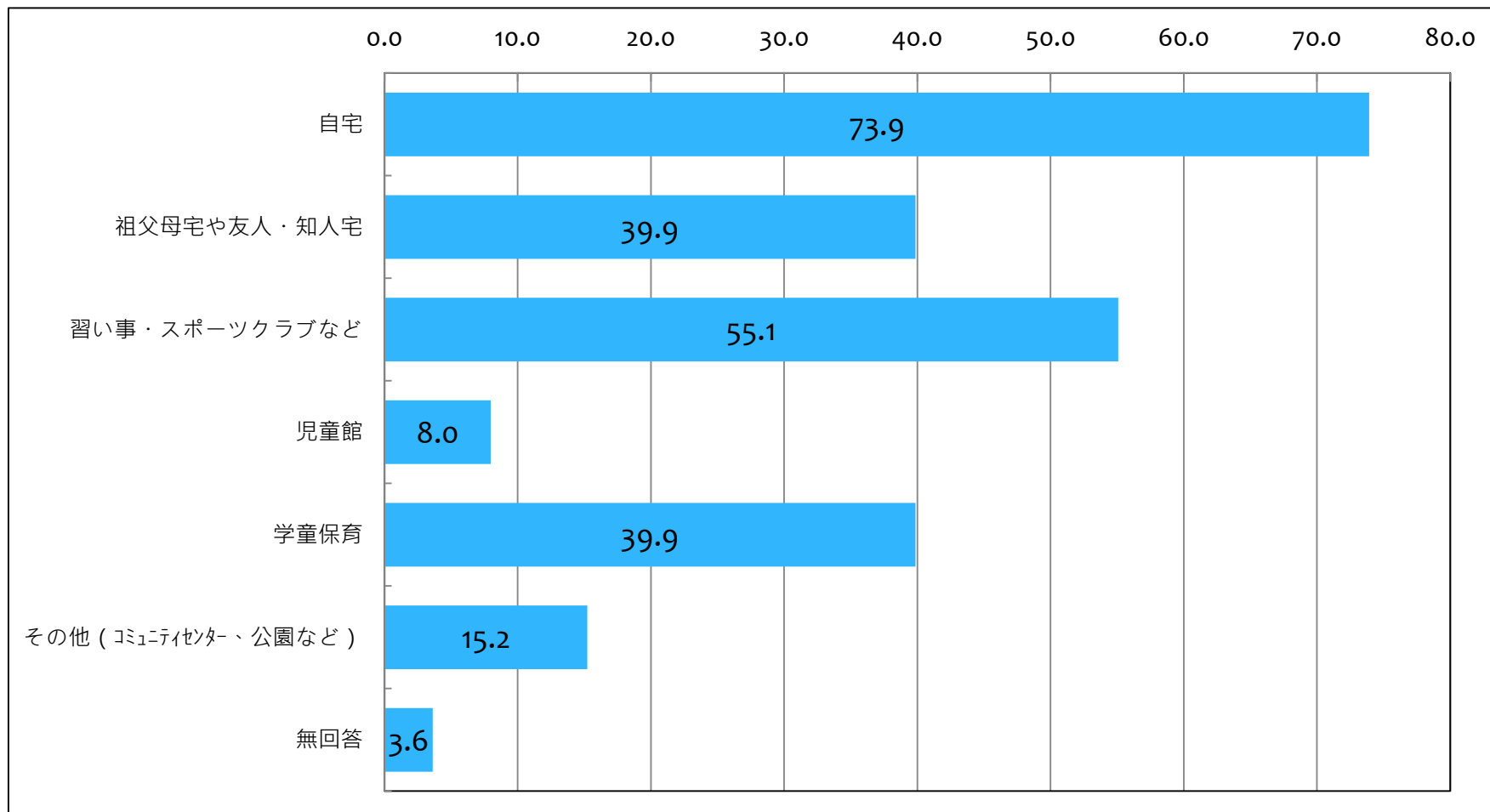
II 調査結果

10放課後の過ごし方希望

問25 放課後の過ごし方希望(複数回答)

(n=138)

「自宅」が最も多く、73.9%、次いで「習い事・スポーツ」が55.1%、「学童保育」が39.9%の結果でした。



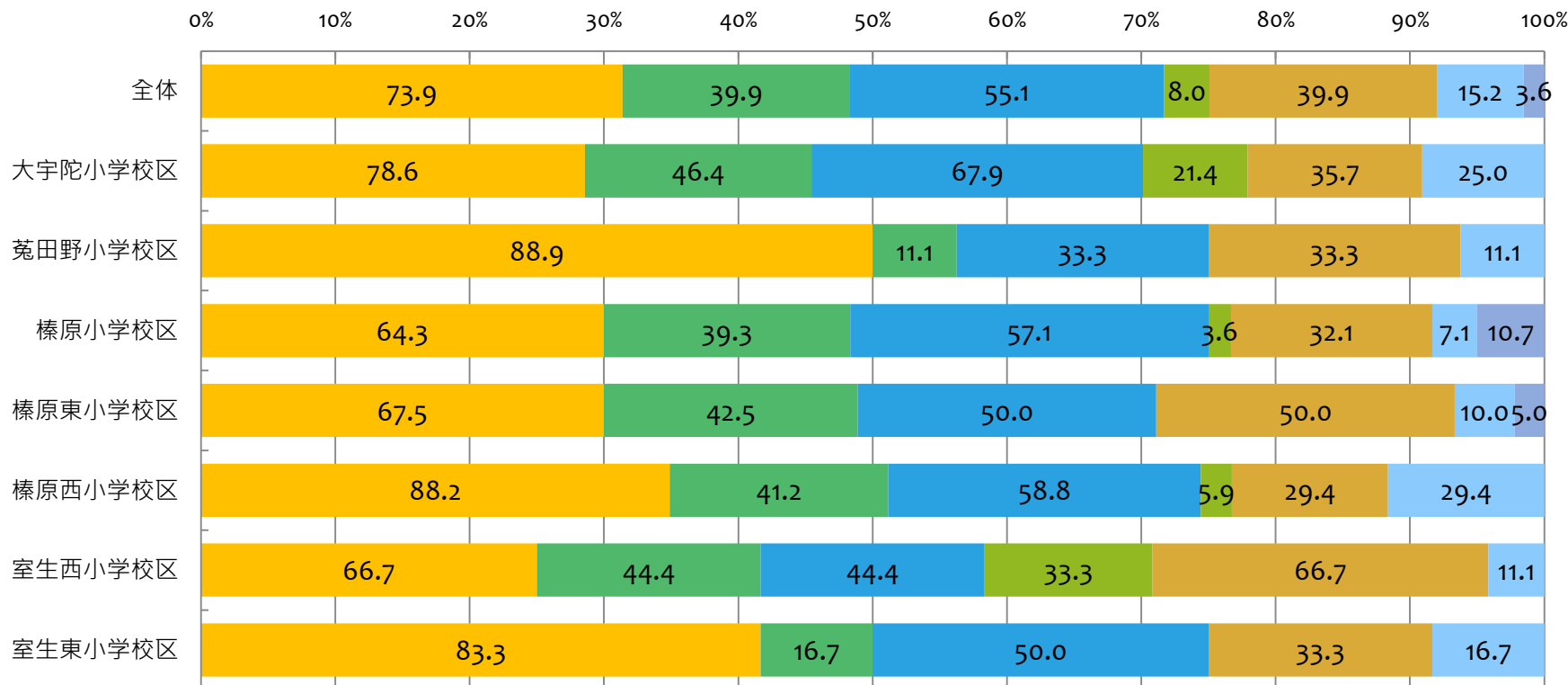
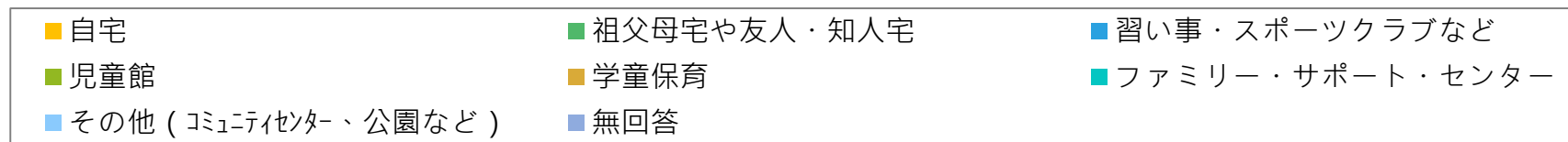
II 調査結果

10放課後の過ごし方希望

問25 放課後の過ごし方希望

【小学校区別】(複数回答) (n=138)

「菟田野」で「自宅」が88.9%ともっとも多い結果でした。

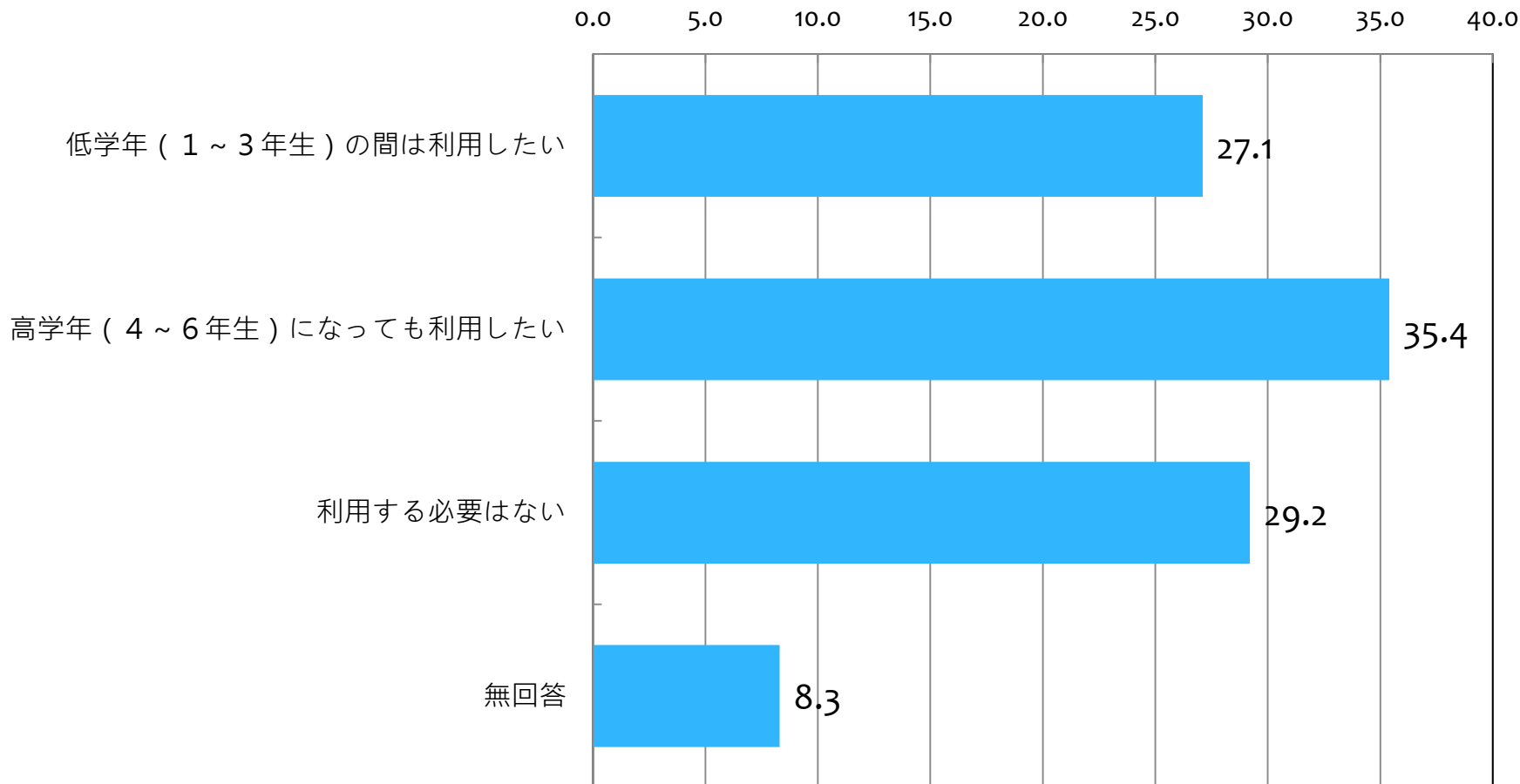


II 調査結果

10放課後の過ごし方希望

問26(1) (学童希望者)土曜日の
利用希望(単数回答) (n=48)

「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が最も高く、35.4%、次いで「利用する必要はない」が29.2%の結果でした。

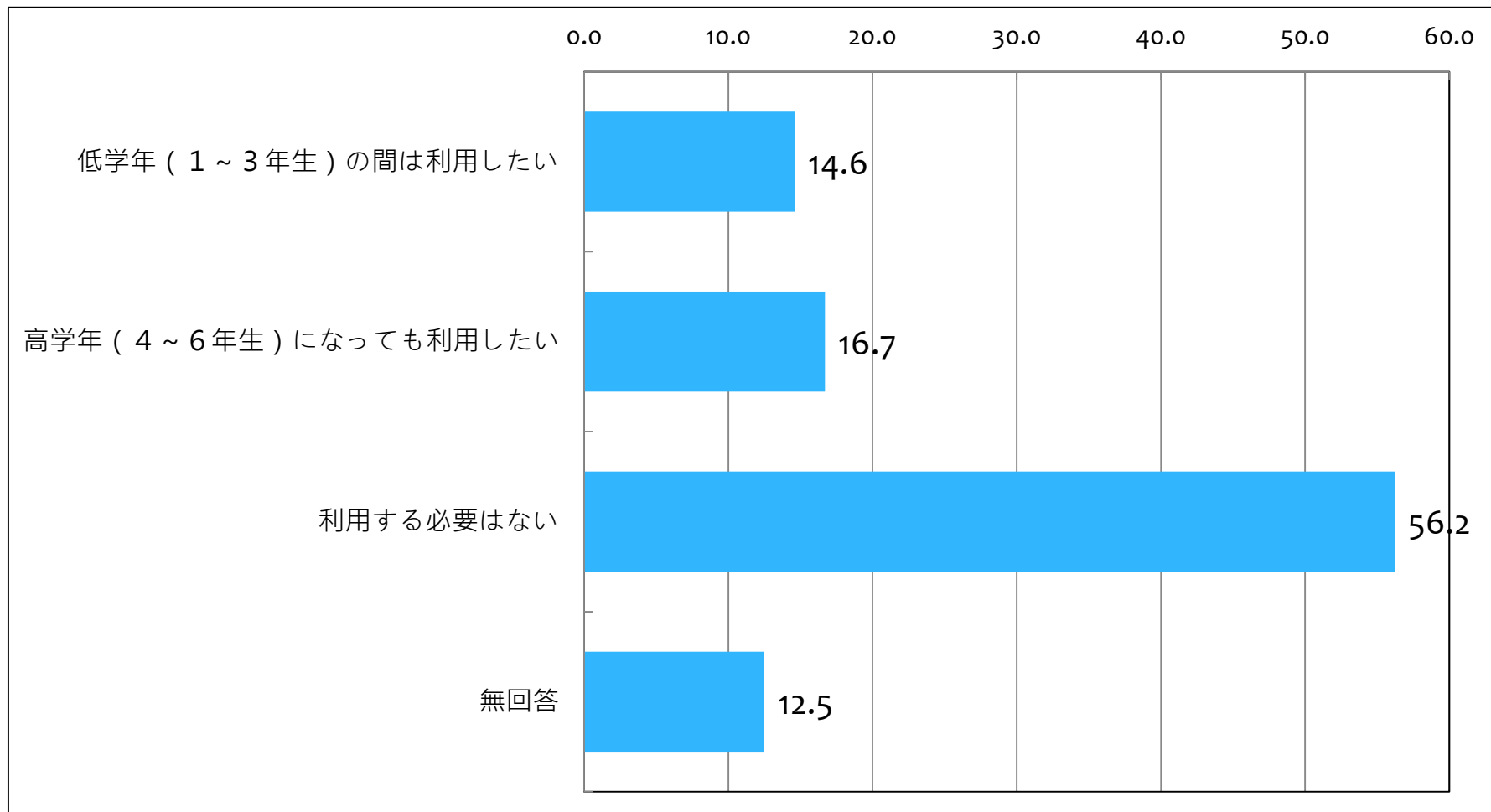


II 調査結果

10放課後の過ごし方希望

問26(2) (学童希望者) 日祝の
利用希望(単数回答) (n=48)

低学年では14.6%、高学年で16.7%が学童保育所を希望している。

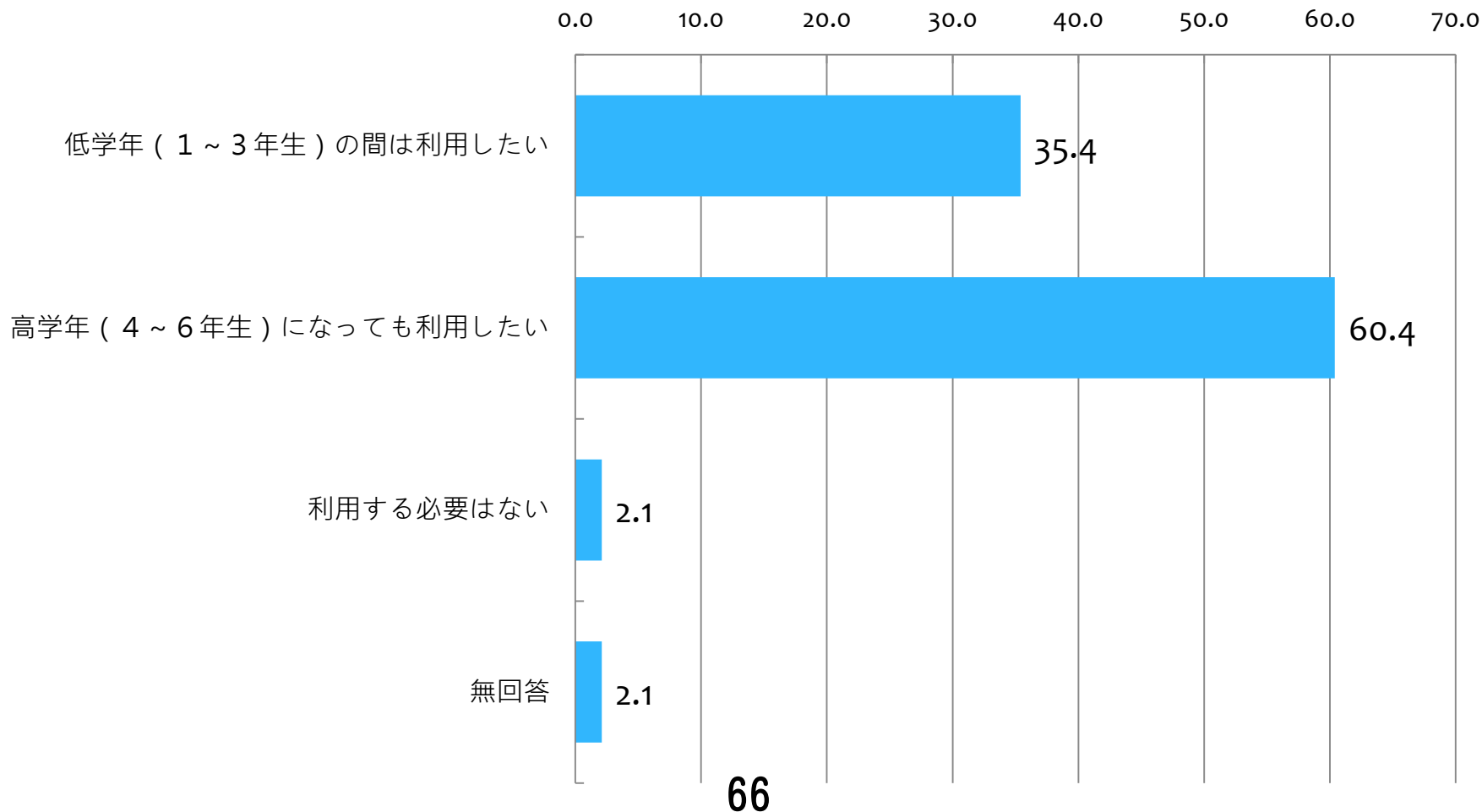


II 調査結果

10放課後の過ごし方希望

問26(3) (学童希望者)長期休暇の 利用希望(単数回答) (n=48)

土曜日の利用希望は、「低学年の間」が35.4%、「高学年になっても」が60.4%となっている。



II 調査結果

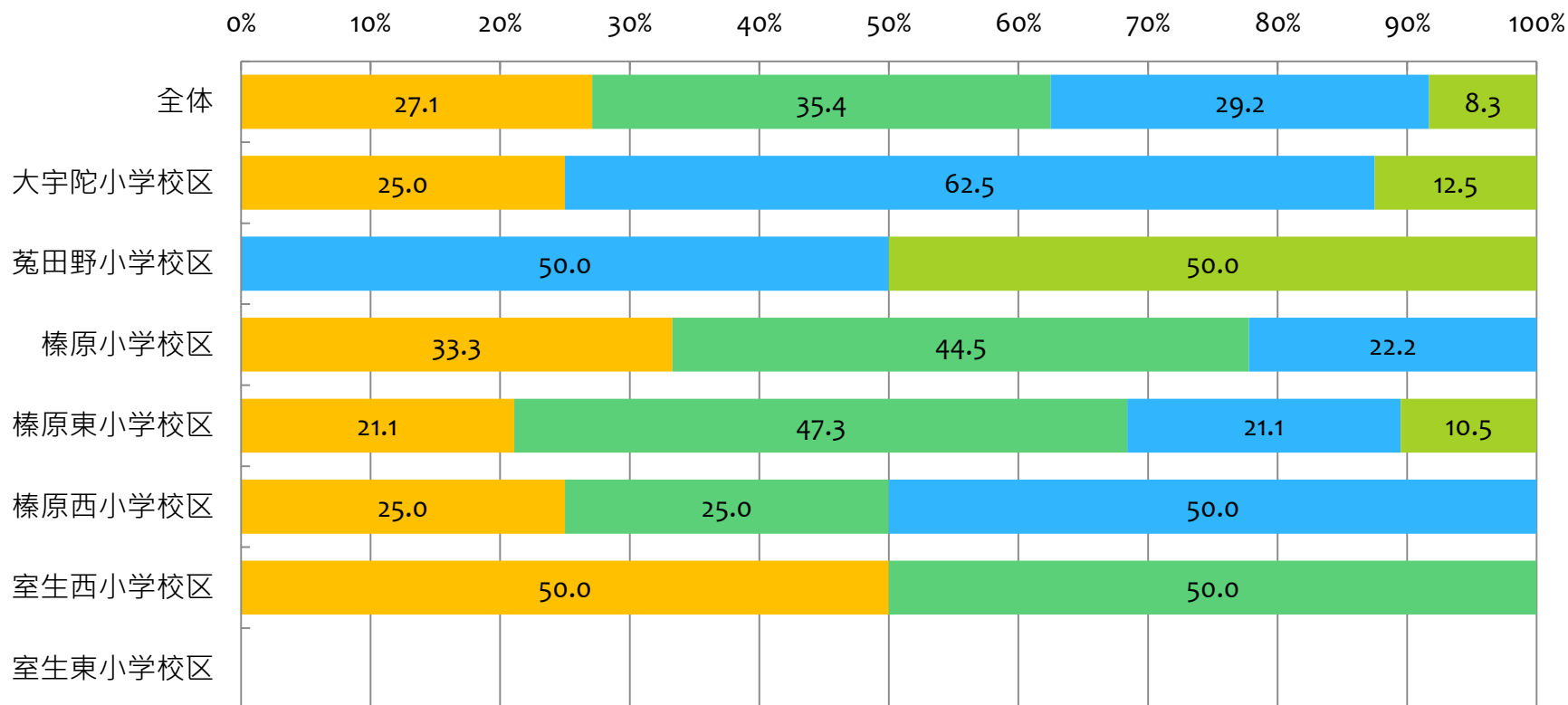
10放課後の過ごし方希望

問26(3) (学童希望者)長期休暇の 利用希望(単数回答) (n=48)

小学校区別では、「大宇陀」と「菟田野」で、「利用する必要はない」が多い結果でした。

■ 低学年(1~3年生)の間は利用したい
■ 利用する必要はない

■ 高学年(4~6年生)になっても利用したい
■ 無回答



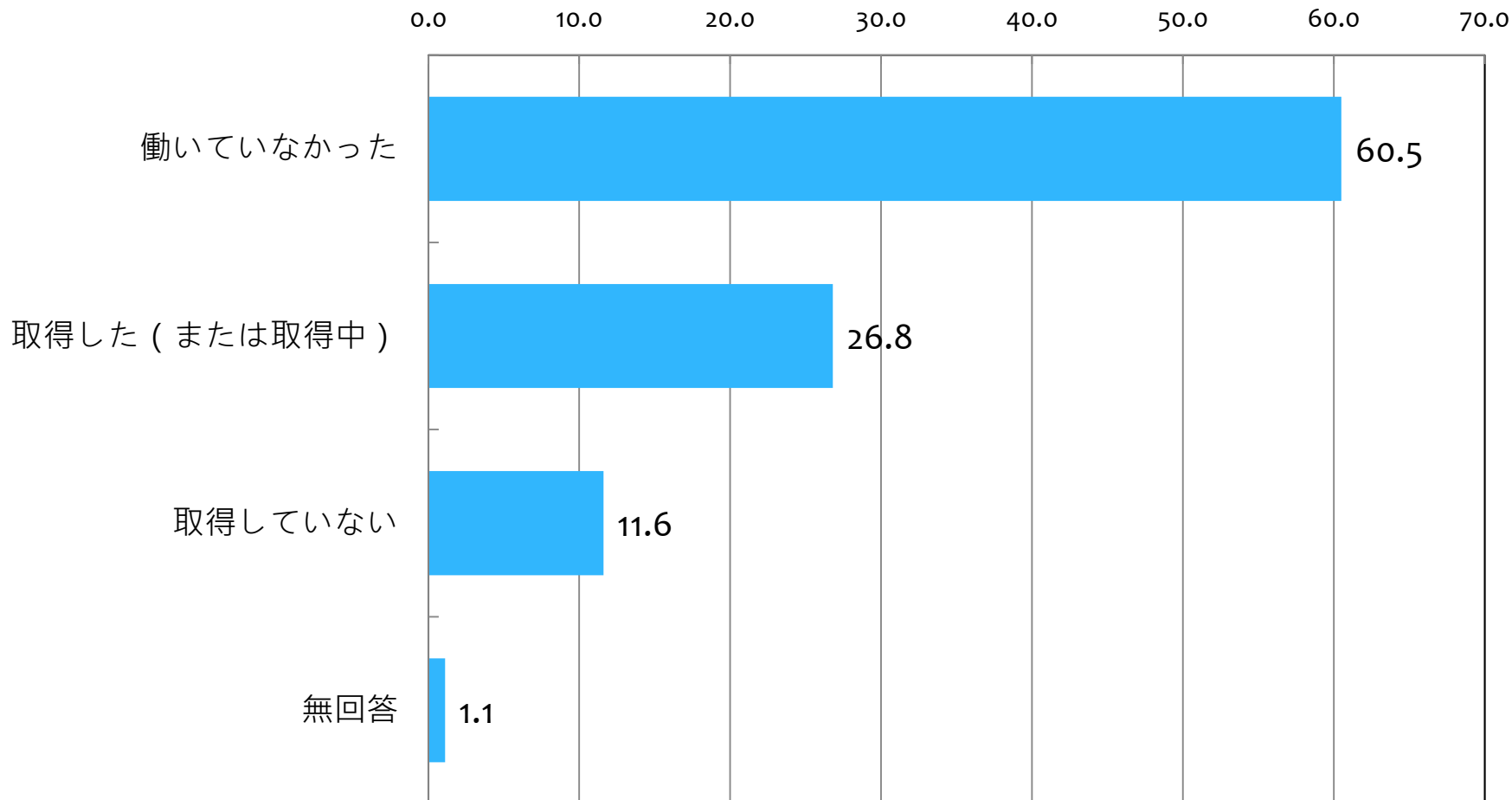
II 調査結果

11 子育てと仕事の両立支援

問27(1) 母・育児休業取得経験(単数回答)

(n=611)

「取得した(または取得中)」は26.8%でした。



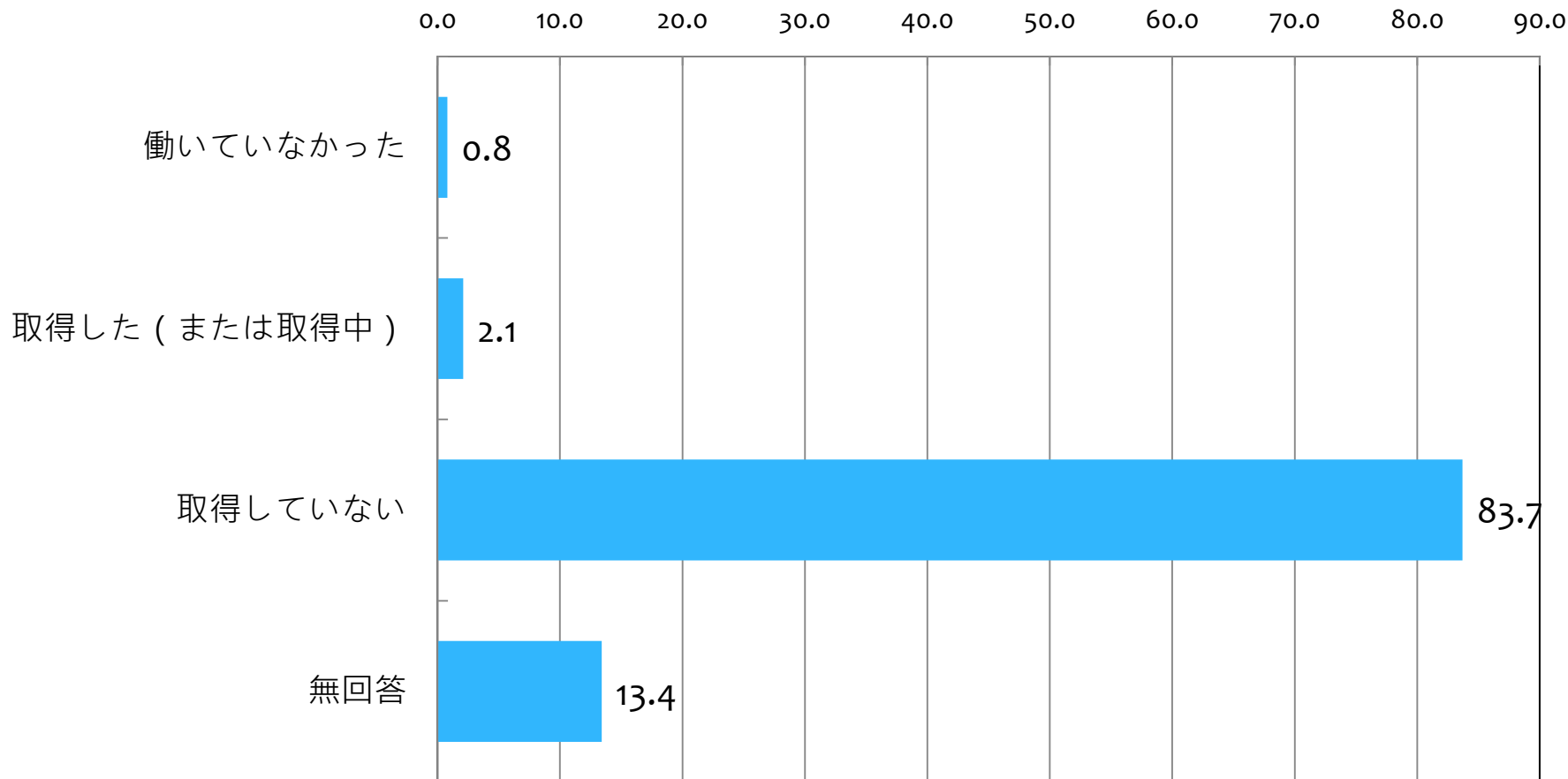
II 調査結果

11子育てと仕事の両立支援

問27(2) 父・育児休業取得経験(単数回答)

(n=611)

母親の27.5%が取得しているが、父親では2.1%しか取得していません。

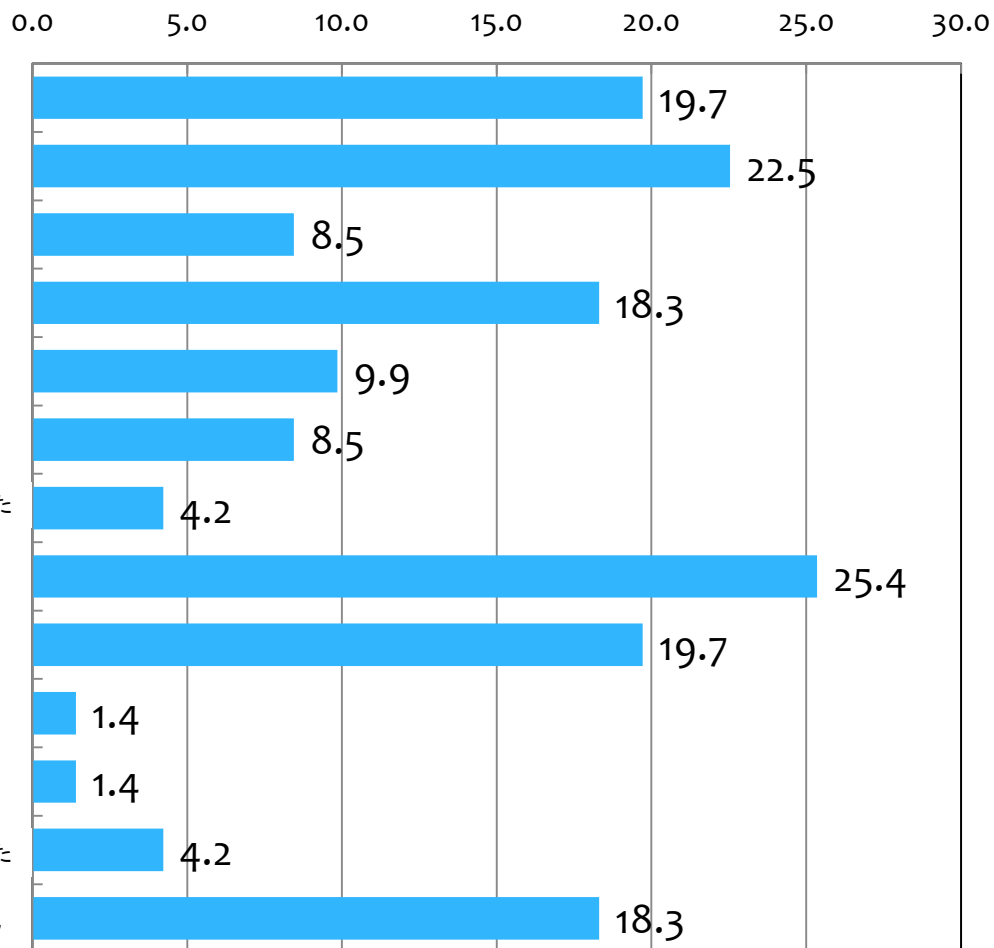


II 調査結果

11 子育てと仕事の両立支援

問27(1)(母・非取得)取得していない理由(複数回答) (n=71)

「子育てや育児に専念するために退職」が25.4%、「仕事が忙しかった」が22.5%と高かった。

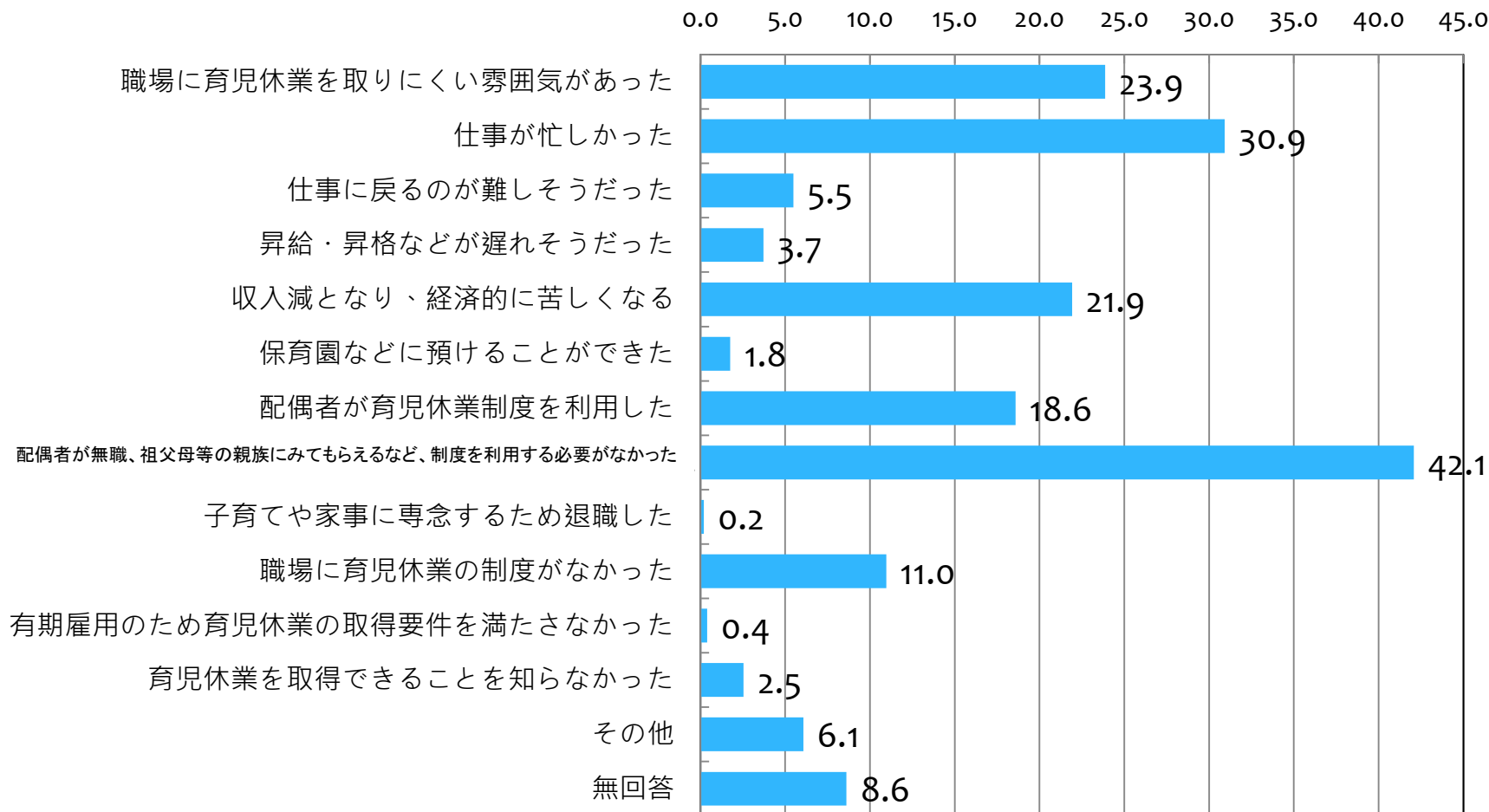


II 調査結果

11子育てと仕事の両立支援

問27(2)(父・非取得)取得していない理由(複数回答) (n=511)

「配偶者が無職」が42.1%と最も高かった。

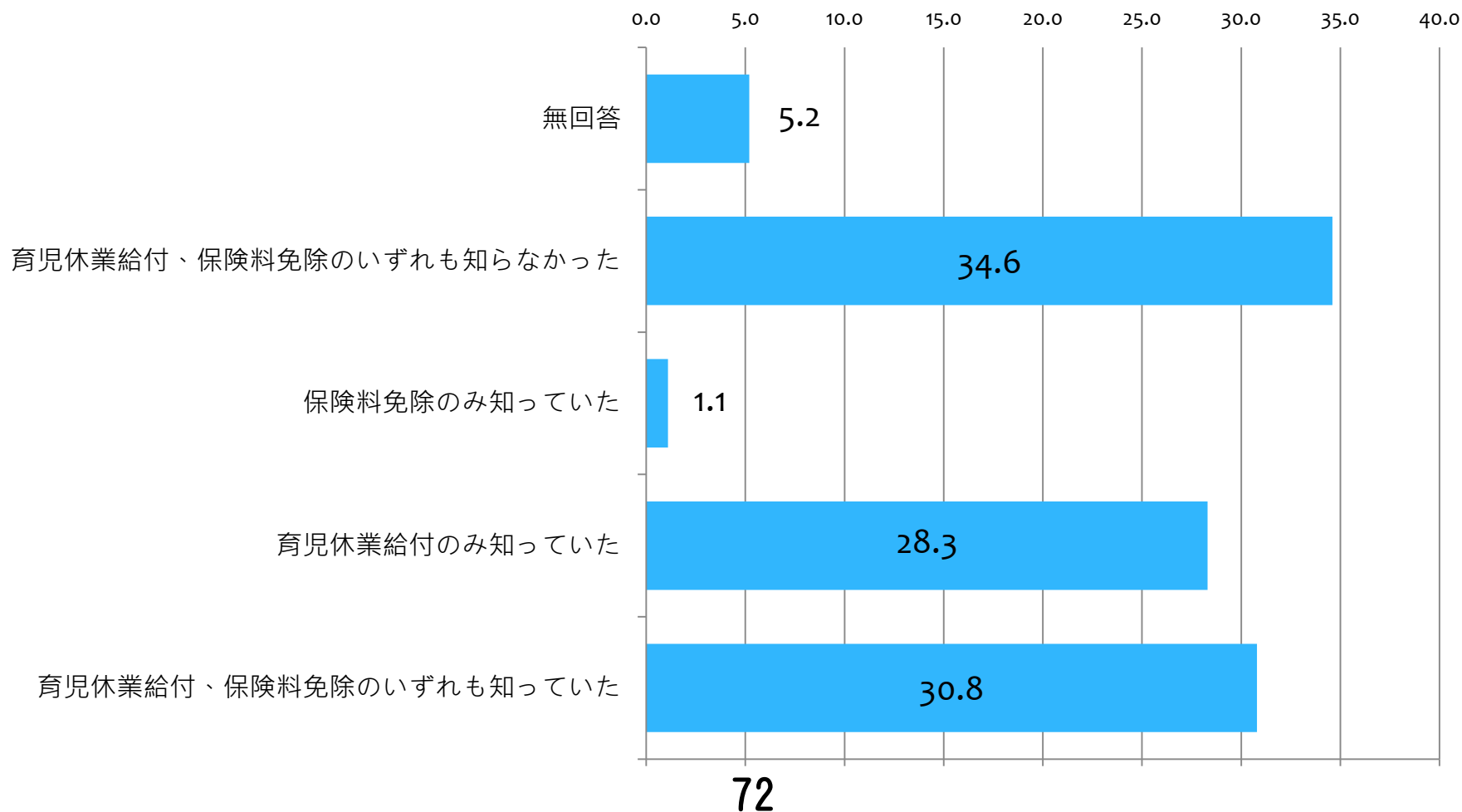


II 調査結果

11 子育てと仕事の両立支援

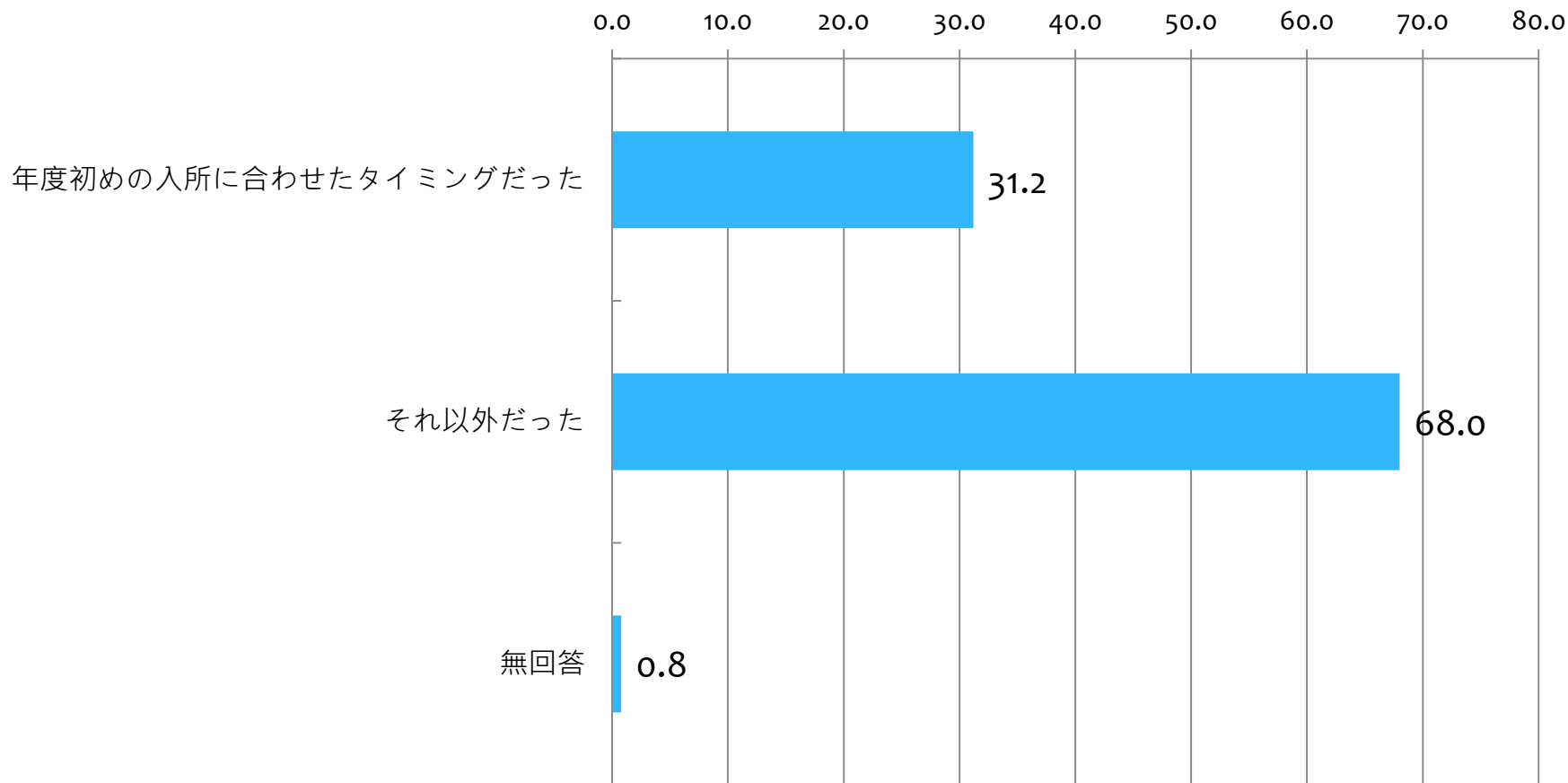
問27-1 保険が免除になる仕組みを
知っていたかどうか(単数回答) (n=611)

「いずれも知らなかった」が34.6%、「いずれも知っていた」が30.8%だった。



問27-3(1) (母・復帰) 復帰と 保育のタイミング(単数回答) (n=125)

「入所のタイミング以外」が68.0%と高かった。



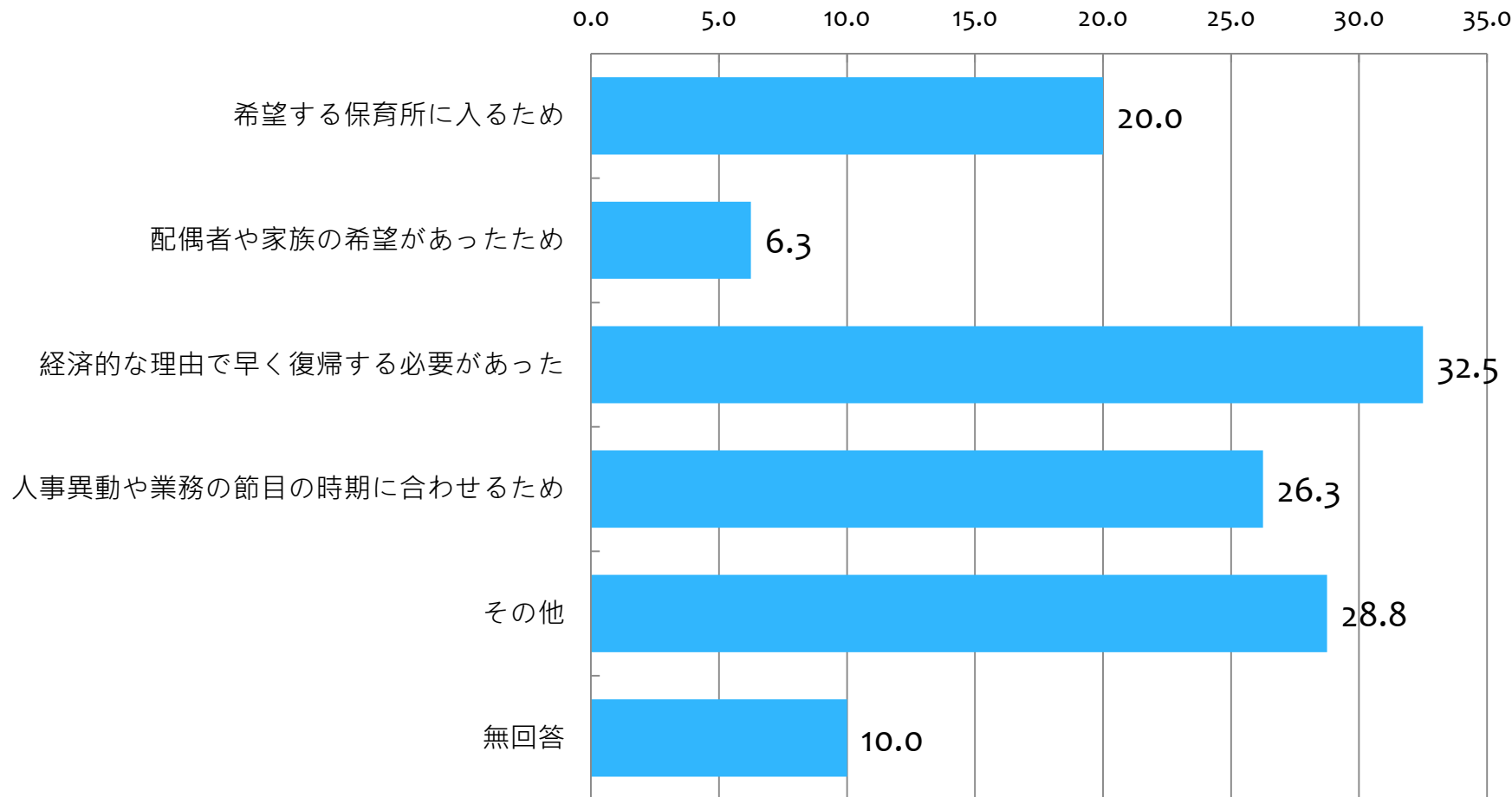
II 調査結果

11子育てと仕事の両立支援

問27-6(1)①(母・希望と異なった人)

早く復帰した理由(複数回答) (n=80)

「経済的理由」が32.5%と最も高かった。

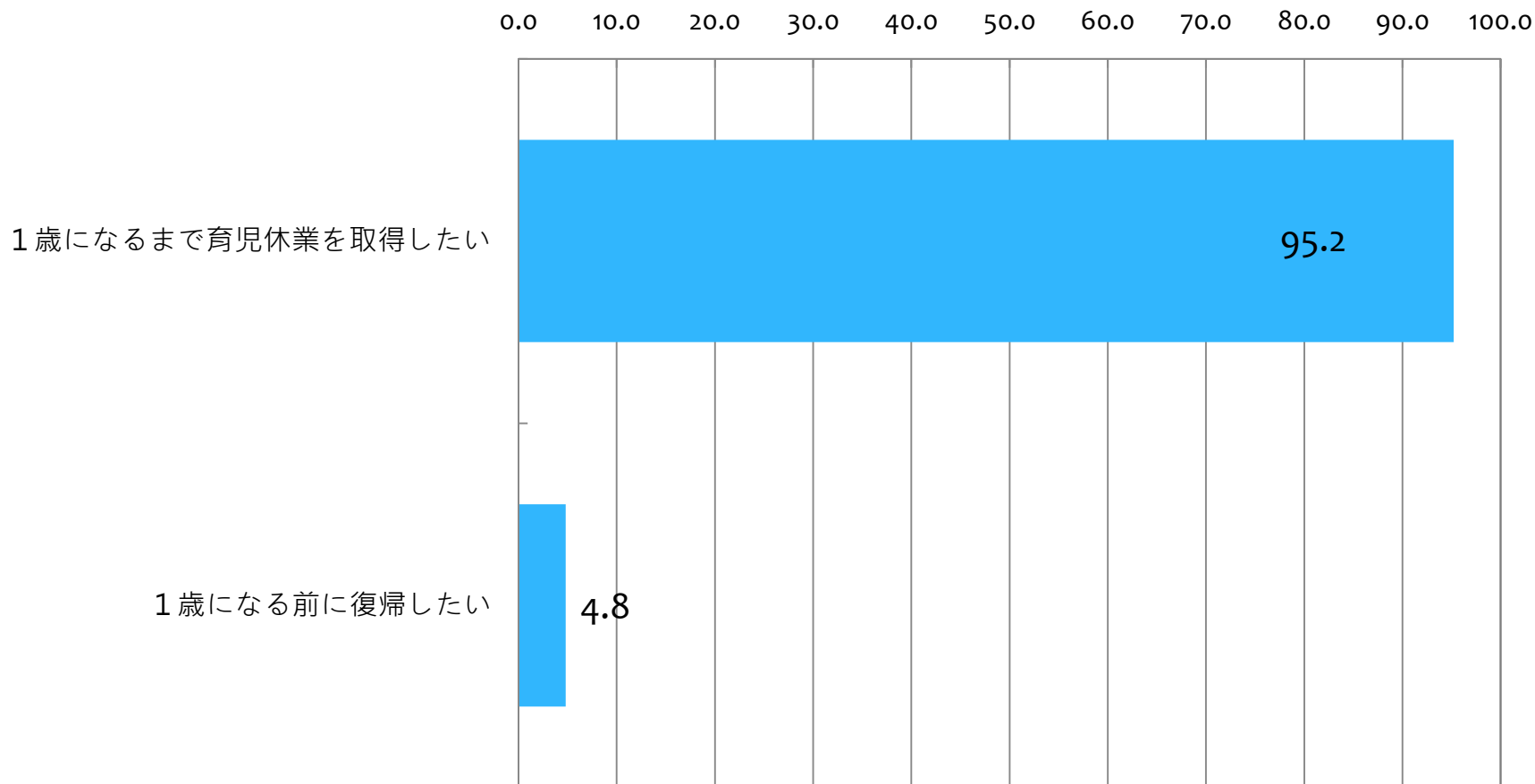


II 調査結果

11 子育てと仕事の両立支援

問27-9(1)(母・育休中)1歳で必ず預けられても、
1歳までに復帰するか(単数回答) (n=21)

「1歳になるまで」がほとんどを占めた。



II 調査結果

11子育てと仕事の両立支援

問28 地域の子育て環境や支援についての満足度(単数回答)

(n=611)

全体としてレベル3が多い結果でしたが、「4~5の満足度の高い校区は」以下のとおりです。

